



始



山口縣農事試驗場編

施肥標準調查成績 第六報 第四期

大津郡、萩市、阿武郡の三要素適量試驗及び  
應用栽培試驗成績

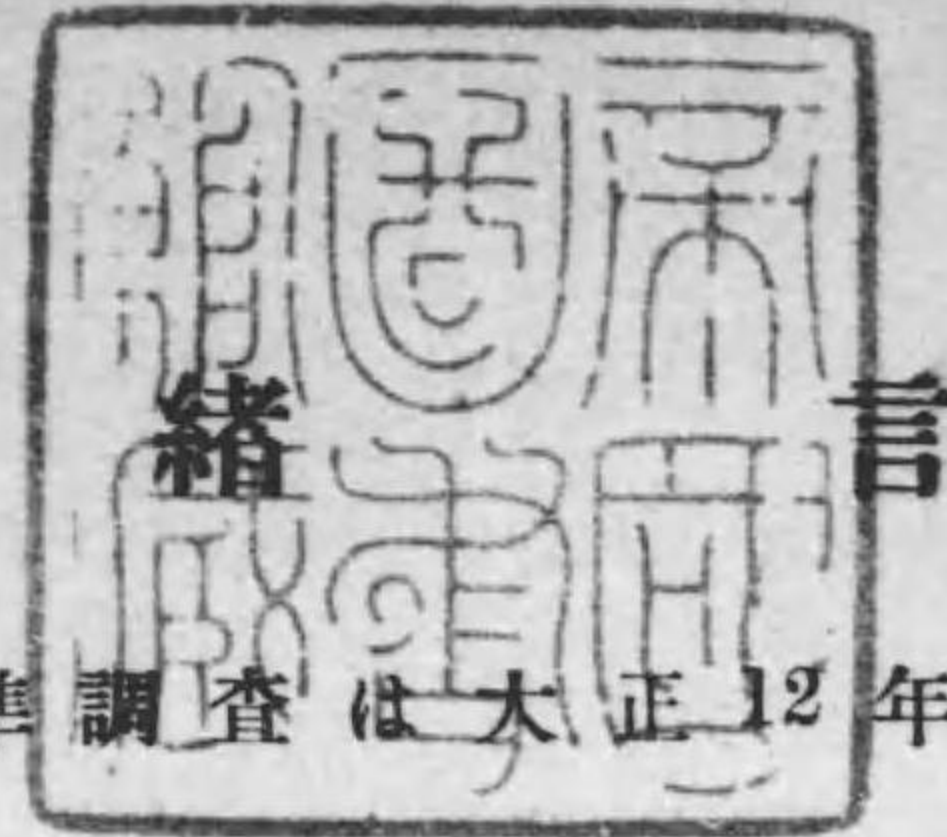
14.2  
970

# 施肥標準調査成績 (第六報)

第四期 大津郡、萩市、阿武郡の三要素適量試験  
及び應用栽培試験成績

昭和十四年三月

山口縣農事試驗場



本縣施肥標準調査は大正12年度より着手し豫定通り其の事業の進捗を見既に第1報より第5報迄を發表して農産増殖上裨益する所大なりたり茲に第6報として大津郡萩市阿武郡の3要素試験成績並に3要素適量試験及び應用栽培試験成績を取纏めて發表の運びとなれり農産物の改良増殖を圖り農家經濟を緩和する途は施肥の合理化並に經濟化に依るを最も適切捷徑と信ず關係各位の本報告の利用に依り施肥改善の實を擧げ以て生産擴充の實績を擧揚せられん事を望む。

昭和十四年三月

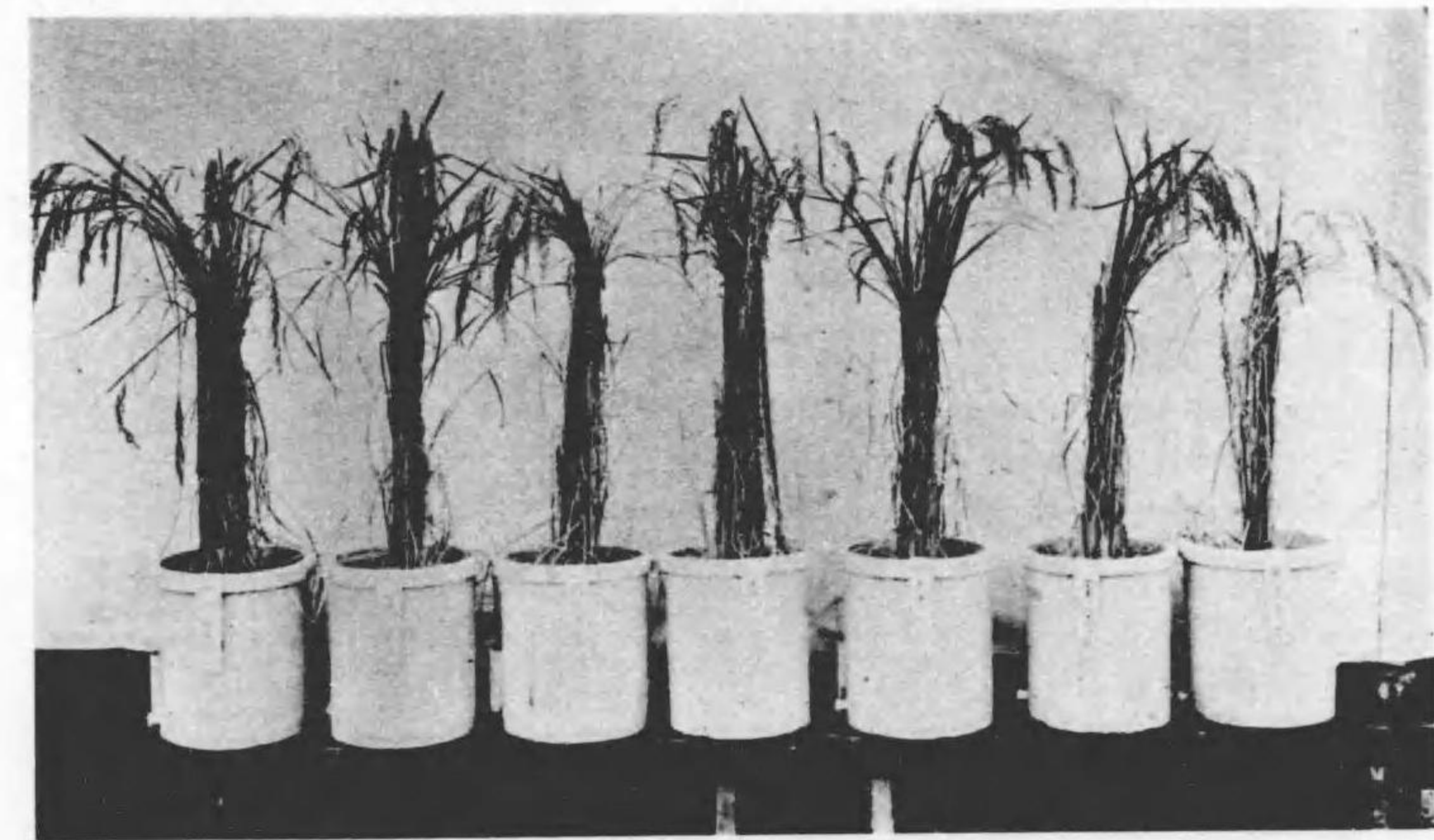


山口縣農事試驗場長



吉敷郡大内村

三要素區	加里0.5瓦區	無加里區	磷酸0.5瓦區	無磷酸區	窒素0.5瓦區	無窒素區
100	88	78	85	76	74	50



大津郡深川町

三要素區	加里0.5瓦區	無加里區	磷酸0.5瓦區	無磷酸區	窒素0.5瓦區	無窒素區
100	97	90	87	85	72	46



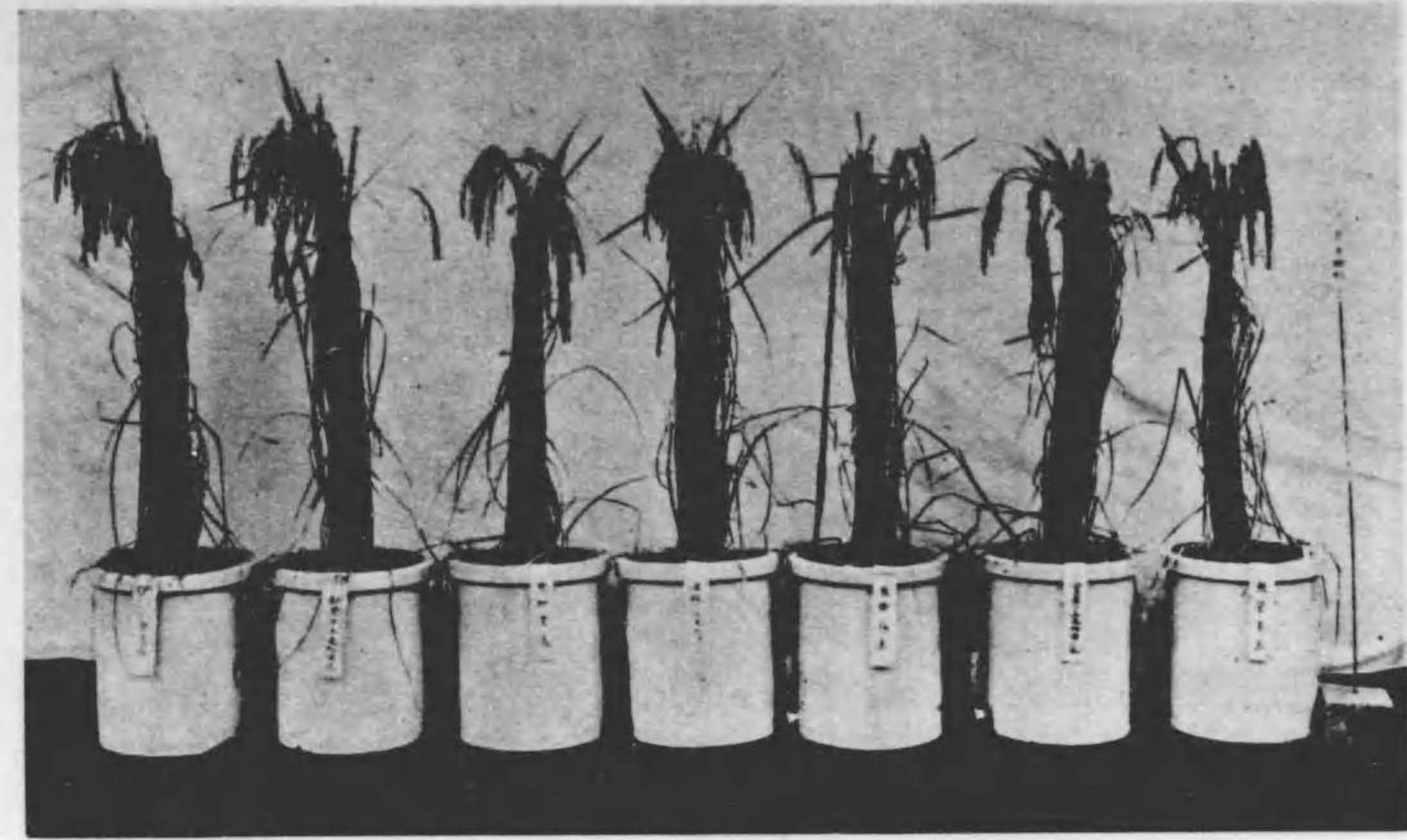
阿武郡地福村

三要素區	加里0.5瓦區	無加里區	磷酸0.5瓦區	無磷酸區	窒素0.5瓦區	無窒素區
100	101	96	93	76	71	47



阿武郡吉部村

三要素區	加里0.5瓦區	無加里區	磷酸0.5瓦區	無磷酸區	窒素0.5瓦區	無窒素區
100	89	88	89	77	78	61



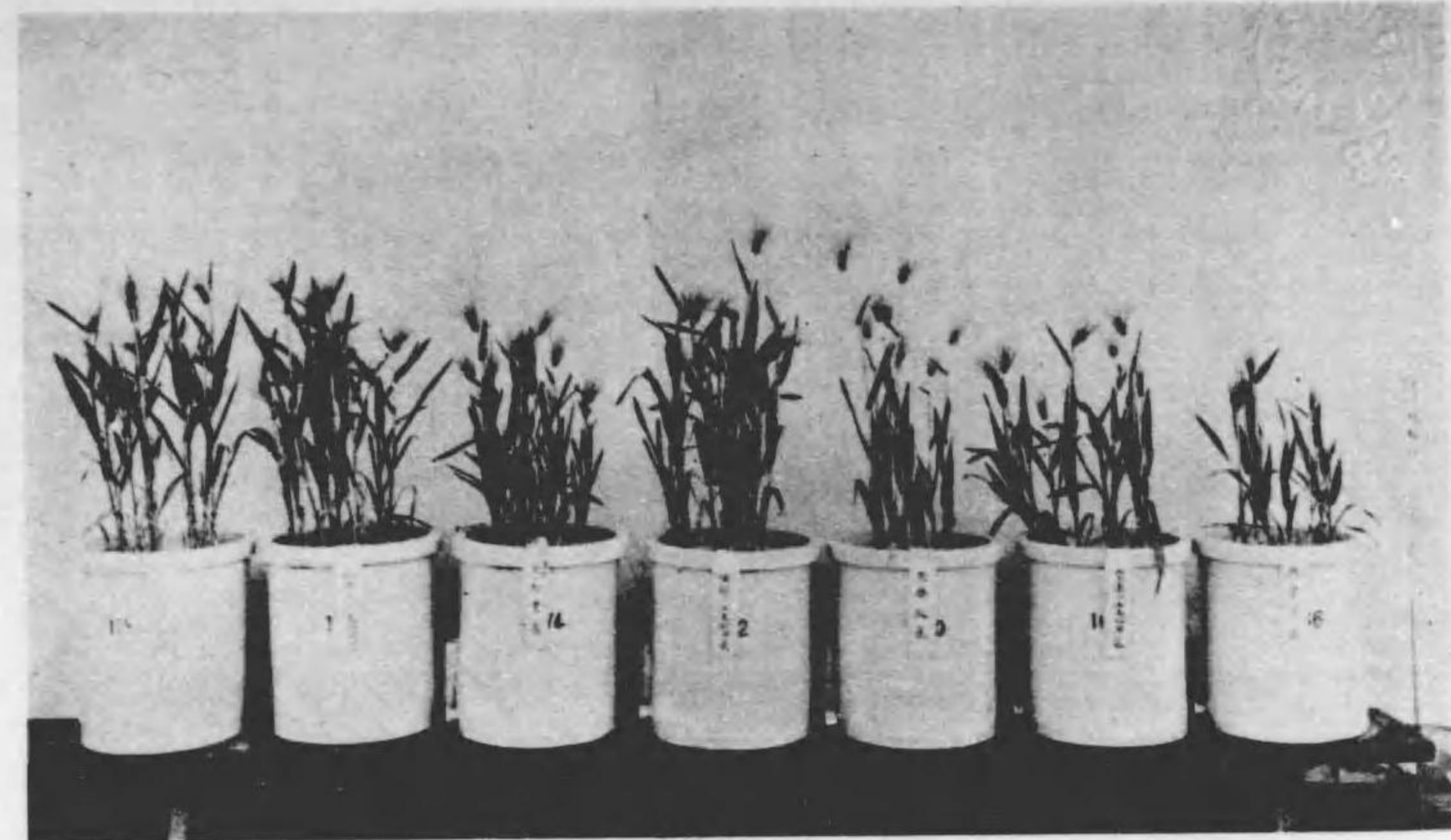
阿武郡宇多郷村

三要素區	加里0.5瓦區	無加里區	磷酸0.5瓦區	無磷酸區	窒素0.5瓦區	無窒素區
100	86	72	90	77	89	63



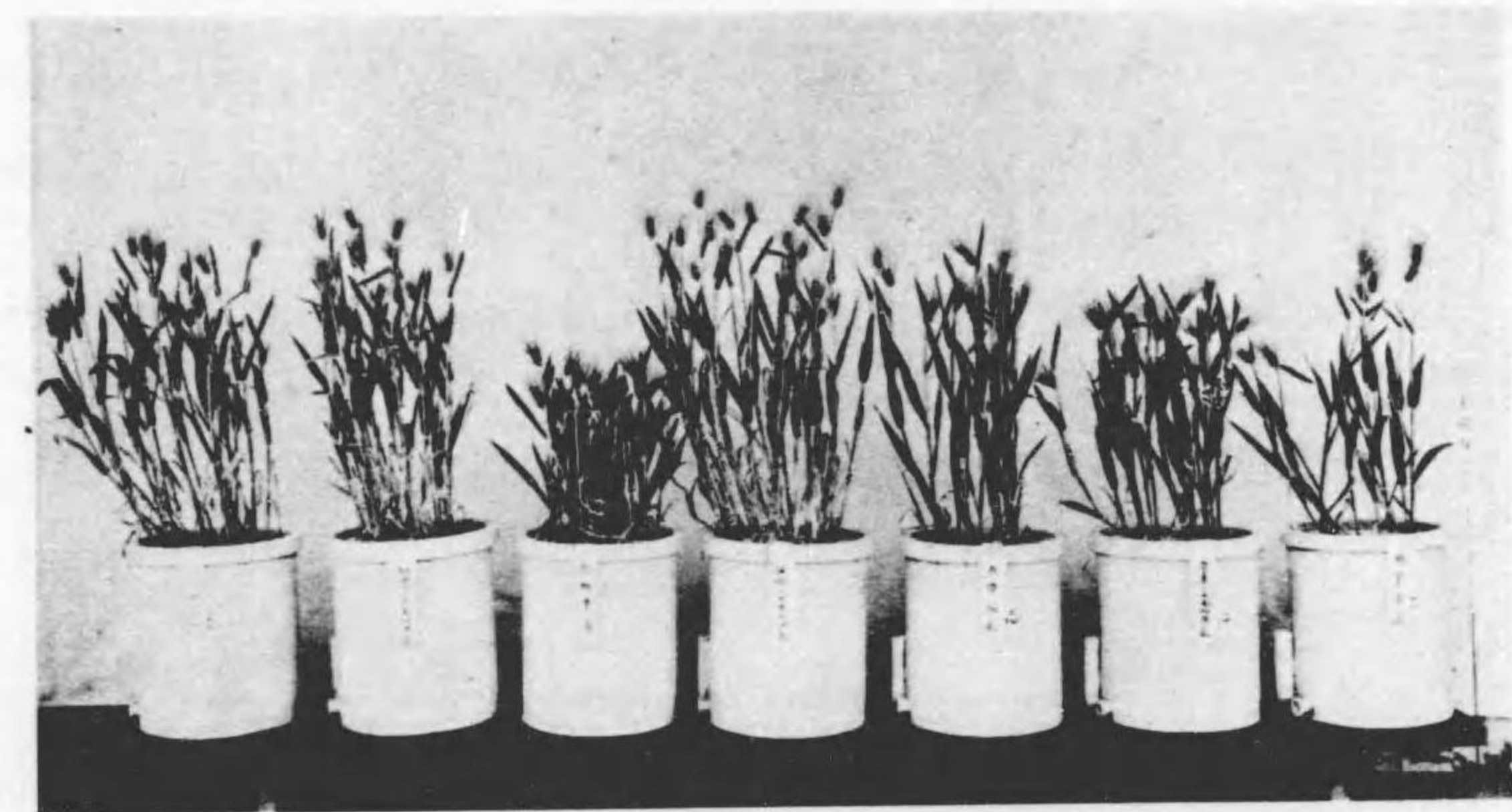
阿武郡明木村

三要素區	加里0.5瓦區	無加里區	磷酸0.5瓦區	無磷酸區	窒素0.5瓦區	無窒素區
100	98	98	91	61	56	36



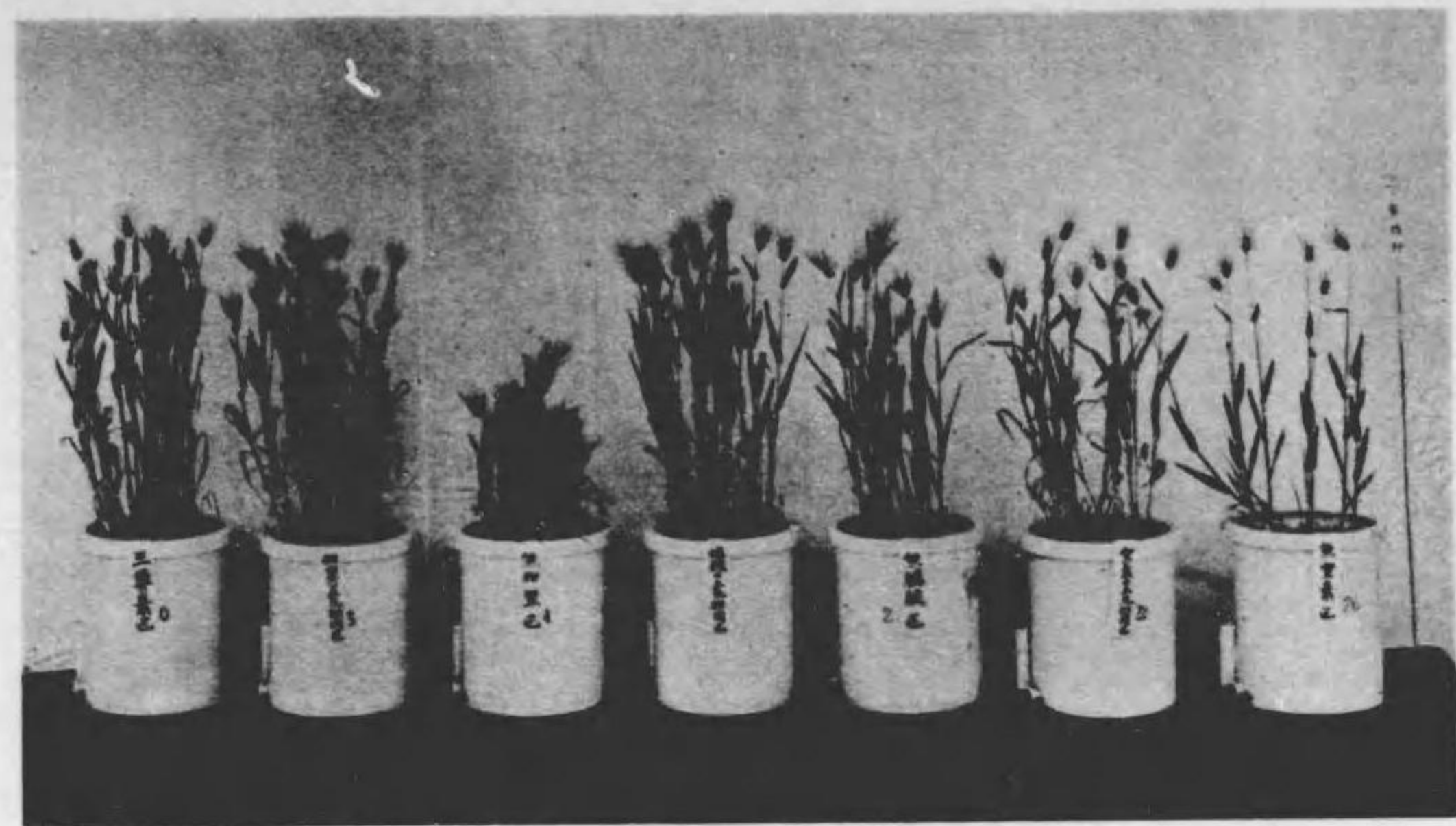
阿武郡地福村

三要素區	加里0.5瓦區	無加里區	磷酸0.5瓦區	無磷酸區	窒素0.5瓦區	無窒素區
100	91	96	96	41	49	41



阿武郡高俣村

三要素區	加里0.5瓦區	無加里區	磷酸0.5瓦區	無磷酸區	窒素0.5瓦區	無窒素區
100	97	86	104	36	77	43



阿武郡紫福村

三要素區	加里0.5瓦區	無加里區	磷酸0.5瓦區	無磷酸區	窒素0.5瓦區	無窒素區
100	100	84	90	49	81	38



阿武郡宇多郷村

三要素區	加里0.5瓦區	無加里區	磷酸0.5瓦區	無磷酸區	窒素0.5瓦區	無窒素區
100	97	49	105	75	79	37



14.24  
970

# 施肥標準調査成績第六報

## 目次

### 第1章 事業計畫及び事業経過

1 事業計畫	1
2 事業経過	1

### 第2章 調査方法

1 耕種梗概施肥慣行調査	2
2 原地調査	2
3 分析調査	3
4 栽培調査	4
(1) 植木鉢三要素試験	4
(2) 原地三要素適量試験	5
(3) 窒素質肥料肥効試験	6
(4) 原地應用栽培試験	7

### 第3章 調査成績

1 耕種梗概施肥慣行調査	8
(1) 郡市町村別平均	8
I 水 稻	8
II 稈麥其他	8
(2) 個別調査成績	9
I 水 稻	10
II 稈麥其他	16
2 原地調査成績	22
(1) 土性平面圖	22
(2) 土性立體圖	23
I 大 津 郡	23
II 萩 市、阿武郡	27
3 分析調査成績	42
4 栽培試験成績	48
(1) 植木鉢三要素試験成績	48
I 収量指數一覧表	48

I 水稻作年次別成績.....49  
 II 粟作年次別成績.....52  
 (2) 原地三要素適量試験成績.....56  
 I 収量指數一覽表.....56  
 II 水稻作年次別成績.....57  
 III 粟作年次別成績.....58  
 (3) 窒素質肥料肥効試験成績.....60  
 I 収量指數一覽表.....60  
 II 水稻作年次別成績.....60  
 III 粟作年次別成績.....61  
 (4) 應用栽培試験成績.....62  
 I 収量指數一覽表.....62

第4章 調査成績の應用

1 標準施肥量.....63  
 2 大津郡、阿武郡、萩市標準施肥量一覽表.....66  
 3 應用栽培試験成績並に成績の應用.....67  
 (1) 大津郡三鴨村試験地.....67  
 (2) 同 深川町試験地.....70  
 (3) 同 日置村試験地.....74  
 (4) 阿武郡佐々並村試験地.....77  
 (5) 同 生雲村試験地.....80  
 (6) 同 地福村試験地.....84  
 (7) 同 紫福村試験地.....88  
 (8) 同 大井村試験地.....91  
 (9) 應用栽培試験を實施せざる町村の施肥設計例.....95

第1章 事業計畫及事業經過

1 事業計畫

本調査は大正12年度より24ヶ年の繼續事業にして全期間を8期間に分ち、各1期間3ヶ年を以てし、縣下耕地を次表の如く調査せんとす。

期別	年度	施肥慣行調査	原地調査	連化學分析	植木鉢三要素試験	原地三要素試験	原地應用栽培試験
第1期	大正 12 - 14 同	吉敷郡、佐波郡、其ノ他	吉敷郡、佐波郡、其ノ他	吉敷郡、佐波郡、其ノ他	吉敷郡、佐波郡	全縣下	-
第2期	大正 15 - 昭和 3 同	美濃郡、厚狹郡、宇都濃郡、熊毛郡	美濃郡、厚狹郡、宇都濃郡、熊毛郡	美濃郡、厚狹郡、宇都濃郡、熊毛郡	美濃郡、厚狹郡、宇都濃郡、熊毛郡	全縣下	吉敷郡、佐波郡
第3期	昭和 4 - 6 同	大津郡、阿武郡	大津郡、阿武郡	大津郡、阿武郡	大津郡、阿武郡	大津郡、阿武郡	美濃郡、厚狹郡、宇都濃郡、熊毛郡
第4期	昭和 7 - 9 同	大津郡、阿武郡	玖珂郡	玖珂郡	大津郡、阿武郡	大津郡、阿武郡	大津郡、阿武郡
第5期	昭和 10 - 12 同	玖珂郡	豊浦郡、下關市	豊浦郡、下關市	玖珂郡	玖珂郡	大津郡、阿武郡
第6期	昭和 13 - 15 同	豊浦郡、下關市	大島郡	大島郡	豊浦郡、下關市	豊浦郡	玖珂郡
第7期	昭和 16 - 18 同	大島郡	-	-	大島郡	大島郡	豊浦郡、下關市
第8期	昭和 19 - 21 同	-	-	-	-	-	大島郡

2 事業經過

大正12年4月事業開始以來昭和13年3月末日迄に終了したる事業經過並に目下試験繼續施行中(・印)のもの次の如し。

期別	調査項目 郡市名	施肥慣行調査 點	原地調査 點	土壤採收點數 點	分析點數		三要素試験點數		原地應用栽培試験 點
					理學分析	化學分析	原 地	植 木 鉢	
第1期	吉敷郡	56	61	52	52	52	1	13	3
	佐波郡	108	38	38	38	38	-	12	2
	山口市	6	9	4	4	4	-	-	-
第2期	美濃郡	68	86	43	41	41	3	10	6
	厚狹郡	120	140	42	30	30	3	9	6
	宇都濃郡	5	12	6	4	4	1	1	1
第3期	都濃郡	143	153	40	40	17	11	10	6
	熊毛郡	130	179	45	45	16	9	10	5
第4期	萩市	14	28	10	10	2	1	1	1
	阿武郡	276	341	126	126	24	18	15	5
第5期	大津郡	82	103	53	53	12	9	4	3
	玖珂郡	286	307	172	172	29	20	20	9
第6期	豊浦郡	168	217	148	5	5	10	17	-
	下關市	22	24	14	-	-	1	3	-
第7期	大島郡	28	3	3	3	3	3	-	-
	計	1512	1701	796	623	277	79	105	38
							11	20	9

## 第2章 調査方法

本調査の方法を分ちて施肥慣行調査、原地調査、分析調査、栽培調査の4となす。

### 1 耕種梗概施肥慣行調査

下記様式に依り1ヶ町村宛10農家に就き町村農會經由の上調査す。

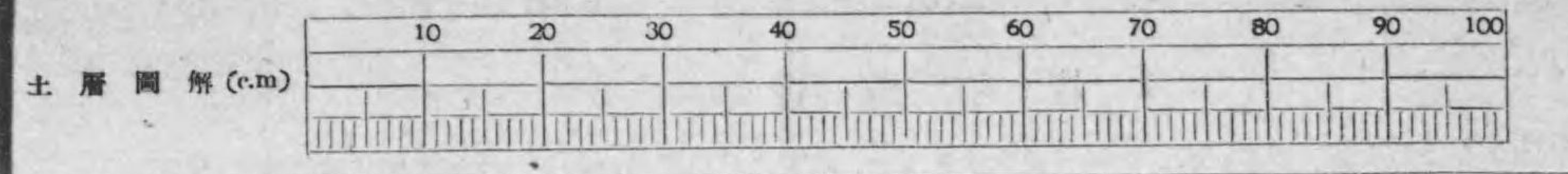
耕種の梗概及慣行施肥法										第	昭和	年	月	日	號
代表土壤採取地		郡		町大字		字		地番		地目					
管理者		地主		作人											
耕種ノ梗概										慣行施肥法					
夏作之部										夏作之部					
品種名	當反收量	播種期	播種量	挿秧期	株植付本數 一坪株數	反當施用量			推定三要素量			見積價額			
						原肥	第一回追肥	第二回追肥	窒素	磷酸	加里				
半年	石	月	日	月	日	貫	貫	貫	貫	貫	貫	圓			
刈取期	除草時期	病蟲害有無	耕鋤ノ深サ	生育狀況											
月	日	1回、月日 2回、 3回、 4回、 5回、	寸	分											
冬作之部										冬作之部					
品種名	反當收量	播種期	播種量	畦幅及雁岐ノ切方	反當施用量			推定三要素量			見積價額				
					原肥	第一回追肥	第二回追肥	窒素	磷酸	加里					
石		月	日	升	尺	寸	分	寸	分	寸	分	圓			
刈取期	土入時期	病蟲害有無	耕鋤ノ深サ	生育狀況											
月	日	月	日	寸	分										
灌溉排水ノ狀況										合計					
灌溉良否	排水良否	灌溉水ノ種類	二毛作ノ有無種類	耕地整理施行ノ有無	施肥法記										
備考										合計					
縦株間										施肥法記					
横株間															

### 2 原地調査

參謀本部5萬分の1地圖に依り豫め調査地點を豫定し水稻收穫直後町村當局、農會、精農家等と協議の上下記様式に依り1ヶ町村當約12ヶ所調査し、代表的土壤及びその他土壤を採取す。

施肥標準調査原地調査書										第	昭和	年	月	日	號
代表土壤採取地		郡		町大字		字		地番		地目					
管理者		地主		作人											

代表サルベキ區別及反別	町反試歩		
地質	耕土並ニ表土ノ深サ	耕土尺	寸分
土性並ニ土色	耕底土	土壤ノ反應	
腐植質ノ多少		地下水ノ高サ	
乾濕		作物ノ生育狀況	



位置及地形	
備考	

### 3 分析調査

#### (1) 化學分析

次の成分を分析す。水分 窒素全量  $\frac{1}{5}$  規定鹽酸可溶性の磷酸、加里、石灰  
全酸度 腐植質 窒素、磷酸の吸收係數

#### (2) 理學分析

次の成分をピーカー法に依り調査す。礫、細土、砂、粘土、粗砂、細砂、微砂  
土壤の分類命名は次に依る。

(イ) 土壤の機械的組成成分各部は次の如く命名す。

原土	礫又は角礫	粒徑	2粒以上
		粗砂	0.25—2.00
	砂	細砂	0.05—0.25
		微砂	0.01—0.05
細土	粘土	0.01以下	

(ロ) 土壤は細土中に於ける粘土の含量により類別し左の如く命名す。

土性	粘土含量
砂土	% 12.5以下
砂壤土	12.5—25.0
壤土	25.0—37.5
埴壤土	37.5—50.0
埴土	50.0以上

(ハ) 細土中砂の含量の  $\frac{2}{3}$  以上が細砂及微砂より成れる時は土性の名稱に細なる語を冠す。

埴壤土及埴土が屢々火山灰土に於て見るが如き輕鬆なる時は輕なる語を冠す。

(ニ) 原土に對する礫の含量は次の標語に依りて之を標示す。

區別	礫含量
含む	% 5—10
富む	10—30
頗る富む	30—50

礫土	50以上
(ホ) 細土に對する腐植の含量は左の標語に依り之を標示す。	
區別	腐植含量
含む	2-5%
富む	5-10
頗る富む	10-20
腐植土	20以上

### 4 栽培調査

本調査は植木鉢三要素試験、原地三要素適量試験、窒素質肥料肥効試験及び原地應用栽培試験に分つ。

#### (1) 植木鉢三要素試験

2,000分の1アール當ワグナー式ポットを使用し一區三聯として3ケ年間繼續施行す。

區別及び施肥量次の如し。(稻麥共)

區別	區名	1鉢當3要素施用量				備考
		窒素	磷酸	加里	炭酸石灰	
第1區	無窒素區	-	1.0	1.0	10.0	肥料ハ硫酸アムモニア、過磷酸石灰、硫酸加里ヲ以テシ、半量原肥、半量追肥トス。
第2區	窒素0.5瓦加用區	0.5	1.0	1.0	10.0	
第3區	無磷酸區	1.0	-	1.0	10.0	
第4區	磷酸0.5瓦加用區	1.0	0.5	1.0	10.0	
第5區	無加里區	1.0	1.0	-	10.0	
第6區	加里0.5瓦加用區	1.0	1.0	0.5	10.0	
第7區	三要素區	1.0	1.0	1.0	10.0	

#### 耕種法及び調査方法

##### 水稻

##### 耕種標準

品種	辨慶2號。
整地	稈麥刈取後植木鉢土壤は之を切返し、根株は細斷して混入填充す。
苗	本場苗代にて仕立てたる生育中等良く揃ひたるものを供用す。
挿秧本數	1鉢當4本を1本宛4ヶ所に挿秧す。
挿秧期	6月20日前後。
施肥期	炭酸石灰は挿秧1週間前に施す。 その他肥料は原肥は挿秧後5日、追肥は7月下旬に施用す。

中耕除草期 7月上旬、7月中旬、7月下旬、8月上旬、8月中旬。

病害蟲 適宜之が防除を行ふ。

##### 調査方法

草丈	大暑當日に於ける株の根元より最長葉の先端迄の長さとする。
稈長	成熟期に於ける最長莖の穂首迄の長さとする。
莖數	大暑當日に於ける1鉢當の總莖數とする。
穗數	成熟期に於ける1鉢當の穗數とする。
出穂期	1鉢中穗の $\frac{1}{2}$ 以上抽出したるもの7分通りある時を以てその鉢の出穂期とする。
成熟期	穂梗の約上半分が黄變し穂首は帶綠黄色を呈し穂元にある大部分の初粒は尙生氣を有する時とする。
總重量	刈取後網室内に於て晴天1週間内外架下し、そのまま全收穫物の重量とする。

籾重量	籾を扱ぎ落し秕を除きたるものとす。
藁重量	總重量より籾重量を差引きたるものとす。

##### 稈麥

##### 耕種標準

品種	小珍好4號。
整地	水稻刈取後植木鉢土壤を切返し細碎混合して詰替へ根株は細斷して混入填充す。
播種期	11月10日前後。
播種量	1鉢當13粒。
施肥期	炭酸石灰は播種1週間前に施す。 その他肥料は原肥は發芽後7日、追肥は2月下旬に施用す。

##### 間引

第1回は原肥施用1週間後生育中等のもの10本を残し他を間引す。  
第2回は追肥施用1週間後生育中等のもの8本を残して他を間引す。

##### 中耕除草期

1月中旬、2月中旬、3月中旬、4月中旬。

##### 病害蟲

適時之が防除を行ふ。

##### 調査方法

##### 草丈

##### 稈長

##### 莖數

##### 穗數

##### 出穂期

##### 成熟期

##### 總重量

##### 子實重量

##### 稈重量

4月15日及び成熟期に於て水稻と同様に調査す。  
莖葉黄變し芒枯色を呈したる時とす。  
刈取後網室内に於て晴天3日内外架下しそのままの全收穫物の重量とす。  
子實を叩出し撰別したるものとす。  
總重量より子實重量を差引きたるものとす。

#### (2) 原地三要素適量試験

##### 間引

1區面積6坪(2.0×3.0)2聯として3ケ年間繼續施行す。試験各區は1尺の手畦にて界し、試験地の周圍には幅3尺の無肥料區を設けて番外地となし、灌溉水は番外區より各區別に流入せしむ。

區別及び施肥量次の如し。(稻麥共)

區別	區名	反當3要素施用量			備考
		窒素	磷酸	加里	
第1區	無窒素區	-	2.0	2.0	肥料は硫酸アムモニア、過磷酸石灰、硫酸加里を以てし、半量原肥、半量追肥とす 石灰は稻作の時に限り反當30貫施用す。
第2區	窒素1貫加用區	1.0	2.0	2.0	
第3區	無磷酸區	2.0	-	2.0	
第4區	磷酸1貫加用區	2.0	1.0	2.0	
第5區	無加里區	2.0	2.0	-	
第6區	加里1貫加用區	2.0	2.0	1.0	
第7區	三要素區	2.0	2.0	2.0	

#### 耕種法及び調査方法

##### 水稻

##### 耕種標準

品種	特別なる試験地を除きては辨慶2號とす。
挿秧	1株4本8寸角正條とす。
中耕除草	5回。

その他は試験地地方の在來法に依る。

調査方法

程 長

成熟期に於ける各地区生育中等と認むる個所に於て1條10株につき各株中最長莖の根元より穂首迄の長さを測り10本の平均とす。

穂 數

成熟期に於ける各地区生育中等と認むる個所に於て1條10株につき各株の穂數を測りたる平均とす。

出穂期

穂の $\frac{1}{2}$ 以上抽出したるもの70%に達したる時とす。

成熟期

穂梗の約上半が黄變し穂首は未だ帶綠黄色にして穂元にある大部分の粒は尙ほ生氣を有する時とす。

倒伏率

1區中倒伏したる面積の1區全面積に對する割合とす。

収 量

扱落したる粒は晴天2日間乾干をなし唐箕選を行ひ各區別に總重量及び總容量1升重量を秤量す。

糞重量

向ふ口のものの總重量とす。

葉重量

扱落したる後直ちに秤量す。

稈 麥

耕種標準

品 種

小珍好4號。

畦 幅

各區短邊に沿ふて3畦立畦幅5尺とす。

播種量

反當3升5合。

播種法

1畦2條播 播幅は畝幅とす。

施肥期

原肥は播種直前追肥は3月上中旬に施用す。

その他は試験地附近の在來法に依る。

穂 數

成熟期に於ける各區中生育中等と認むる2ヶ所に於て雁岐の長さ1尺内の穂數の平均とす。

程 長

成熟期に於ける各區中生育中等と認むる2ヶ所に於て雁岐の長さ1尺内の最長莖より5本を撰び根元より穂首迄の長さを測り1區10本の平均とす。

倒伏率

1區中倒伏したる面積の1區全面積に對する割合とす。

成熟期

莖葉黄變し芒枯色を呈したる時期とす。

出穂期

水稻に準ず。

子實收量

扱落したる後よく乾燥し叩出し唐箕選を行ひ各區別に子實の總重量總容量及び1升重量を秤量す。

程重量

扱落したる後直ちに秤量す。

(3) 窒素質肥料肥効試験

1區の面積6坪(2.0×3.0)2聯にて3ヶ年間繼續施行す。試験區は1尺の手畦にて界し、試験地の周圍には幅3尺の無肥料區を設けて番外地となし、灌漑水は番外區より各區別に流入せしむ。區別及施肥量次の如し  
水 稻

區 別	區 名	反 當 肥 料 要 素 施 用 量				備 考
		窒 素	磷 酸	加 里	石 灰	
第 1 區	硫酸アムモニア區	1.5	2.0	2.0	30.0	肥料中堆肥を各區共100貫宛窒素として500匁施用し残り1貫宛窒素の半量500匁を硫酸を以てし残り500匁の窒素を頭書肥料を以て補ひ、磷酸は過磷酸石灰、加里は硫酸加里を施用す。
第 2 區	石灰窒素主肥區	1.5	2.0	2.0	30.0	
第 3 區	鱈ノ粕主肥區	1.5	2.0	2.0	30.0	
第 4 區	大豆粕主肥區	1.5	2.0	2.0	30.0	
第 5 區	鶏糞主肥區	1.5	2.0	2.0	30.0	
第 6 區	蹄角粉主肥區	1.5	2.0	2.0	30.0	
第 7 區	㊦配合肥料區	1.5	2.0	2.0	30.0	

稈 麥

區 別	區 名	反 當 3 要 素 施 用 量			備 考
		窒 素	磷 酸	加 里	
第 1 區	硫酸アムモニア區	1.5	2.0	2.0	肥料中堆肥を各區共100貫宛窒素として500匁施用し残り1貫宛窒素の半量500匁を硫酸を以てし残り500匁の窒素を頭書肥料を以て補ひ、磷酸は過磷酸石灰、加里は硫酸加里を施用す。
第 2 區	石灰窒素主肥區	1.5	2.0	2.0	
第 3 區	みづほ化成主肥區	1.5	2.0	2.0	
第 4 區	大豆粕主肥區	1.5	2.0	2.0	
第 5 區	鶏糞主肥區	1.5	2.0	2.0	
第 6 區	人糞尿主肥區	1.5	2.0	2.0	
第 7 區	㊦配合肥料區	1.5	2.0	2.0	

調査事項並に方法

耕種法並に生育調査、收量調査、其の他管理は總て前記原地三要素適量試験に準ず。

(4) 原地應用栽培試験

1區の面積6坪(2.0×3.0)2聯にて3ヶ年間繼續施行す。

試験區間の手畦及び周圍に番外區設置等凡て原地三要素適量試験に準ず。

試験區別を7區に分ち各々概要を摘記すれば次の如し。

水 稻

區 別	區 名	設 計 概 要
第 1 區	在 來 區	試験地附近農家の一般施肥法とす。
第 2 區	査定甲5割減區	査定甲區の施肥量の5割減區とす。
第 3 區	査定甲區	三要素試験成績より査定したる標準三要素量を一般農家の施用する自給肥料及び金肥を以て之れに充つ。
第 4 區	査定甲5割増區	査定甲區の施肥量の5割増區とす。
第 5 區	査定乙區	三要素施用量を査定甲區と大體同一となし、供用肥料は堆肥以外を石灰窒素、硫酸、過磷酸鹽化加里等廉價なる無機質肥料を以てす。
第 6 區	査定丙區	三要素施用量を査定甲區と大體同一となし、紫雲英、青刈大豆等の自給肥料を主肥となし成分不足量を廉價なる無機質肥料を以て供用す。
第 7 區	㊦配合肥料區	各試験地適合の㊦配合肥料を供用し、其の適正を究む。

稈 麥

區 別	區 名	設 計 概 要
第 1 區	在 來 區	試験地附近農家の一般施肥法とす。
第 2 區	査定甲5割減區	査定甲區施肥量の5割減區とす。
第 3 區	査定甲區	三要素試験成績より査定したる標準三要素量を一般農家の施用する自給肥料及び金肥を以て之れに充つ。
第 4 區	査定甲5割増區	査定甲區施肥量の5割増區とす。
第 5 區	査定乙區	査定甲區の三要素施用量中磷酸を増施し供用肥料は廉價なる無機質肥料を以てす。
第 6 區	査定丙區	査定甲區の三要素施用量中加里を増施し供用肥料は廉價なる無機質肥料を以てす。
第 7 區	㊦配合肥料區	各試験地適合の㊦配合肥料を供用し其の適正を究む。

調査事項並に方法

耕種法並に生育調査、收量調査、其の他管理は總て前記三要素適量試験に準ず。

### 第3章 調査成績

#### 1 耕種梗概施肥慣行調査

既述の調査様式に依り昭和5年、同6年に涉り大津郡、阿武郡、萩市に於ける耕種の梗概及び慣行施肥法を調査したり。其の成績次の如し。

##### (1) 郡市町村別平均

各町村個々の農家に就き調査したる成績の郡市町村別の平均を算出すれば次の如し。

##### (I) 水 稻

郡市名	町村名	調査点数	反當收量	耕 種 法					反 當 施 肥 量				
				反播種量	挿秧期	一株本数	坪當株數	刈取期	窒素	磷酸	加里		
大津	三通 隅崎川山海置賀具均	13	2.72	2.8	6.15	2.6	60.5	10.5	1.598	0.792	0.883		
		1	2.00	7.0	6.15	6.0	—	10.15	1.640	0.600	0.650		
		2	2.25	4.5	6.15	4.0	—	10.18	2.175	0.715	0.405		
		11	2.50	2.8	6.10	3.1	56.0	10.6	1.680	1.046	0.717		
		3	2.53	4.0	6.11	4.3	58.7	10.7	1.253	0.957	1.062		
		6	2.37	3.8	6.15	2.8	74.0	10.19	1.900	0.953	0.913		
		10	2.24	4.2	6.15	3.8	—	10.20	1.590	0.534	0.780		
		8	2.04	6.0	6.20	4.9	80.0	10.28	1.243	0.811	0.773		
		8	2.13	4.9	6.17	5.3	75.4	10.26	1.195	0.775	0.910		
		7	2.31	4.4	6.15	3.5	67.4	10.16	1.586	0.796	0.732		
		14	2.51	4.1	6.21	3.5	72.0	10.30	2.077	0.948	1.223		
		萩市	三明 見本並上生雲福佐年俣部川福井古郷賀佐富川崎均	8	2.30	3.1	6.18	3.1	60.0	10.22	1.549	0.873	0.951
				11	2.05	3.0	6.3	5.0	—	9.30	1.002	0.657	0.990
				13	2.17	3.8	5.25	4.1	77.5	9.25	1.341	1.325	1.477
12	2.14			4.9	6.3	4.8	—	10.2	1.938	1.035	1.968		
14	2.49			4.1	6.2	4.2	—	9.27	1.816	0.750	1.628		
9	2.30			4.3	6.7	3.6	60.0	10.5	2.383	1.359	2.253		
9	2.54			3.8	6.3	3.6	—	10.5	1.939	0.739	1.622		
11	2.09			3.5	6.4	3.9	—	10.2	1.562	0.863	1.348		
10	2.28			3.7	6.8	4.2	—	10.9	1.631	0.872	1.882		
9	1.80			3.6	6.8	5.1	—	10.5	1.442	0.679	1.386		
5	2.36			4.4	6.8	4.6	—	10.13	2.908	1.626	2.568		
9	2.08			3.9	6.13	3.5	—	10.19	1.734	0.949	1.436		
10	2.44			4.0	6.16	5.2	—	10.18	1.552	0.666	1.204		
16	3.08			3.1	6.20	3.4	—	11.1	2.400	0.815	1.455		
10	2.74	3.7	6.24	3.6	—	10.30	2.068	1.068	1.498				
5	1.83	3.0	6.21	4.2	77.5	10.30	1.550	0.890	1.356				
12	2.08	3.6	6.7	4.3	78.4	10.8	1.980	0.938	1.832				
12	1.98	3.0	6.17	3.2	64.0	10.21	1.910	1.097	2.031				
13	1.74	4.8	6.18	5.1	—	10.19	1.935	0.958	2.005				
12	2.05	3.1	6.22	3.9	—	10.22	1.441	0.513	1.409				
10	2.42	4.0	6.20	4.3	—	10.23	1.805	0.818	1.346				
10	2.24	3.4	6.3	4.1	69.6	10.24	1.803	0.932	1.602				

##### (II) 稈麥其の他

郡市名	町村名	調査点数	反當收量	耕 種 法					反 當 施 肥 量		
				反播種量	播種期	畦幅	刈取期	窒素	磷酸	加里	
大津	三通 隅崎川山海置賀具均	13	1.38	3.8	11.1	4.5	6.2	1.720	0.579	1.182	
		1	1.20	5.0	10.27	4.5	5.23	0.700	0.220	0.600	
		2	1.20	5.5	11.4	4.5	5.28	1.305	0.260	0.463	
		9	1.40	4.5	10.30	5.3	5.28	1.862	0.648	1.300	
		3	1.07	4.8	11.1	4.3	5.27	1.330	0.515	1.074	
		7	1.17	4.2	10.27	4.5	6.6	1.720	1.018	1.243	
		9	1.27	3.9	11.12	4.3	5.28	1.540	0.787	1.087	
		7	1.37	6.5	11.22	3.4	6.3	1.391	0.496	1.062	
		8	1.38	5.1	12.2	4.0	6.1	2.078	0.914	1.303	
		7	1.27	4.8	11.27	4.4	5.31	1.516	0.604	1.035	
萩市		10	1.53	2.9	11.12	4.0	5.31	2.545	1.118	1.772	

郡市名	町村名	調査点数	反當收量	耕 種 法				反 當 施 肥 量		
				反播種量	播種期	畦幅	刈取期	窒素	磷酸	加里
阿武	三明 見本並上生雲福佐年俣部川福井古郷賀佐富川崎均	7	1.20	3.3	11.5	4.3	5.30	0.969	0.374	0.681
		11	1.49	3.1	10.29	4.2	5.28	2.365	0.995	1.949
		10	1.60	3.6	10.18	4.2	6.2	1.652	1.070	2.468
		6	1.33	3.3	10.31	4.3	6.8	1.342	1.157	0.983
		9	1.84	3.3	10.23	4.2	6.4	1.993	1.792	1.735
		7	1.29	3.0	10.25	4.8	6.3	1.861	1.163	1.977
		6	1.65	4.3	10.24	5.3	6.5	2.100	1.240	1.763
		9	1.43	4.2	10.23	4.7	6.2	2.357	1.416	1.729
		8	1.15	4.4	10.15	4.7	5.28	1.763	0.840	1.815
		7	1.19	4.1	10.22	4.6	6.12	1.361	0.826	1.296
		5	1.52	4.0	10.28	4.5	6.10	2.694	2.084	2.293
		8	1.38	4.5	11.3	4.0	6.9	1.853	1.358	1.330
		10	1.55	4.0	11.12	4.4	6.8	1.881	1.067	1.486
		16	1.46	4.0	11.15	3.4	6.5	2.171	1.348	1.545
		10	1.58	4.1	11.22	2.7	6.5	1.653	1.240	1.437
		4	1.65	5.0	11.30	4.6	6.6	2.313	1.825	2.249
		7	1.60	5.3	10.21	3.9	6.12	0.850	1.021	2.514
		12	1.56	3.7	10.27	4.3	6.1	3.457	1.777	2.430
5	1.30	4.6	10.29	3.3	6.9	2.957	1.199	2.921		
7	1.46	3.2	11.6	4.3	6.9	2.271	0.954	2.074		
6	2.03	5.0	11.12	4.3	6.5	2.220	0.947	2.077		
8	1.72	4.0	11.3	4.2	6.2	2.003	1.223	1.845		

##### (2) 個別調査成績

各町村農會につき調査したる成績次の如し。

施肥法の項に於て○印を附せるは追肥にして、○印なきは原肥を示す。











郡名	町村名	大字	小字	地	耕	種	法	施	加	燐	窒	刈	畦	畦
大津郡	向津具	向津具	下	越原	慶	日	二條	1.062	0.496	1.391	6.3	3.4	3.4	1.062
阿武郡	向津具	向津具	上	原	慶	日	二條	0.600	0.550	0.940	5.15	4.2	4.2	0.600
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.100	1.080	2.410	5.28	4.0	4.0	1.100
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.660	0.230	1.400	5.30	3.9	3.9	0.660
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.140	1.820	4.050	4.2	4.2	4.2	2.140
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.380	0.420	1.900	6.3	3.9	3.9	1.380
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.500	0.525	1.555	6.5	4.0	4.0	1.500
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.800	1.200	1.970	6.5	3.9	3.9	1.800
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.000	0.914	3.078	6.1	4.0	4.0	1.000
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.080	0.480	3.200	6.1	4.5	4.5	2.080
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.700	1.930	3.500	5.28	4.0	4.0	2.700
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.500	0.600	2.250	5.20	4.0	4.0	1.500
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.000	0.800	3.000	6.2	4.4	4.4	2.000
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.200	2.600	2.000	6.1	4.0	4.0	1.200
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	3.000	1.100	3.250	5.28	4.0	4.0	3.000
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.840	0.320	1.100	6.5	3.5	3.5	0.840
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.200	2.500	3.000	6.2	4.0	4.0	2.200
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.200	2.100	2.100	6.5	4.0	4.0	1.200
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.000	0.400	1.500	5.28	4.0	4.0	1.000
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.772	1.118	2.545	5.31	4.0	4.0	1.772
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.700	0.250	0.750	5.30	4.5	4.5	0.700
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.280	0.280	0.900	5.30	4.5	4.5	0.280
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.620	0.580	1.750	5.30	4.5	4.5	1.620
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.105	0.240	0.650	5.30	4.0	4.0	0.105
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.160	0.080	0.400	5.30	4.0	4.0	0.160
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.160	0.080	0.400	5.30	4.0	4.0	0.160
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.640	0.200	1.000	5.30	4.0	4.0	0.640
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.300	1.280	1.900	5.30	4.0	4.0	1.300
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.681	0.374	0.960	5.30	4.3	4.3	0.681
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.470	0.930	2.570	6.5	4.5	4.5	2.470
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.500	1.640	2.150	5.20	4.0	4.0	1.500
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.240	0.420	1.100	6.5	4.0	4.0	1.240
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.225	0.940	3.350	6.5	4.0	4.0	2.225
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.023	0.670	2.800	6.5	4.0	4.0	2.023
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.240	1.600	1.600	6.5	4.5	4.5	1.240
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.940	0.720	2.350	6.5	4.0	4.0	1.940
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.820	1.540	3.100	6.5	4.0	4.0	2.820
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.655	0.700	1.970	6.5	4.5	4.5	1.655
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.740	0.980	2.950	6.5	4.5	4.5	2.740
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.580	0.840	2.070	6.5	4.0	4.0	1.580
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.949	0.995	2.365	5.28	4.2	4.2	1.949
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.040	0.535	1.225	6.5	4.0	4.0	1.040
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.140	0.420	1.350	6.5	5.0	5.0	1.140

郡名	町村名	大字	小字	地	耕	種	法	施	加	燐	窒	刈	畦	畦
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.960	0.680	1.900	6.5	4.0	4.0	1.960
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.420	0.500	1.450	5.28	4.0	4.0	1.420
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.320	0.430	1.750	6.5	4.5	4.5	1.320
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.320	0.850	2.700	6.5	4.0	4.0	2.320
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.150	0.850	1.400	5.28	4.0	4.0	1.150
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	3.680	1.510	2.900	5.28	4.0	4.0	3.680
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.424	1.060	2.281	5.29	3.5	3.5	1.424
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	9.226	3.863	6.065	6.04	3.5	3.5	9.226
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.468	1.070	1.652	6.2	4.2	4.2	2.468
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.520	1.050	2.100	6.10	4.0	4.0	1.520
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.940	1.420	1.350	6.10	4.5	4.5	0.940
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.240	1.520	1.520	6.10	4.0	4.0	1.240
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.200	1.500	1.500	6.10	4.5	4.5	1.200
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.740	0.260	0.800	6.5	4.0	4.0	0.740
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.983	1.157	1.342	6.8	4.3	4.3	0.983
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.620	2.410	1.550	6.10	4.0	4.0	0.620
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.800	3.700	2.500	6.7	5.0	5.0	1.800
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	3.480	2.810	3.650	6.5	4.0	4.0	3.480
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.000	1.450	1.500	6.3	4.0	4.0	1.000
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.163	0.430	1.150	6.1	4.0	4.0	2.163
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.940	1.070	1.890	6.5	4.5	4.5	0.940
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.916	1.808	2.950	5.30	4.0	4.0	0.916
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.220	1.510	1.550	6.20	4.0	4.0	1.220
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.480	0.940	1.200	6.5	4.5	4.5	2.480
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.735	1.79	1.993	6.4	4.2	4.2	1.735
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.480	0.570	1.500	6.5	3.8	3.8	2.480
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.880	1.740	2.200	6.5	5.0	5.0	1.880
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.580	1.640	1.950	5.27	5.0	5.0	1.580
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.880	0.640	1.700	6.6	5.0	5.0	1.880
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.820	2.460	2.550	6.1	5.0	5.0	2.820
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.570	0.535	1.650	6.2	5.0	5.0	1.570
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.630	0.555	1.475	6.5	4.5	4.5	1.630
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.977	1.163	1.861	6.3	4.8	4.8	1.977
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.260	1.540	1.700	6.10	6.4	6.4	1.260
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.880	0.640	1.700	6.5	5.0	5.0	1.880
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.700	0.900	3.650	6.5	5.0	5.0	2.700
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	0.780	1.370	1.250	6.5	5.0	5.0	0.780
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	2.060	1.800	2.300	6.5	5.0	5.0	2.060
阿武郡	向津具	向津具	下	原	慶	日	二條	1.763	1.240	2.100	6.5	5.3	5.3	1.763
阿武郡	向津具	向津具	下	原										



調査地名	大字		小字		地字	耕種		播種		畦幅		刈取期		窒素 貫	磷酸 貫	加里 貫	肥料名及施用量 (單位ノ)	法(反當)
	大	小	大	小		反當 收量	播種量 升	畦幅 尺	月日	月日	反當 收量	畦幅 尺	月日					
阿武郡 彌平	富	富	上野	下野	地	コビシカキ	1.6	5.0	10.28	縦	3.5	6.5	2.533	1.066	2.233	堆肥200	⑤配合肥料010 人糞尿3倍稀釋0250貫 0250貫	
	富	富	下太	下大	野	コビシカキ	1.2	5.0	10.30	—	3.0	6.10	4.000	1.720	4.260	堆肥320	⑤配合肥料 人糞尿3倍稀釋0250貫 0250貫	
	富	富	大	大	野	在來種	1.2	3.0	10.30	—	3.0	6.10	1.850	0.570	1.540	堆肥200	⑤配合肥料 人糞尿0250 0250 人糞尿稀釋0250貫 0250貫	
	富	均	鈴	川	沖	コビシカキ	1.3	5.0	10.25	—	3.5	6.5	2.400	0.880	2.160	堆肥200	⑤配合肥料 人糞尿0120 0120貫 0100貫	
阿武郡 小川	上	小	上	小	沖	コビシカキ	1.30	4.5	10.29	—	3.3	6.9	2.957	1.199	2.921	堆肥600	⑤配合肥料 人糞尿090貫 0100貫	
	小	小	原	原	中	コビシカキ	1.8	4.0	11.10	横	3.8	6.5	2.950	2.040	2.780	堆肥200	⑤配合肥料 五號配合010 人糞尿040 五號配合010	
	小	小	字	字	谷	コビシカキ	1.3	4.0	11.10	—	4.5	6.10	0.800	0.410	0.900	堆肥50	⑤配合肥料 五號配合010	
	小	小	大	大	田	コビシカキ	2.0	3.0	11.21	縦	4.5	6.10	2.750	0.930	2.200	堆肥40	⑤配合肥料 五號配合010 人糞尿0260	
阿武郡 田平	上	小	上	小	田	コビシカキ	1.0	2.0	11.7	—	4.2	6.10	2.975	0.935	2.340	堆肥100	⑤配合肥料 五號配合05 05 破安05 人糞尿0100	
	下	小	大	大	原	コビシカキ	1.0	4.0	11.5	—	4.0	6.5	1.500	0.600	1.800	堆肥40	⑤配合肥料 五號配合05 人糞尿0150 0150	
	下	小	川	川	原	コビシカキ	1.6	3.0	11.5	—	4.2	6.10	2.800	1.010	2.500	堆肥150	⑤配合肥料 五號配合010 人糞尿0100 0100	
	均	均	均	均	原	コビシカキ	1.46	3.2	11.6	—	4.3	6.9	2.271	0.954	2.074	堆肥250	⑤配合肥料 五號配合010 人糞尿0100 0100	
阿武郡 田平	上	下	上	下	尻	コビシカキ	3.2	5.0	11.15	平	5.0	6.15	2.400	0.660	1.840	堆肥200	破安02 木灰30 稀釋人糞尿0100 0100	
	下	下	下	下	地	コビシカキ	1.2	4.0	11.10	—	3.0	5.30	0.920	0.490	1.180	堆肥170	五號配合010 破安01 木灰02	
	下	下	下	下	須	コビシカキ	1.6	4.0	11.15	—	5.0	6.10	2.850	1.220	2.900	堆肥270	五號配合010 0300 五號配合010 010 稀釋人糞尿0130 0150	
	均	均	均	均	利	コビシカキ	2.4	6.0	11.10	三條播	4.8	6.5	2.550	1.010	2.600	堆肥200	0200 五號配合010 稀釋人糞尿0150 0200	
阿武郡 田平	上	下	上	下	通	コビシカキ	2.4	6.0	11.5	三條播	3.0	6.7	2.750	0.930	2.200	堆肥140	五號配合010 人糞尿0130 0130	
	均	均	均	均	通	コビシカキ	1.4	5.0	11.15	—	5.0	6.10	1.850	1.370	1.740	堆肥150	0100 過磷酸05 稀釋人糞尿0180 0180	

## 2 原地調査成績

原地調査の成績に依り耕土の土性平面圖及立體的斷面圖を記すれば次の如し。

### (1) 土性平面圖

大津郡、萩市、阿武郡の農耕地耕土の平面圖の概要別圖の如し。



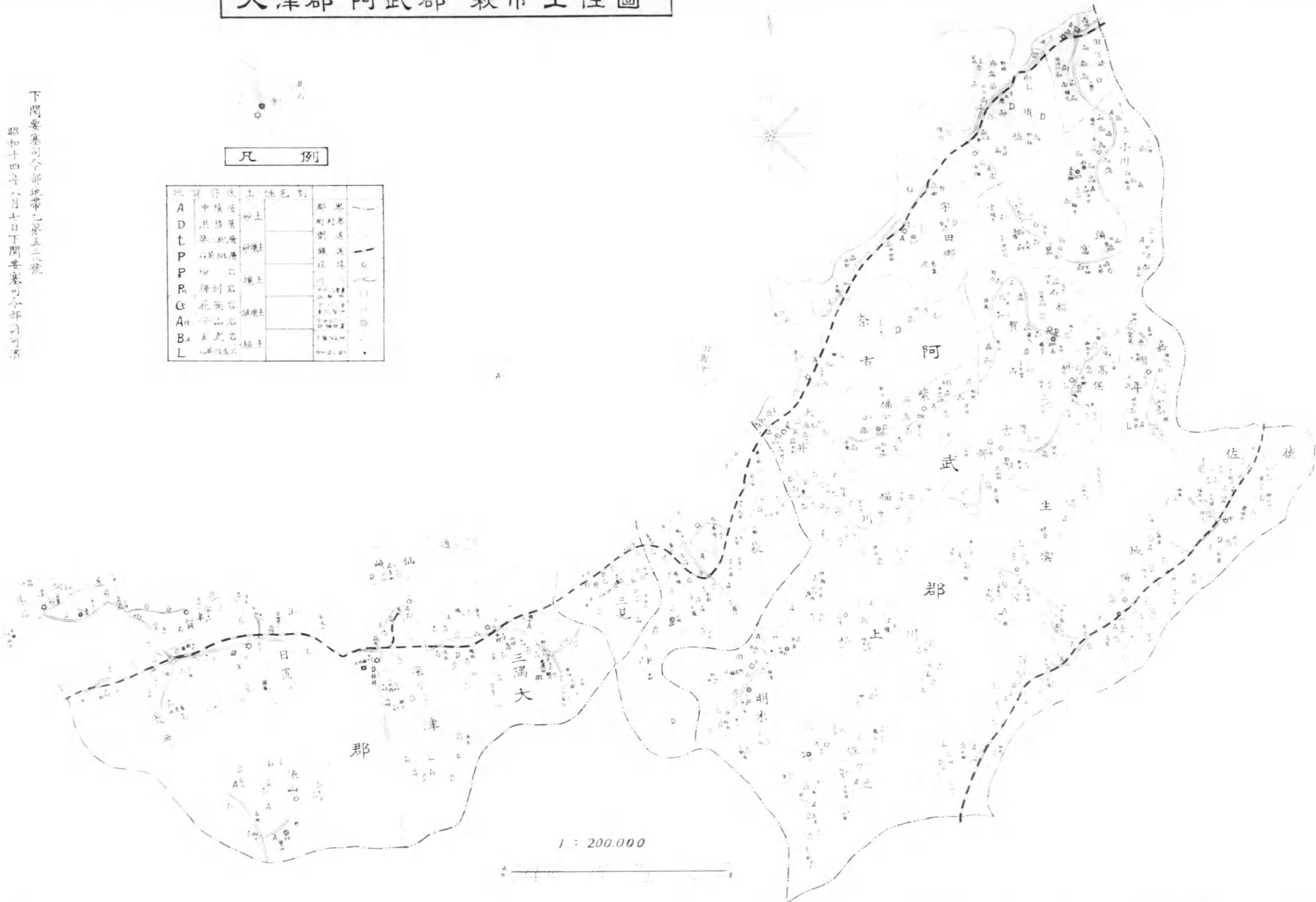


大津郡 阿武郡 菟市土性圖

下関要塞司令部地帯二五三六號  
昭和十四年八月十七日下関要塞司令部許可済

凡 例

地質	土性	色別	界線
A 中積層	砂土		郡界
D 洪積層	砂土		町村界
t 洪積層	砂土		鐵道
P 洪積層	砂土		河川
P 洪積層	砂土		山
R 礫層	壤土		湖沼
G 礫層	壤土		森林
An 礫層	壤土		温泉
Ba 礫層	壤土		遺跡
L 礫層	壤土		境界



1 : 200,000

調査	町村名	大字	小字	品名	種類	播種量	播種期	畦幅	刈取期	窒素	磷酸	加田	加田	加田
----	-----	----	----	----	----	-----	-----	----	-----	----	----	----	----	----



番號は原地調査番號を示し  
 ◎印はポット三要素適量試験地  
 □印は原地三要素適量試験地  
 ○印はポット三要素適量試験及原地三要素適量試験を示す  
 ■印は昭和6年以前に施行したる舊三要素試験地を示す。

1 大津郡

調査番號	町村名	大字	小字	地番	地質	耕土	土の性質	耕土の深さ	乾濕の多少	腐植の多寡	土 層 断 面 (上・土性・下・土色)											
											10	20	30	40	50	60	70	80	90	100		
大 1	三隅村	三隅村	上瀬	坂	洪積	壤	土	12.0	乾	多	壤	土	灰	土	堅	附						
2	會	根	916		砂	礫ヲ含ム砂壤	土	30.3	乾	中	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
3	一ノ瀬	潤			壤	土	土	15.0	乾	多	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
4	蓮	前	2427		砂	礫ヲ含ム砂壤	土	15.0	乾	多	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
5	追	分			砂	壤	土	18.0	乾	多	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
6	東	田	2999		礫	富ム壤	土	15.0	乾	中	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
7	根	木			砂	壤	土	15.0	乾	多	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
8					壤	土	土	11.0	乾	多	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
9	上	樋口	3935/1		礫	富ム壤	土	15.0	乾	多	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
10	フ	モト			壤	土	土	14.0	乾	少	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
11	大	將軍			沖	積	土	15.0	乾	中	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
12	平	田	4582	洪	積	壤	土	14.0	乾	中	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
13	久	保田			壤	土	土	17.0	乾	中	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
14	三	隅中湯	奈		壤	土	土	18.0	乾	少	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
15	一	ノ宮	1633		礫	富ム壤	土	15.0	乾	中	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
16	北	中田	2224/1		礫	富ム壤	土	15.0	乾	多	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
17	宮	ノ前			壤	土	土	14.0	濕	中	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
18	水	門			砂	壤	土	15.0	乾	少	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
19	三	隅下井中	ノ下	624	砂	壤	土	9.0	乾	多	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						
20					壤	土	土	15.0	乾	少	礫ヲ含ム砂壤	土	灰	土	堅	附						



調査番	町村名	大字	字	地番	地質	耕土の質	耕土の深さ	乾濕の多寡	腐植地の高さ	断面 (上・土性・下・土色)											
										10	20	30	40	50	60	70	80	90	100		
21	三陽村	三陽下			洪積	砂壤土	9.0	乾	中	同	砂土	同	砂土	同	砂土	同	砂土	同	砂土	同	砂土
22						壤	15.0	乾	少		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
23		石橋				壤	15.0	乾	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
24		深ヶ				堆積	14.0	乾	多	54.0	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
25		河内神				礫砂	12.0	乾	少		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
26						壤	14.0	少	少		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
27						壤	9.0	多	多	30.0	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
28		隅田				壤	12.0	稍濕	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
29						砂	15.0	乾	中	55.0	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
30						砂	15.0	濕	多	27.0	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
31		台				堆積	17.0	乾	少		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
32						堆	17.0	乾	多		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
33	通村	一藤谷			石炭	礫=富土	30.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
34		一田ノ浦			斑岩	礫=富土	18.0	少	少		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
35	仙崎	一青海			洪積	壤	14.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
36					沖積	砂壤土	17.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
37					沖積	砂壤土	30.0	濕	少	12.0	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
38	深川	川東深川	西新開			砂	17.0	乾	少		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
39						砂	23.0	濕	少		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
40			丁ヶ坪			堆	11.0	稍濕	少		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
41			下郷			堆積	18.0	乾	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
42		西深川	上川西			堆積	15.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土

43		板持				砂	17.0	少	少		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
44		殿臺			沖積	礫=富土	15.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
45		深川湯本	大河内			礫=富土	15.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
46			河原			礫=富土	15.0	少	少		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
47			小河内			砂	9.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
48		澁木	瀬戸			堆	15.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
49						堆	17.0	多	多		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
50						堆	14.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
51			市尾			堆	11.0	濕	多		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
52			横木	木		砂	15.0	乾	少		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
53	俵山		一井領			堆	12.0	多	多		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
54			一河久保			堆	14.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
55			一小野沖			腐植=富土	12.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
56			一廣瀬			堆	12.0	少	少		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
57			一淨圃			砂	11.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
58			一土居			堆	12.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
59			一初ル			堆	9.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
60			一河原田			礫=富土	15.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
61	菱海	伊上	板田			沖積	18.0	乾	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
62			干ヶ場			沖積	15.0	少	少	47.0	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
63			東原			礫=富土	14.0	中	中	55.0	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
64			江原			堆	12.0	多	多		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
65			新別			堆	15.0	中	中	47.0	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
66			久富			堆	9.0	中	中	70.7	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
67			一磯			砂	11.0	中	中		土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土



調査 番號	町村名	大字	字	地番	地質	耕土 の質	耕土の 深さ	乾濕 の多寡	地下 水の 高さ	断面 (上・土性・下・土色)										
										10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	
12	下木部					土	12.0	多	30.0	壤黒褐色	土	砂灰	土色	堅	砂	土色	堅	層		
13	河内田代				洪積	土	15.0	少		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
14	笹尾					土	15.0	中		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
15	田村				沖積	土	15.0	多	30.0	壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
16				2240		土	12.0	乾		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
17	濁淵			2348		土	12.0	中		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
18				3591		土	15.0	多	85.0	壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
19						土	9.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
20	山田				洪積	土	9.0	多	75.0	壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
21	木ノ甲				洪積	土	18.0	中		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
22	杉山					土	15.0	中		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
23	九郎坊			2701		土	15.0	乾		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
24	殿河内			2885		土	18.0	中		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
25	奥玉江				沖積	土	15.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
26	東沖田			4172		土	9.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
27	西沖田					土	15.0	乾	52.0	壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
28	長谷			5791/1	洪積	土	15.0	多	70.0	壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
29	見河内			2760		土	9.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
30	中村			2314	沖積	土	9.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
31	神田			2629		土	12.0	中		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
32	内免					土	15.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
33	中内免			3533		土	21.0	中	90.0	壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
34	上内免				洪積	土	18.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
35	沖田					土	15.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		

36	畦田			2252		土	15.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
37	後堂					土	12.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
38	中山					土	12.0	中		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
39	吉弘			1878		土	15.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
40						土	15.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
41	市				洪積	土	1.20	乾		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
42	床波			1489		土	12.0	少		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
43	手水			852		土	15.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
44						土	15.0	中		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
45	明木				沖積	土	11.0	少		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
46	阿武					土	8.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
47	神田					土	11.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
48	藏屋					土	12.0	多	85.0	壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
49	藏屋					土	14.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
50	笛吹					土	12.0	少		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
51	管蓋					土	12.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
52						土	11.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
53	小野山				洪積	土	12.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
54	白横瀬				沖積	土	12.0	中		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
55	金鏡					土	11.0	少		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
56	佛木					土	12.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
57	横瀬					土	14.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
58	古戰場			4523	洪積	土	11.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
59	新切					土	12.0	多		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		
60	佐々並落					土	11.0	中		壤黒褐色	土	砂	土色	堅	砂	土色	堅	層		



調査番号	町村名	大字	字	地番	地質	耕土	耕土の質	耕土の深さ	乾濕多	腐植地の高さ	断面 (上・土性・下・土色)										
											10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	
111	生藤	目長	田	-	沖積	砂	土	14.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
112	生雲東分大	上小村	上	711	沖積	砂	砂壤土	11.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
113	生雲東分大	上三谷	上	-	沖積	砂	土	11.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
114	生雲東分大	上三谷	上	-	沖積	砂	砂壤土	11.0	中	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
115	生雲東分大	牛人屋	牛	1714	沖積	砂	腐植土	11.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
116	生雲東分大	宮ノ久保	宮	2070	沖積	砂	砂壤土	11.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
117	生雲東分大	用着	用	2214	沖積	砂	砂壤土	9.0	中	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
118	生雲東分大	持坂	持	-	沖積	砂	壤土	9.0	多	多	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
119	生雲東分大	雲生中柳ヶ瀬	雲	-	沖積	砂	砂壤土	27.0	乾	乾	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
120	生雲東分大	天	子	1962/2	沖積	砂	砂壤土	18.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
121	生雲東分大	藏目喜須ノ原	藏	2256	沖積	砂	砂壤土	15.0	乾	乾	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
122	生雲東分大	鋼	鋼	-	沖積	砂	砂壤土	16.0	中	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
123	生雲東分大	生雲中三戸呂	生	1359	沖積	砂	砂壤土	17.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
124	生雲東分大	柳ノ口	柳	-	沖積	砂	砂壤土	40.0	濕	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
125	生雲東分大	中村郷	中	640	沖積	砂	砂壤土	14.0	乾	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
126	生雲東分大	小三戸呂	小	847	沖積	砂	砂壤土	13.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
127	生雲東分大	市	市	-	沖積	砂	砂壤土	12.0	中	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
128	生雲東分大	生雲西分古	生	-	沖積	砂	砂壤土	13.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
129	生雲東分大	木原	木	-	沖積	砂	砂壤土	16.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
130	生雲東分大	上姥金	上	1716	沖積	砂	砂壤土	15.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
131	生雲東分大	二ノ渡リ	二	1361	沖積	砂	砂壤土	15.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
132	生雲東分大	正地	正	-	沖積	砂	砂壤土	17.0	多	多	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
133	生雲東分大	中沖	中	-	沖積	砂	砂壤土	17.0	多	多	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色

134	福	一森ノ口	一	271	沖積	砂	砂壤土	18.0	乾	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
135	福	鷹ノ巢	鷹	-	沖積	砂	砂壤土	18.0	中	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
136	福	地福下款原	地	871/1	沖積	砂	砂壤土	20.0	濕	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
137	福	懸	懸	-	沖積	砂	砂壤土	13.0	乾	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
138	福	下ノ羽場	下	1822	沖積	砂	砂壤土	12.0	中	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
139	福	若林	若	-	沖積	砂	砂壤土	13.0	多	多	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
140	福	八幡原	八	-	沖積	砂	砂壤土	11.0	中	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
141	福	山田	山	-	沖積	砂	砂壤土	15.0	濕	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
142	福	地福上天神沖	地	2470	沖積	砂	砂壤土	13.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
143	福	封	封	2070	沖積	砂	砂壤土	14.0	乾	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
144	福	山田沖	山	-	沖積	砂	砂壤土	15.0	稍濕	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
145	福	地福下地吉	地	-	沖積	砂	砂壤土	20.0	乾	多	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
146	福	地福上惣原	地	-	沖積	砂	砂壤土	15.0	中	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
147	福	用路	用	-	沖積	砂	砂壤土	13.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
148	福	北内間新	北	1120/1	沖積	砂	砂壤土	16.0	多	多	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
149	福	久保	久	334	沖積	砂	砂壤土	13.0	中	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
150	福	赤根屋	赤	-	沖積	砂	砂壤土	20.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
151	德	佐徳佐下谷	佐	956	沖積	砂	砂壤土	12.0	多	多	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
152	德	廣田	廣	717	沖積	砂	砂壤土	10.0	中	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
153	德	徳佐上御所河内	徳	4096	沖積	砂	砂壤土	12.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
154	德	徳佐上下半久	徳	2135	沖積	砂	砂壤土	12.0	少	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
155	德	三原	三	651	沖積	砂	砂壤土	13.0	多	多	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
156	德	神田	神	1020	沖積	砂	砂壤土	12.0	中	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
157	德	市場沖	市	3259	沖積	砂	砂壤土	12.0	稍濕	中	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
158	德	徳佐中沖	徳	3455	沖積	砂	砂壤土	12.0	乾	少	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色
159	德	徳佐中沖	徳	4546	沖積	砂	砂壤土	6.0	乾	多	同	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色	砂黄褐色	土色



調査 番	町村名	大字	字	地番	地質	耕土 の性	耕土 の深さ	乾濕 の多寡	地下 水の 高さ	断面 (上・土性・下・土色)										
										10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	
208	入屋					壤土	10.0	少	-	壤青褐色	土色	壤赤	土色	土色	堅層					
209	福井下柳		坪	3153	1	砂壤土	16.0	少	-	砂灰褐色	土色	砂黒	土色	土色						
210	福井上佛堂		堂	2465		壤土	15.0	濕	-	壤黒	土色	壤黒	土色	土色						
211	久保田		田			砂壤土	12.0	乾	-	砂灰褐色	土色	砂黄	土色	土色	堅層					
212	堂ヶ迫		迫	4757		壤土	18.0	少	-	壤黒	土色	壤黒	土色	土色						
213	福井下矢		柄			砂	12.0	少	-	砂灰褐色	土色	砂黄	土色	土色						
214	福井上		屋			腐植砂	15.0	多	-	腐植砂	土色	腐植砂	土色	土色						
215	福井上		屋	4379		腐植砂	15.0	多	-	腐植砂	土色	腐植砂	土色	土色						
216	黒川		川			壤土	12.0	中	-	壤灰褐色	土色	壤灰	土色	土色						
217	重光		光	750		埴壤土	15.0	中	-	埴壤土	土色	埴壤土	土色	土色						
218	福井下西ヶ迫		迫	234		壤土	12.0	少	80.0	壤灰褐色	土色	壤灰	土色	土色						
219	岩ヶ原		原			埴壤土	10.0	中	-	埴壤土	土色	埴壤土	土色	土色	堅層					
220	黒川		川			砂壤土	18.0	多	80.0	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
221	ソウ津		津	224	洪積	埴壤土	15.0	乾	-	埴壤土	土色	埴壤土	土色	土色						
222	紫原		原			埴壤土	15.0	中	-	埴壤土	土色	埴壤土	土色	土色						
223	下馬場		場	7585	1	埴壤土	13.0	少	-	埴壤土	土色	埴壤土	土色	土色						
224	一向山		山			埴壤土	17.0	多	-	埴壤土	土色	埴壤土	土色	土色						
225	一京佛		佛	6784		腐植砂	12.0	多	-	腐植砂	土色	腐植砂	土色	土色						
226	一永田沖		沖			砂	15.0	少	-	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
227	一山田		田			壤土	10.0	多	55.0	壤灰褐色	土色	壤灰	土色	土色						
228	一堂ヶ市		市			砂	12.0	多	-	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
229	一土井ノ内		内	7176	1	壤土	13.0	多	-	壤灰褐色	土色	壤灰	土色	土色						
230	一畑		畑			砂	20.0	多	-	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
231	一畑		畑	34271		礫砂	15.0	多	-	礫砂	土色	礫砂	土色	土色						

232	一殿川		川	3686	1	礫砂	10.0	多	-	礫砂	土色	礫砂	土色	土色						
233	一期越		越	352		砂壤土	15.0	多	80.0	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
234	一栗ヶ原		原			洪積	8.0	中	-	洪積	土色	洪積	土色	土色						
235	一小西見		見	1561	沖積	砂	12.0	少	-	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
236	一小野田		田			砂	13.0	多	-	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
237	一中		中	2948	沖積	砂	12.0	多	90.0	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
238	一奥畑		畑	8794	洪積	壤土	10.0	少	70.0	壤灰褐色	土色	壤灰	土色	土色						
239	大井		井			砂	10.0	中	75.0	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
240	一切石		石			砂	10.0	乾	-	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
241	一竹鼻		鼻	1970		礫砂	12.0	中	70.0	礫砂	土色	礫砂	土色	土色						
242	一長良		良			砂	12.0	少	-	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
243	一京面		面	1525	1	砂	9.0	多	-	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
244	一倉重		重			砂	12.0	多	-	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
245	一山田ヶ坪		坪	3084		砂	11.0	少	-	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
246	一柳添		添	1288		砂	9.0	中	-	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
247	一羽賀		賀			壤土	9.0	多	75.0	壤灰褐色	土色	壤灰	土色	土色						
248	一助近		近	4325		砂	11.0	乾	-	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
249	一寺田		田	1006		砂	9.0	多	-	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
250	一黒田		田	990		砂	9.0	少	75.0	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
251	一下馬場		場			礫砂	11.0	多	84.0	礫砂	土色	礫砂	土色	土色						
252	一中坂本		本	4940		砂	11.0	多	80.0	砂灰褐色	土色	砂灰	土色	土色						
253	一下七重		重	438	洪積	壤土	9.0	多	-	壤灰褐色	土色	壤灰	土色	土色						
254	一上七重		重	56		壤土	11.0	濕	85.0	壤灰褐色	土色	壤灰	土色	土色						
255	奈古		古	5154	沖積	壤土	14.0	乾	-	壤灰褐色	土色	壤灰	土色	土色						
256	奈古		古	4549	洪積	壤土	10.0	中	-	壤灰褐色	土色	壤灰	土色	土色						







Table with columns: 調査番号, 町村名, 大字, 字, 地番, 地質, 耕土の質, 耕土の深さ, 乾土の多寡, 地水の高低, 断面, 土層, 面 (上・土俵・下・土色), 100, 90, 80, 70, 60, 50, 40, 30, 20, 10. Rows include 見島, 大内, 尻, ガン佛, 宇津, 砂見田, 堅ク.

3 分析調査成績

下記に於て

番號は原地調査番號を示し。
○印はポット三要素調査試験地。
□印は原地三要素調査試験地。
◎印は昭和三十二年以前に施行したる三要素試験地を示す。
■印は昭和三十二年以後に施行したる三要素試験地を示す。
表中數字なきものは分析を行なはざりしものとす。
大とは大津郡、阿とは阿武郡なるを示す。

Table with columns: 番號, 町村名, 大字, 字, 地番, 地質, 土質, 土, 性, 表, 土中, 容積重, 吸水係數, 風乾, 細土, 百分, 中, 腐植質, 全酸度. Rows include 大2, 大4, 大6, 大9, 大11, 大12, 大15, 大16.

Table with columns: 番號, 町村名, 大字, 字, 地番, 地質, 土質, 土, 性, 表, 土中, 容積重, 吸水係數, 風乾, 細土, 百分, 中, 腐植質, 全酸度. Rows include 19, 24, 25, 28, 31, 33, 34, 36, 38, 42, 44, 45, 46, 49, 52, 54, 55, 60, 61, 63, 64, 66, 68, 71, 72, 74, 75, 78, 80, 82, 83, 87, 88, 90, 91, 92, 95, 96, 97, 98, 99, 100, 101, 萩2, 萩5, 萩8, 萩11, 萩16, 萩17, 萩18.

番號	町村名	大字	字	地番	土質	地	性	表		中		風乾		吸收係數		容積重		百分		中			
								石	土	砂	土	水分	全容素	5分,1規定鹽酸可溶性燐	加里	石灰	腐植質	全酸度					
23	山	田	九郎	2701	積	砂	土	8.82	91.18	78.0	22.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
24	河	内	貴	2885	積	砂	土	3.06	96.94	59.0	41.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
26	河	内	貴	2760	積	砂	土	5.55	94.45	80.0	20.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
31	河	内	貴	2629	積	砂	土	2.52	97.48	78.0	22.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
33	河	内	貴	3533	積	砂	土	4.88	95.12	64.0	36.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
36	河	内	貴	2252	積	砂	土	7.76	92.24	66.0	34.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
39	河	内	貴	1878	積	砂	土	6.64	93.36	70.0	30.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
43	河	内	貴	852	積	砂	土	9.76	90.24	74.0	26.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
45	河	内	貴	—	積	砂	土	6.12	93.88	82.0	18.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
47	河	内	貴	—	積	砂	土	7.24	92.76	86.0	14.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
49	河	内	貴	—	積	砂	土	5.08	94.92	74.0	26.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
51	河	内	貴	—	積	砂	土	9.68	90.32	73.0	27.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
52	河	内	貴	—	積	砂	土	11.00	89.00	76.0	24.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
53	河	内	貴	—	積	砂	土	8.00	92.00	86.0	14.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
55	河	内	貴	—	積	砂	土	7.10	92.70	80.0	20.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
58	河	内	貴	4523	積	砂	土	5.20	94.80	86.0	14.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
61	河	内	貴	4054	積	砂	土	2.24	97.76	78.0	22.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
62	河	内	貴	5489	積	砂	土	7.72	92.28	75.0	25.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
64	河	内	貴	4986	積	砂	土	6.60	93.40	86.0	14.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
66	河	内	貴	4480	積	砂	土	10.65	89.35	94.0	6.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
68	河	内	貴	3608	積	砂	土	6.14	93.86	78.0	22.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
70	河	内	貴	3179	積	砂	土	3.00	97.60	80.0	20.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
73	河	内	貴	2553	積	砂	土	7.60	92.40	88.0	12.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
74	河	内	貴	1665	積	砂	土	6.66	93.34	84.0	16.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
76	河	内	貴	2989	積	砂	土	3.12	96.88	82.0	18.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
78	河	内	貴	249/2	積	砂	土	5.40	94.60	82.0	18.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
82	河	内	貴	2149	積	砂	土	7.68	92.32	78.0	22.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
84	河	内	貴	900/2	積	砂	土	1.00	99.00	72.0	28.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
89	河	内	貴	397	積	砂	土	1.70	98.30	79.0	21.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
90	河	内	貴	5469	積	砂	土	16.92	83.08	78.0	22.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
93	河	内	貴	6082	積	砂	土	6.36	93.64	82.0	18.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
95	河	内	貴	7721	積	砂	土	4.40	95.60	82.0	18.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
97	河	内	貴	8429	積	砂	土	3.64	96.36	82.0	18.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
101	河	内	貴	2021	積	砂	土	8.24	91.76	84.0	16.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
103	河	内	貴	1444	積	砂	土	5.04	94.96	76.0	24.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
106	河	内	貴	941/1	積	砂	土	14.24	85.76	86.0	14.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
109	河	内	貴	350/1	積	砂	土	14.86	85.14	78.0	22.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
112	河	内	貴	281	積	砂	土	5.28	94.72	82.0	18.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
115	河	内	貴	711	積	砂	土	1.20	98.80	82.0	18.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
116	河	内	貴	1714	積	砂	土	3.16	96.84	60.0	40.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
117	河	内	貴	2070	積	砂	土	2.31	97.69	78.0	22.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
120	河	内	貴	1962	積	砂	土	2.24	97.76	80.0	20.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
121	河	内	貴	1359	積	砂	土	2.98	97.02	84.0	16.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
123	河	内	貴	640	積	砂	土	0.86	99.32	58.0	42.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
125	河	内	貴	—	積	砂	土	1.26	98.74	86.0	14.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
126	河	内	貴	—	積	砂	土	3.00	97.00	82.0	18.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0

129	河	内	貴	—	積	砂	土	3.40	96.60	80.0	20.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
130	河	内	貴	1716	積	砂	土	3.52	96.48	80.0	20.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
131	河	内	貴	1361	積	砂	土	4.52	95.48	84.0	16.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
134	河	内	貴	271	積	砂	土	1.38	98.62	80.0	20.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
138	河	内	貴	1822	積	砂	土	7.86	92.14	88.0	12.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
142	河	内	貴	2470	積	砂	土	2.79	97.21	80.0	20.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
143	河	内	貴	2070	積	砂	土	12.25	87.75	74.0	26.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
144	河	内	貴	1120	積	砂	土	4.88	95.52	86.0	14.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
148	河	内	貴	334	積	砂	土	8.40	91.20	86.0	14.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
152	河	内	貴	717	積	砂	土	3.04	96.96	86.0	14.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
153	河	内	貴	4096	積	砂	土	2.02	97.98	82.0	18.0	2.440	163.6	125.7	0.981	0.304	0.098	0.049	0.186	0.304	8.42	0	
155	河	内	貴	651	積	砂	土	1.01	98.99	90.0	10.0	6.860	191.2	516.7	0.960	0.326	0.067	0.169	0.067	0.169	0.326	8.20	0
157	河	内	貴	3259	積	砂	土	2.93	97.00	82.0	18.0	2.440	163.6	125.7	0.98								

番號	町村名	大字	字	地番	土質	地	性	表			中		乾			風			吸收係數			中		
								原土百分中 石礫	原土百分中 細土	原土百分中 砂	細土百分中 砂	粘土	容積重	窒素	磷酸	水分	全窒素	5分1規定磷酸 燐酸	加里石灰	腐植質	全酸度	窒素	磷酸	水分
225	京寺	富	上	6784	砂壤土	富	富	富	4.65	95.35	48.0	52.0	1.024	329.0	1001.6	3.860	0.222	0.013	0.047	0.580	10.68	1.20		
229	殿	富	下	7176, 1	砂壤土	富	富	富	3.46	96.54	70.0	30.0	1.002											
231	川	富	下	3427, 1	砂壤土	富	富	富	7.86	92.14	94.0	6.0	0.944											
233	殿	富	下	3686, 1	砂壤土	富	富	富	12.02	78.98	86.0	14.0	0.948											
235	小	富	下	352	砂壤土	富	富	富		100.00	82.0	18.0	0.948											
237	中山	富	下	1561	砂壤土	富	富	富	3.36	96.64	78.0	22.0	0.910											
238	小	富	下	2948	砂壤土	富	富	富	18.55	81.45	74.0	26.0	0.905											
241	井	富	下	8794	砂壤土	富	富	富	0.93	99.07	72.0	23.0	0.905											
243	大	富	下	1970	砂壤土	富	富	富	5.02	94.98	80.0	20.0	1.080											
245	山	富	下	1525, 1	砂壤土	富	富	富	2.6	97.40	94.0	6.0	0.944											
246	柳	富	下	3084	砂壤土	富	富	富	1.64	98.36	86.0	14.0	0.974											
248	寺	富	下	1288	砂壤土	富	富	富	1.42	98.58	84.0	16.0	0.989											
249	寺	富	下	4325	砂壤土	富	富	富	0.31	99.69	76.0	24.0	0.942											
252	寺	富	下	1006	砂壤土	富	富	富	0.60	99.40	78.0	22.0	0.945											
253	寺	富	下	4940	砂壤土	富	富	富	16.00	84.00	82.0	18.0	0.987											
254	寺	富	下	438	砂壤土	富	富	富	1.76	98.24	66.0	34.0	0.904											
255	寺	富	下	56	砂壤土	富	富	富	2.00	98.00	72.0	28.0	0.946											
256	寺	富	下	5154	砂壤土	富	富	富	3.40	96.60	72.0	28.0	1.044											
257	寺	富	下	454	砂壤土	富	富	富	0.20	99.80	64.0	36.0	0.710											
258	寺	富	下	2960, 1	砂壤土	富	富	富	3.80	76.20	70.0	30.0	0.906											
259	寺	富	下	2595, 1	砂壤土	富	富	富	0.49	99.52	70.0	30.0	0.958											
260	寺	富	下	2371	砂壤土	富	富	富	3.20	96.80	81.4	18.6	0.915											
261	寺	富	下	3294, 1	砂壤土	富	富	富	3.70	96.30	80.0	20.0	0.974											
263	寺	富	下	2595, 1	砂壤土	富	富	富	5.20	94.80	74.0	26.0	0.970											
264	寺	富	下	240, 1	砂壤土	富	富	富	15.20	84.80	82.0	18.0	0.710											
265	寺	富	下	4116	砂壤土	富	富	富	6.80	93.20	72.0	28.0	0.970											
266	寺	富	下	624	砂壤土	富	富	富	7.52	92.48	86.0	14.0	0.942											
267	寺	富	下	151	砂壤土	富	富	富	16.30	83.70	80.0	20.0	0.716											
269	寺	富	下	2199	砂壤土	富	富	富	22.58	77.42	89.0	11.0	0.992											
270	寺	富	下	1132	砂壤土	富	富	富	2.68	97.32	70.0	30.0	0.842											
272	寺	富	下	1008	砂壤土	富	富	富	5.52	94.48	72.0	28.0	0.957											
274	寺	富	下	4620	砂壤土	富	富	富	3.98	96.02	66.0	34.0	0.842											
276	寺	富	下	3330	砂壤土	富	富	富	2.12	97.88	56.0	44.0	0.854											
279	寺	富	下	1719	砂壤土	富	富	富	1.70	98.30	72.0	28.0	0.804											
280	寺	富	下	355	砂壤土	富	富	富	2.04	97.96	54.0	46.0	0.786											
281	寺	富	下	3260	砂壤土	富	富	富	0.16	99.84	62.0	38.0	0.799											
282	寺	富	下	2891	砂壤土	富	富	富	0.76	99.24	78.0	22.0	0.870											
284	寺	富	下	1544	砂壤土	富	富	富	1.80	98.20	48.0	52.0	0.870											
286	寺	富	下	235	砂壤土	富	富	富	9.28	90.72	76.7	23.3	0.600											
287	寺	富	下	1032	砂壤土	富	富	富	1.28	98.72	70.0	30.0	0.804											
288	寺	富	下	1581	砂壤土	富	富	富	0.28	99.72	68.0	32.0	0.967											
289	寺	富	下	2855	砂壤土	富	富	富	1.18	98.82	82.0	28.0	0.842											
290	寺	富	下	691, 1	砂壤土	富	富	富	0.78	99.22	74.0	26.0	0.836											
292	寺	富	下	788	砂壤土	富	富	富	0.20	97.80	52.0	48.0	0.948											
294	寺	富	下	6238	砂壤土	富	富	富	0.86	99.14	68.0	32.0	0.972											
295	寺	富	下	3421	砂壤土	富	富	富	2.70	97.30	64.0	36.0	0.922											
296	寺	富	下	8823	砂壤土	富	富	富	0.60	99.40	64.0	36.0	0.858											
298	寺	富	下	2878, 1	砂壤土	富	富	富	5.80	99.20	64.0	36.0	0.842											

300	富	上	川	3358	砂壤土	富	富	富	2.32	97.68	66.0	34.0	1.000										
302	富	上	川	2242	砂壤土	富	富	富	3.00	90.00	76.0	24.0	0.948										
305	富	上	川	1531, 2	砂壤土	富	富	富	2.62	97.38	74.0	26.0	0.854										
310	富	上	川	902	砂壤土	富	富	富	1.88	98.12	52.0	48.0	1.060										
311	富	上	川	1079	砂壤土	富	富	富	7.00	93.00	78.0	22.0	0.872										
316	富	上	川	4202	砂壤土	富	富	富	1.14	95.86	60.0	40.0	0.906										
317	富	上	川	4084, 2	砂壤土	富	富	富	5.08	91.92	74.0	26.0	0.843										
319	富	上	川	3636	砂壤土	富	富	富	0.30	99.70	52.0	48.0	0.938										
320	富	上	川	3232	砂壤土	富	富	富	0.04	99.96	48.0	52.0	0.996										
322	富	上	川	2633	砂壤土	富	富	富	3.44	96.56	64.0	36.0	0.948										
323	富	上	川	1835	砂壤土	富	富	富	4.00	96.00	78.0	22.0	1.046										
327	富	上	川	3939	砂壤土	富	富	富	13.64	86.36	57.0	43.0	0.852										
328	富	上	川	1808	砂壤土	富	富	富	2.22	97.78	72.0	28.0	0.948										
330	富	上	川	727, 1	砂壤土	富	富	富	2.00	98.00	76.0	24.0	1.002										
331	富	上	川	2680, 1	砂壤土	富	富	富	4.35	95.65	84.0	16.0	0.986										
332	富	上	川	447, 1	砂壤土	富	富	富	1.04	98.96	56.0	44.0	0.976										
334	富	上	川	966	砂壤土	富	富	富	6.64	93.36	76.0	24.0	0.945										
336	富	上	川	2072	砂壤土	富	富	富	0	100.00	90.0	10.0	1.000										
339	富	上	川	1186	砂壤土	富	富	富	6.13	93.87	88.75	11.25	0.870										
342	富	上	川	—	砂壤土	富	富	富	0.08	99.92	62.0	38.0	0.968										
343	富	上	川	—	砂壤土	富	富	富	0.08	99.92	50.0	50.0	0.942										
347	富	上	川	—	砂壤土	富	富	富	0.20	99.80	56.0	44.0	0.969										
349	富	上	川	—	砂壤土	富	富	富	2.52	97.48	72.0	28.0	0.922										
350	富	上	川	1579	砂壤土	富	富	富	0.20	99.80	70.0	30.0	0.854										
352	富	上	川	—	砂壤土	富	富	富	0.70	99.93	60.0	40.0	0.922										
354	富	上	川	—	砂壤土	富	富	富	0	100.00	27.0	73.0	1.150										
355	富	上	川	—	砂壤土	富	富	富	1.59	98.41	56.0	44.0	1.046										
358	富	上	川	—	砂壤土	富	富	富	0.16	99.84	54.0	46.0	1.046										
359	富	上	川	—	砂壤土	富	富	富	0.08	99.92	80.0	20.0	1.006										
360	富	上	川	—																			

### 4 栽培試験成績

#### (1) 植木鉢三要素試験成績

##### I 収量指数一覽表 (3ヶ年平均)

本表は三要素区(水稻)又は子實重量(稈麥)を100とせる時の各區の収、子實重量の割合を示したるものにして其の指数小なる程當該肥料成分の天然供給量少く、從つて其の肥料成分を施用する際効果大なるを示すものなり。

作物別 供試土壤採地	水 稻						稈 麥							
	無窒素區	窒素0.5瓦區	無磷區	磷0.5瓦區	無加里區	加里0.5瓦區	無窒素區	窒素0.5瓦區	無磷區	磷0.5瓦區	無加里區	加里0.5瓦區		
吉敷郡 大内村本場	50	74	76	85	78	88	100	32	71	100	109	35	79	100
大津郡 深川町	46	72	85	87	90	97	100	41	62	90	90	84	101	100
〃 依山村	52	76	88	91	90	101	100	41	58	70	76	79	91	100
〃 日置村	47	69	84	85	86	89	100	66	90	64	100*	107	112	100
〃 向津具村	74	77	81	83	81	83	100	61	85	74	85	85	108	100
平 均	54	74	84	87	87	93	100	52	74	75	88	89	103	100
萩 市	47	75	83	87	85	90	100	40	70	90	95	95	103	100
阿武郡 三見村	60	80	93	90	91	85	100	41	71	81	97	80	97	100
〃 明木村	50	69	81	88	77	87	100	36	56	61	91	98	98	100
〃 佐々並村	60	69	82	91	88	82	100	31	64	81	105	86	105	100
〃 川上村	48	71	78	87	86	87	100	18	38	59	90	93	108	100
〃 篠生村	53	74	73	86	91	90	100	28	43	44	85	96	105	100
〃 地福村	47	71	76	93	96	101	100	41	59	41	96*	96	91	100
〃 高俣村	61	80	82	89	90	93	100	43	77	36	104	86	97	100
〃 吉部村	61	78	77	89	88	89	100	39	45	50	99	86	99	100
〃 福川村	52	78	94	93	90	98	100	31	66	72	88	81	94	100
〃 紫福村	53	72	80	89	89	94	100	38	81	49	90	84	100	100
〃 宇多郷村	63	89	77	90	72	86	100	37	79	75	105	45	97	100
〃 福賀村	62	83	93	81	91	92	100	44	79	67	95	102	92	100
〃 彌富村	58	69	79	81	90	90	100	48	69	42	77	101	95	100
〃 小川村	72	81	87	81	85	88	100	51	79	78	88	80	94	100
〃 見島村	68	84	97	94	87	96	100	43	81	68	87*	104	95	100
平 均	58	77	83	88	87	91	100	38	66	60	93	88	98	100

備考 ※印附しあるは2ヶ年平均とす。

植木鉢試験の結果より、試験土壤中に對する三要素の肥効の多少を判定するは其の限界の決定は甚だ困難な問題であるが、當場に於ては次の如くして決定した。(米麥共通)

三要素名	窒素	磷	加里
肥効の多少	多 中 少	多 中 少	多 中 少
収量指数	> 50 < 50	< 79 80-92 > 93	< 79 80-89 > 90

#### (II) 水稻作年次別成績

供試採地	試驗區別	3ヶ年平均			全 年			收 量			重 量			3ヶ年平均			3ヶ年平均		
		長	1鉢當	平均	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目
吉敷郡 大内村本場	無窒素區	76.9	11.8	70.9	84.4	70.5	57.9	41.8	29.1	29.1	34.4	29.1	35.1	35.1	35.8	60	49	41	50
	窒素0.5瓦區	81.3	16.5	108.5	115.4	110.8	99.2	53.4	48.2	48.2	53.6	48.2	51.7	51.7	56.8	77	77	67	74
	無磷區	86.9	18.5	130.0	121.8	123.9	123.9	45.1	57.9	57.9	58.1	57.9	53.7	53.7	70.2	77	83	83	85
大津郡 深川町	無窒素區	80.5	20.8	116.1	147.2	143.6	128.5	61.0	59.7	59.7	66.8	59.7	59.7	59.7	80.1	76	80	86	88
	窒素0.5瓦區	85.1	21.5	136.9	150.7	149.9	140.7	59.2	65.9	65.9	61.6	65.9	62.2	62.2	61.4	88	88	92	92
	無加里區	89.0	24.0	149.5	166.8	160.9	140.7	69.6	71.4	71.4	69.7	71.4	70.2	70.2	79.3	100	100	100	100
大津郡 依山村	無窒素區	76.8	12.0	64.5	79.2	68.3	46.6	38.7	21.8	21.8	32.0	21.8	30.8	30.8	33.7	58	45	35	46
	窒素0.5瓦區	84.0	16.0	98.4	110.1	121.7	93.4	45.8	49.7	49.7	50.6	48.7	48.7	49.7	69	71	71	72	
	無磷區	87.7	19.2	123.4	121.8	124.7	123.4	55.9	57.2	57.2	57.0	57.2	56.7	56.7	66.6	84	80	91	85
大津郡 田原	無窒素區	88.2	20.7	101.7	133.9	135.6	115.6	53.4	56.6	56.6	63.5	56.6	51.8	51.8	69.4	81	90	83	90
	窒素0.5瓦區	87.9	22.2	143.1	150.3	147.3	129.2	64.9	61.1	61.1	62.3	61.1	59.8	59.8	69.4	98	98	97	97
	無加里區	86.0	24.5	126.7	176.9	150.7	126.7	66.4	62.7	62.7	70.8	62.7	66.7	66.7	84.7	100	100	100	100
大津郡 日置村	無窒素區	80.8	12.8	80.2	102.7	78.0	63.6	48.9	29.0	29.0	36.0	29.0	38.0	38.0	42.2	65	48	44	52
	窒素0.5瓦區	88.4	17.5	122.5	135.7	121.7	110.1	56.8	52.4	52.4	54.9	52.4	53.7	53.7	68.8	76	74	79	76
	無磷區	90.7	21.5	144.7	156.1	137.8	140.2	61.2	64.8	64.8	62.7	64.8	62.9	62.9	81.8	81	84	99	88
大津郡 中野	無窒素區	92.2	21.2	145.0	161.1	147.0	145.0	63.3	65.6	65.6	66.3	65.6	65.1	65.1	84.1	84	84	87	90
	窒素0.5瓦區	91.1	23.7	158.6	173.8	160.1	148.6	70.9	69.3	69.3	71.3	69.3	64.5	64.5	88.7	89	95	117	101
	無加里區	89.9	24.4	164.4	180.0	166.6	138.6	75.2	66.2	66.2	74.7	66.2	72.3	72.3	92.1	100	100	100	100
大津郡 森永	無窒素區	78.2	12.5	62.0	86.8	67.6	46.6	41.9	31.0	31.0	32.9	31.0	35.1	35.1	37.0	54	44	43	47
	窒素0.5瓦區	88.4	17.3	106.6	124.4	106.5	131.7	59.0	46.4	46.4	49.9	46.4	51.8	51.8	60.7	76	67	64	64
	無磷區	92.4	21.7	138.5	147.1	136.6	144.1	65.4	57.8	57.8	62.0	57.8	62.6	62.6	80.6	88	84	80	84
萩 市	無窒素區	91.3	22.3	135.3	150.3	146.6	135.3	65.4	59.0	59.0	66.2	59.0	64.3	64.3	87.3	84	89	91	83
	窒素0.5瓦區	91.8	20.3	139.8	159.7	149.4	135.6	62.1	63.3	63.3	67.6	63.3	64.3	64.3	80.6	87	94	87	83
	無加里區	89.7	23.6	152.2	175.8	159.6	144.9	77.9	72.5	72.5	74.3	72.5	74.9	74.9	87.6	100	100	100	100
萩 池永	無窒素區	85.2	22.3	116.4	190.1	149.1	116.4	82.1	57.4	57.4	70.1	57.4	69.9	69.9	82.3	78	67	76	74
	窒素0.5瓦區	89.0	23.8	130.5	192.8	165.1	130.5	80.7	58.7	58.7	79.0	58.7	76.1	76.1	86.5	77	78	87	81
	無磷區	95.0	26.2	160.2	208.2	186.0	160.2	81.6	65.6	65.6	82.7	65.6	77.7	77.7	93.9	80	94	91	88

供試土壌採收地	試驗區別	3ヶ年平均		全收量			根重量			3ヶ年平均根重量			3ヶ年平均根重量と各區平均根重量の差			3ヶ年平均根重量を100とした各區比率			平均
		稈長	1鉢當數	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目		
阿武郡 三見村 阿部 豊熊	無窒素	83.5	15.6	126.1	96.3	76.5	97.6	62.1	43.2	37.8	47.7	31.7	59.9	79	54	48	60		
	無磷	92.0	19.8	176.4	139.7	124.6	141.8	70.9	60.8	58.0	63.2	16.2	78.6	90	77	73	80		
	無磷無氮	91.6	23.5	175.9	157.4	1-6.2	160.0	81.5	70.9	64.6	73.7	5.7	86.3	104	89	86	93		
阿武郡 明木村 石津 滋	無窒素	90.8	22.8	173.9	163.4	131.3	156.2	72.6	73.1	68.1	71.9	7.9	91.6	92	92	83	90		
	無磷	91.9	21.7	157.3	167.5	139.6	154.8	59.1	75.5	64.6	66.4	13.0	88.4	95	99	81	85		
	無磷無氮	91.2	26.0	183.1	171.8	164.0	173.0	78.9	79.6	79.6	79.4	-	93.6	100	100	100	100		
阿武郡 佐々木村 山田 豊秋	無窒素	80.4	12.5	93.4	72.2	63.3	76.3	42.3	33.7	31.1	35.7	36.5	40.6	58	45	46	50		
	無磷	85.2	17.2	127.1	111.4	105.7	114.7	53.3	48.3	47.9	49.8	22.4	64.9	72	64	70	69		
	無磷無氮	89.4	20.7	146.3	134.1	133.3	133.3	56.0	60.3	58.3	58.2	14.0	77.1	76	80	86	81		
阿武郡 川上村 能美安治郎	無窒素	87.1	21.5	155.1	143.3	140.2	146.2	59.7	66.1	63.8	63.2	9.0	83.0	81	88	94	88		
	無磷	87.2	22.0	153.2	152.7	118.9	141.6	48.5	62.2	54.9	55.2	17.0	86.4	66	83	81	77		
	無磷無氮	88.0	23.3	163.6	150.7	136.9	150.4	65.0	65.7	58.1	62.9	9.3	87.5	88	87	85	87		
阿武郡 篠生村 長谷川正人	無窒素	86.5	26.6	166.6	166.1	150.8	161.1	73.6	75.3	67.8	72.2	-	88.9	100	100	100	100		
	無磷	79.4	14.2	100.8	88.8	63.7	84.4	48.4	43.1	35.4	42.3	28.9	42.1	70	53	56	60		
	無磷無氮	82.9	18.3	120.8	119.9	104.0	114.9	38.6	55.6	52.2	48.8	22.4	66.1	56	69	68	69		
阿武郡 地福村 津田梅三郎	無窒素	86.6	24.0	159.5	161.4	126.7	149.2	63.6	63.1	48.4	58.4	12.8	80.0	92	78	76	82		
	無磷	87.1	21.7	158.4	149.0	119.6	142.3	62.5	71.6	60.1	64.7	6.5	84.5	91	89	94	88		
	無磷無氮	86.9	22.7	139.1	149.0	119.9	136.0	58.9	70.1	59.3	62.8	8.4	78.6	8	87	93	93		
阿武郡 高良村 永安 重郎	無窒素	89.7	23.5	144.2	136.7	132.0	137.4	56.4	63.6	58.3	59.4	9.9	77.0	70	94	94	86		
	無磷	89.7	26.0	169.7	176.1	153.9	166.6	76.9	77.3	72.6	75.6	-	91.0	100	100	100	100		
	無磷無氮	86.0	22.6	136.9	139.2	119.9	136.9	60.1	69.2	63.3	64.2	-	79.7	100	100	100	100		
阿武郡 吉部村 佐々木身七	無窒素	85.3	13.0	95.6	78.0	61.2	78.3	37.8	27.7	23.8	29.8	34.4	32.5	63	40	38	47		
	無磷	86.7	18.5	124.7	121.9	99.6	115.4	47.9	45.4	43.4	45.4	18.8	55.5	80	66	68	68		
	無磷無氮	91.7	22.8	147.2	149.9	134.7	143.9	52.4	46.7	46.1	48.4	15.8	56.4	87	75	76	76		
阿武郡 福川村 中村 十吉	無窒素	89.4	21.7	153.9	152.3	114.3	140.2	64.9	72.7	65.8	64.8	2.4	85.0	101	95	93	93		
	無磷	91.9	25.0	159.0	150.7	154.5	158.1	71.1	73.0	61.9	61.8	2.4	71.5	115	95	96	96		
	無磷無氮	90.1	24.6	167.3	154.9	152.2	158.1	60.1	69.2	63.3	64.2	-	79.7	100	100	100	100		
阿武郡 紫福村 佐々木稔市	無窒素	80.7	11.8	85.4	73.9	66.9	75.4	37.2	37.5	33.5	36.1	32.6	39.3	53	51	54	53		
	無磷	87.4	17.0	118.6	112.8	110.5	114.0	49.7	52.3	46.6	49.5	19.2	64.5	71	71	75	72		
	無磷無氮	89.6	18.2	145.4	107.5	121.3	124.7	51.7	56.0	55.6	54.4	14.3	70.3	74	76	89	80		
阿武郡 宇多郷村 虎竹 大治	無窒素	91.6	21.7	157.8	147.0	138.5	147.8	60.2	68.6	53.9	61.6	7.1	86.2	85	93	90	90		
	無磷	87.7	22.0	121.2	146.9	147.3	138.5	58.3	78.2	66.2	71.2	8.2	81.9	85	94	90	90		
	無磷無氮	89.1	24.2	146.7	173.0	121.3	147.0	64.0	79.7	61.0	67.0	21.9	72.1	80	75	61	61		
阿武郡 福賀村 竹田 清市	無窒素	88.8	23.9	154.6	155.5	149.7	153.3	57.7	66.7	67.1	68.7	4.9	87.7	83	91	107	100		
	無磷	80.4	16.2	114.1	111.6	80.5	102.1	55.6	51.4	43.6	50.2	29.2	51.9	68	62	59	63		
	無磷無氮	86.0	23.0	143.2	134.6	141.0	139.6	65.2	73.0	71.8	70.0	9.4	69.6	80	88	98	89		
阿武郡 安野 山崎 忠吉	無窒素	90.9	22.5	158.6	149.6	136.3	148.2	75.8	64.8	66.1	68.9	6.0	79.3	89	77	88	89		
	無磷	93.0	23.8	160.3	163.0	147.3	138.5	58.3	53.4	67.2	59.6	15.3	85.3	110	81	81	81		
	無磷無氮	96.7	23.5	155.8	176.2	149.6	160.5	63.4	70.8	71.1	68.4	6.5	92.1	96	84	95	92		
阿武郡 小川村 山崎 忠吉	無窒素	84.9	15.8	103.8	119.8	77.0	100.2	51.2	56.1	36.0	47.8	37.6	52.4	60	66	48	58		
	無磷	87.4	19.0	120.9	145.5	21.1	129.3	48.3	66.9	53.5	56.2	29.2	73.1	57	78	71	69		
	無磷無氮	90.9	22.5	146.2	150.9	138.2	145.1	61.8	72.0	60.8	64.9	20.5	80.2	73	84	80	80		

供試土壌採收地	試驗區別	3ヶ年平均		全收量			根重量			3ヶ年平均根重量			3ヶ年平均根重量を100とした各區比率			平均	
		稈長	1鉢當數	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目			
阿武郡 吉部村 佐々木身七	無窒素	92.0	21.3	154.7	137.9	130.5	141.0	67.1	57.5	66.7	68.8	5.5	77.2	106	78	95	100
	無磷	89.6	23.4	139.9	163.2	144.1	149.1	63.4	74.2	70.3	69.3	-	79.8	100	100	100	100
	無磷無氮	82.8	14.5	98.9	113.8	74.8	95.8	47.4	52.3	36.7	45.5	29.2	50.3	59	73	51	61
阿武郡 福川村 中村 十吉	無窒素	88.0	21.0	151.3	108.3	121.5	127.0	61.8	56.0	56.8	59.2	16.5	65.2	91	78	78	78
	無磷	91.1	21.8	167.4	142.4	147.6	152.5	73.7	42.2	57.8	57.9	16.8	69.7	91	79	80	80
	無磷無氮	92.1	21.7	155.5	160.4	119.9	145.2	68.0	66.0	66.5	66.8	9.3	79.8	84	92	92	92
阿武郡 紫福村 佐々木稔市	無窒素	90.5	21.3	161.7	159.9	136.0	151.5	63.5	73.8	59.0	65.4	8.3	85.1	73	103	81	88
	無磷	90.6	23.9	177.6	145.1	114.5	162.4	80.4	71.3	72.3	74.7	-	87.7	100	100	100	100
	無磷無氮	85.3	13.0	95.6	78.0	61.2	78.3	46.5	36.2	29.3	37.3	42.2	41.0	62	48	46	52
阿武郡 宇多郷村 虎竹 大治	無窒素	86.7	18.5	124.7	121.9	99.6	115.4	59.5	56.4	49.3	55.2	24.3	60.2	92	75	75	78
	無磷	91.7	22.8	147.2	149.9	134.7	143.9	68.6	69.0	62.5	66.1	13.4	77.8	92	72	99	93
	無磷無氮	89.4	21.7	153.9	152.3	114.3	140.2	64.9	72.7	65.2	66.1	8.9	81.9	85	92	103	103
阿武郡 福賀村 竹田 清市	無窒素	89.7	22.3	151.8	143.6	159.2	151.5	61.9	73.0	63.5	63.7	15.8	76.5	95	97	85	89
	無磷	89.8	23.9	167.3	154.9	152.2	158.1	71.1	73.0	61.9	61.8	9.6	84.8	100	100	100	100
	無磷無氮	80.7	11.8	85.4	73.9	66.9	75.4	37.2	37.5	33.5	36.1	32.6	39.3	53	51	54	53
阿武郡 安野 山崎 忠吉	無窒素	84.9	15.8	103.8	119.8	77.0	100.2	51.2	56.1	36.0	47.8	37.6	52.4	60	66	48	58
	無磷	87.4	19.0	120.9	145.5	21.1	129.3	48.3	66.9	53.5	56.2	29.2	73.1	57	78	71	69
	無磷無氮	90.9	22.5	146.2	150.9	138.2	145.1	61.8	72.0	60.8	64.9	20.5	80.2	73	84	80	80

供試土地名	供試土地別	3ヶ年平均			全			収			量			重			3ヶ年平均			三要素區別重を100としたる			
		稈長	1鉢當數	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均
阿武郡 見島村	無窒素區	83.2	18.2	143.1	85.2	67.5	98.6	31.2	37.4	43.5	21.4	55.1	81	50	72	81	50	72	68	81	50	72	68
	0.5五區	87.7	20.5	171.2	121.5	96.4	128.7	4.0	51.6	52.9	12.0	73.8	83	69	100	83	69	100	84	83	69	100	84
	無磷區	87.2	25.2	196.1	149.6	125.0	156.9	53.4	59.0	59.9	5.0	97.0	87	79	124	87	79	124	97	87	79	124	97
長富惣次郎	無磷0.5五區	88.3	25.7	188.0	138.7	135.7	163.5	56.5	62.6	57.1	7.8	106.4	68	84	131	68	84	131	94	68	84	131	94
	無磷區	91.0	22.8	162.5	164.0	115.5	147.3	60.1	65.8	55.4	9.5	91.9	78	88	94	78	88	94	91	78	88	94	91
	無磷0.5五區	89.1	27.2	182.9	169.8	145.6	166.1	61.0	67.8	59.7	5.2	106.4	79	91	117	79	91	117	96	79	91	117	96
	三要素區	88.4	26.8	186.9	171.2	149.7	169.3	43.1	74.9	64.9	-	104.4	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(Ⅲ) 稈麥作年次別成績

供試土地名	供試土地別	3ヶ年平均			全			収			量			重			3ヶ年平均			三要素區別重を100としたる			
		稈長	1鉢當數	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均
吉敷郡 大内村	無窒素區	56.3	10.7	22.4	22.2	22.1	22.2	8.6	10.1	10.9	22.2	9.9	24	24	24	24	24	24	32	24	24	24	32
	0.5五區	66.6	19.0	51.7	51.1	48.0	50.3	22.3	21.4	23.1	22.3	9.8	62	62	62	62	62	62	71	62	62	62	71
	無磷區	70.2	26.5	84.9	79.1	65.8	76.7	33.0	34.2	30.2	31.7	-0.6	35.0	92	92	92	92	92	100	92	92	92	100
本 場	無磷0.5五區	29.7	29.7	87.4	88.6	69.3	81.8	34.8	39.1	30.2	34.7	47.1	60	60	60	60	60	60	35	60	60	60	35
	無磷區	35.8	29.0	62.9	27.6	21.6	37.4	21.6	4.1	7.3	11.0	26.4	88	88	88	88	88	88	79	88	88	88	79
	無磷0.5五區	64.8	28.8	86.0	69.5	57.1	70.9	31.4	16.0	25.0	24.5	7.6	46.2	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	三要素區	66.4	30.9	92.5	83.8	58.5	78.3	35.9	35.4	26.0	32.1	-	46.4	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
大津郡 深川町	無窒素區	53.4	8.8	21.7	26.9	26.3	25.0	10.1	9.0	12.9	10.7	14.3	36	36	36	36	36	36	41	36	36	36	41
	0.5五區	55.2	13.5	37.0	51.3	29.1	39.4	17.3	20.6	13.9	39.4	10.6	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62
	無磷區	54.9	18.7	58.9	77.4	39.4	58.6	25.3	31.8	17.6	25.3	2.6	33.3	91	91	91	91	91	90	91	91	91	90
馬谷原彌吉	無磷0.5五區	63.5	21.0	61.4	83.8	40.5	61.9	-27.2	31.1	18.7	61.9	2.6	98	98	98	98	98	98	84	98	98	98	84
	無磷區	56.4	21.3	63.3	76.5	24.2	54.7	28.4	34.0	11.1	24.5	3.4	102	102	102	102	102	102	101	102	102	102	101
	無磷0.5五區	65.4	21.8	63.0	84.4	44.2	63.9	28.7	37.9	19.2	28.6	-1.9	103	103	103	103	103	103	101	103	103	103	101
	三要素區	60.2	22.3	63.3	82.9	41.5	63.9	27.8	34.9	20.9	27.9	-	36.0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
大津郡 俵山村	無窒素區	51.9	10.2	32.1	30.9	18.0	27.0	12.8	11.3	8.4	10.8	17.2	44	44	44	44	44	44	41	44	44	44	41
	0.5五區	52.6	15.7	42.0	46.5	25.8	38.1	20.1	16.5	10.2	38.1	12.4	69	69	69	69	69	69	58	69	69	69	58
	無磷區	57.9	16.7	38.5	61.1	29.0	42.9	23.3	19.8	13.2	42.9	9.2	80	80	80	80	80	80	70	80	80	80	70
田原 仲治	無磷0.5五區	60.4	19.5	53.0	77.7	27.6	52.8	23.9	27.0	12.3	52.8	6.9	82	82	82	82	82	82	76	82	82	82	76
	無磷區	56.6	19.7	61.4	80.9	26.9	56.1	28.3	34.2	8.3	56.1	4.4	97	97	97	97	97	97	79	97	97	97	79
	無磷0.5五區	62.4	22.0	66.3	78.2	36.3	60.3	28.5	31.6	10.4	60.3	2.7	100	100	100	100	100	100	91	100	100	100	91
	三要素區	61.4	23.6	66.3	86.9	39.3	65.1	29.2	38.2	16.7	28.0	-	37.1	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
大津郡 日置村	無窒素區	54.1	9.5	29.9	31.7	24.0	28.5	14.1	13.0	10.4	28.5	7.9	61	61	61	61	61	61	66	61	61	61	66
	0.5五區	54.4	13.8	44.6	51.4	28.0	41.3	21.5	18.7	12.5	41.3	2.8	94	94	94	94	94	94	90	94	94	94	90
	無磷區	55.1	12.3	47.6	41.7	20.2	36.5	20.2	9.0	8.5	36.5	7.8	88	88	88	88	88	88	64	88	88	88	64
中原 徳一	無磷0.5五區	58.7	16.7	59.5	69.4	25.1	51.3	26.4	25.9	10.4	51.3	1.8	115	115	115	115	115	115	100	115	115	115	100
	無磷區	56.8	18.7	59.4	72.6	29.7	53.9	31.6	31.6	12.9	53.9	3.4	104	104	104	104	104	104	99	104	104	104	99
	無磷0.5五區	62.8	19.5	60.2	62.4	34.5	52.4	26.6	23.2	15.7	52.4	-3.4	116	116	116	116	116	116	100	116	116	116	100
	三要素區	56.6	19.4	55.2	67.1	30.5	50.9	23.0	26.2	12.0	20.4	-	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
大津郡 向津具村	無窒素區	55.6	16.2	31.6	46.9	41.3	39.9	13.8	11.8	21.1	39.9	11.8	49	49	49	49	49	49	61	49	49	49	61
	0.5五區	66.6	21.8	56.1	68.8	53.3	60.1	22.0	20.6	21.7	60.1	4.3	78	78	78	78	78	78	86	78	78	78	86
	無磷區	64.5	24.7	35.0	80.3	65.5	60.3	9.5	31.6	27.2	60.3	7.4	34	34	34	34	34	34	84	34	34	34	84
	三要素區	66.5	26.0	59.0	79.6	65.1	67.9	21.5	28.6	27.2	25.8	4.6	77	77	77	77	77	77	85	77	77	77	85

供試土地名	供試土地別	3ヶ年平均			全			収			量			重			3ヶ年平均			三要素區別重を100としたる			
		稈長	1鉢當數	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均
森水 權一	無窒素區	62.4	26.2	56.2	81.8	56.4	64.8	20.3	30.3	26.9	25.8	4.5	39.0	72	100	100	100	83	72	100	100	100	83
	0.5五區	67.1	28.2	74.1	83.1	79.2	78.8	29.4	31.4	37.8	32.9	-2.7	35.9	105	103	100	105	116	105	103	100	100	116
	無磷區	65.4	27.9	71.0	79.4	70.5	73.6	28.1	30.4	32.5	30.3	-	43.3	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
萩 池永 伸雄	無窒素區	61.0	10.0	32.6	26.7	26.0	28.4	15.5	10.9	12.6	13.0	9.9	15.4	44	29	29	44	47	44	29	29	44	47
	0.5五區	62.1	13.5	57.5	59.3	41.5	52.8	27.1	20.8	20.6	52.8	10.2	30.1	78	56	56	78	76	78	56	56	78	76
	無磷區	70.1	24.2	80.2	81.1	56.7	72.6	34.7	31.7	25.0	72.6	3.4	40.8	84	92	92	84	94	84	92	92	94	94
阿武郡 三見村	無磷0.5五區	63.5	29.0	84.3	82.6	57.4	74.8	35.8	33.8	26.7	74.8	1.9	41.6	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	無磷區	70.0	29.3	78.0	87.0	66.8	77.6	32.3	35.6	32.2	77.6	1.5	46.7	101	91	91	101	92	101	91	91	101	92
	無磷0.5五區	64.3	30.1	84.4	84.2	58.0	78.9	34.9	37.1	26.6	78.9	-3.2	44.2	93	96	96	93	121	93	96	96	121	103
	三要素區	66.4	31.1	92.7	92.1	65.8	84.9	42.4	39.3	28.7	84.9	-	46.0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
阿武郡 阿部 豊隆	無窒素區	59.3	12.3	34.3	40.1	30.8	35.1	15.7	13.4	14.8	35.1	22.2	20.5	37	34	34	37						

供試土壤名 試驗區別 3ヶ年 平均 全 收 量 重 量 3ヶ年 平均 均三要素 3ヶ年 平均 均三要素 3ヶ年 平均 均三要素 各區比率 三要素區子實重を100としたる 平均

Table with 15 columns: 供試土壤名, 試驗區別, 3ヶ年 平均 (澁長, 1鉢當數), 全 (1年目, 2年目, 3年目), 收 (1年目, 2年目, 3年目), 量 (1年目, 2年目, 3年目), 重 (1年目, 2年目, 3年目), 量 (平均), 3ヶ年 平均 (均三要素, 均三要素), 3ヶ年 平均 (均三要素), 各區比率 (1年目, 2年目, 3年目), 三要素區子實重を100としたる (1年目, 2年目, 3年目), 平均.

Table with 15 columns: 供試土壤名, 試驗區別, 3ヶ年 平均 (澁長, 1鉢當數), 全 (1年目, 2年目, 3年目), 收 (1年目, 2年目, 3年目), 量 (1年目, 2年目, 3年目), 重 (1年目, 2年目, 3年目), 量 (平均), 3ヶ年 平均 (均三要素, 均三要素), 3ヶ年 平均 (均三要素), 各區比率 (1年目, 2年目, 3年目), 三要素區子實重を100としたる (1年目, 2年目, 3年目), 平均.



(2) 原地三要素適量試験成績

I 収量指數一覽表 (3ヶ年平均)

本表は三要素區玄米重量(水稻)又は子實重量(稈麥, 小麥)を100としたる時各區の玄米重, 子實重量の割合を示したるものにして其の指數小なる程當該肥料成分の天然供給量少く、從つて其の肥料成分を施用する際効果大なるを示すものなり。

Table with columns for crop type (水, 稻, 麥), experimental area (試驗地名), and various fertilizer treatments (無窒素區, 窒素一貫區, etc.). Rows list locations like 大津郡 深川町 and 阿武郡 佐々並村.

備考 ※印附しあるは2ヶ平均とす。

現地三要素適量試験の結果より、試験地土壤に對する三要素の肥効の多少を決定するに際し、其の限界を決定するは種々の事情に依りて相違し、甚だ困難な事項であるが、本場に於ては便宜上次の規準に依つた。

Summary table for fertilizer efficiency. Columns: 三要素名 (Nitrogen, Phosphorus, Potash), 肥効の多少 (Efficiency level), 収量指數 (Yield index). Values range from <87 to >96.

I 水稻作年次別成績

Large table showing rice yield performance by year and region. Columns include experimental area, maturity date, yield index, and yield per unit area. Rows list areas like 大津郡 深川町 and 阿武郡 佐々並村.

試験地名擔當者 並供試品種	試験區別	3ヶ年平均			3ヶ年平均一區當			反當玄米収量			3ヶ年平均反當			三要素區玄米重量ヲ100トシタル各區ノ比率		
		成熟期	倒伏率	稈長	一株穂數	穂重量	穂容量	稈重量	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均
阿武郡 福川村 中村 十吉 供試品種 辨慶 2 號	無窒素區 無窒素一貫區 無機酸區 無機酸一貫區 無加里區 無加里一貫區 三要素區	10.22 10.22 10.22 10.22 10.22 10.22 10.22	- - - - - - -	2.92 3.11 3.32 3.32 3.28 3.29 3.29	11.7 12.7 14.4 14.2 14.1 14.5 14.6	2.009 2.233 2.280 2.227 2.274 2.264 2.265	0.798 0.886 0.905 0.883 0.902 0.897 0.899	2.656 3.171 3.171 3.366 3.341 3.219 3.305 3.298	2.573 2.716 2.725 2.716 2.716 2.696 2.730	2.722 3.103 3.298 3.332 3.290 3.275 3.275	3.201 3.643 3.627 3.352 3.619 3.597 3.577	2.832 3.154 3.217 3.133 3.208 3.189 3.194	94 100 100 100 100 99 100	83 95 100 101 101 100 100	89 99 100 94 100 100 100	

■ 麥作年次別成績

試験地名擔當者 並供試品種	試験區別	3ヶ年平均			3ヶ年平均一區當			反當玄米収量			3ヶ年平均反當			三要素區玄米重量ヲ100トシタル各區ノ比率		
		成熟期	倒伏率	稈長	一株穂數	穂重量	穂容量	稈重量	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均
大津郡 深川町 馬谷原彌吉 供試品種 小珍好 四號	無窒素區 無窒素一貫區 無機酸區 無機酸一貫區 無加里區 無加里一貫區 三要素區	5.29 5.29 6.1 5.30 6.2 5.30 5.29	40.0 28.8 92.5 66.3 40.0 60.0 31.5	2.71 3.12 3.32 3.34 2.92 3.22 3.45	29.3 46.0 42.1 49.3 50.2 48.3 50.8	0.917 1.377 1.499 1.511 1.421 1.494 1.606	1.86 3.60 3.95 3.98 3.74 3.91 4.19	1.78 1.866 2.182 2.204 1.799 1.696 1.848	0.970 1.560 1.695 1.220 1.750 1.645 1.765	1.329 1.943 2.306 2.248 2.329 2.306 2.486	0.490 1.895 1.970 1.970 1.50 1.915 2.035	0.930 1.779 1.974 1.989 1.870 1.955 2.095	55 88 95 98 98 93 100	54 72 92 90 93 100 100	62 93 93 76 94 100 100	
大津郡 日置村 中野 徳一 供試品種 小珍好 四號	無窒素區 無窒素一貫區 無機酸區 無機酸一貫區 無加里區 無加里一貫區 三要素區	6.5 6.5 6.5 6.5 6.5 6.5 6.5	45.0 80.0 65.0 70.0 80.0 82.5 65.0	2.21 2.59 2.67 2.89 2.74 2.90 2.90	44.1 49.1 53.2 67.8 65.8 65.0 63.5	0.563 0.722 0.862 0.885 0.899 0.928 0.927	1.46 1.89 2.27 2.33 2.37 2.43 2.43	0.679 0.923 1.108 1.131 0.956 1.019 1.230	0.603 0.995 1.220 1.485 1.455 1.450 1.490	0.767 0.869 1.074 1.045 1.090 1.246 1.141	0.820 0.965 1.111 0.960 1.005 0.950 1.035	0.731 0.943 1.135 1.163 1.183 1.215 1.222	41 67 81 99 97 97 100	68 76 93 91 95 109 100	80 93 107 93 97 92 100	
阿武郡 佐々並村 山田 豊秋 供試品種 小珍好 四號	無窒素區 無窒素一貫區 無機酸區 無機酸一貫區 無加里區 無加里一貫區 三要素區	6.10 6.10 6.10 6.10 6.10 6.10 6.10	- - - - - - -	2.40 2.88 2.69 2.94 2.47 2.87 2.93	49.3 69.3 50.2 80.3 80.1 83.1 69.6	0.729 1.017 1.064 1.157 1.176 1.071 1.326	1.89 2.64 2.80 3.04 3.09 3.68 3.46	1.352 2.043 2.148 2.453 1.911 2.445 2.555	0.775 0.993 1.110 1.325 1.210 1.505 1.205	0.912 1.435 1.313 1.775 1.830 1.973 2.180 2.140	1.145 1.555 1.775 1.500 1.453 1.833 2.140	0.944 1.320 1.399 1.522 1.546 1.393 1.732	65 80 91 102 102 124 100	50 78 70 80 78 99 100	54 73 82 85 92 102 100	
阿武郡 生雲村 山村 岩吉 供試品種 伊賀筑後一號	無窒素區 無窒素一貫區 無機酸區 無機酸一貫區 無加里區 無加里一貫區 三要素區	6.22 6.22 6.22 6.22 6.22 6.22 6.22	- - - - - - -	1.88 2.37 2.32 2.49 2.14 2.47 2.49	57.8 87.4 84.4 96.4 104.9 110.0 96.4	0.768 1.226 1.404 1.480 1.190 1.399 1.433	2.13 3.41 3.90 4.12 3.31 3.89 3.98	0.730 1.223 1.345 1.475 1.033 1.355 1.463	0.935 1.270 1.385 1.505 1.345 1.897 1.580	0.933 1.542 1.817 2.014 1.645 1.944 2.105	1.200 1.863 2.080 2.100 1.660 1.990 2.105	1.067 1.704 1.949 2.057 1.653 1.990 1.990	60 80 87 95 84 101 100	50 82 97 107 88 101 100	57 89 99 100 96 96 100	
阿武郡 嘉年村 佐伯徳次郎	無窒素區 無窒素一貫區 無機酸區 無機酸一貫區	6.21 6.21 6.21 6.21	- - - -	2.15 2.45 1.80 2.61	39.6 38.7 29.9 46.8	0.247 0.336 0.163 0.490	0.67 0.92 0.45 1.34	0.394 0.651 0.765 0.989	0.460 0.700 0.410 0.975	0.230 0.258 0.125 0.680	0.315 0.415 0.125 0.680	0.335 0.458 0.224 0.668	50 76 44 106	65 73 39 100	51 66 20 109	

供試品種	伊賀筑後一號	阿武郡 吉部村 佐々木兼七 供試品種 白珍好 一號	阿武郡 福川村 中村 十吉 供試品種 小珍好 四號	成熟期	倒伏率	稈長	一株穂數	穂重量	穂容量	稈重量	1年目	2年目	3年目	平均	1年目	2年目	3年目	平均	3ヶ年平均反當	3ヶ年平均反當	三要素區玄米重量ヲ100トシタル各區ノ比率																		
																						月日	%	尺	本	貫	升	貫	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石
																						6.21	-	2.35	43.0	0.274	1.20	0.667	0.960	0.317	0.530	0.602	104	90	84	33.4	104	90	84
6.21	-	2.66	46.3	0.496	1.35	0.995	1.010	0.350	0.670	0.677	109	100	107	49.8	109	100	107	49.8	0.677	0.631	105																		
6.21	-	2.76	45.6	0.464	1.26	0.967	0.920	0.353	0.620	0.631	100	100	100	49.3	100	100	100	49.3	0.631	0.631	100																		
-	-	2.18	39.4	0.588	1.52	0.738	0.980	0.863	0.445	0.763	57	68	42	34.9	57	68	42	34.9	0.763	0.763	56																		
-	-	2.54	63.9	0.873	2.28	1.116	1.300	1.097	0.740	1.141	90	86	69	55.8	90	86	69	55.8	1.141	0.917	52																		
-	-	2.16	51.3	0.696	1.83	1.765	1.300	1.061	0.390	0.917	74	83	36	68.3	74	83	36	68.3	0.917	0.917	64																		
-	-	2.68	73.8	1.003	2.64	1.363	1.680	1.355	0.910	1.315	96	106	88	65.1	96	106	88	65.1	1.315	1.305	63																		
-	-	2.38	76.5	0.988	2.60	1.301	1.760	1.224	0.915	1.305	100	95	85	62.1	100	95	85	62.1	1.305	1.305	90																		
-	-	2.78	67.2	1.033	2.71	1.241	1.725	1.369	0.965	1.353	99	107	90	60.7	99	107	90	60.7	1.353	1.363	99																		
-	-	2.77	70.8	1.044	2.72	1.213	1.745	1.274	1.070	1.363	100	100	100	60.7	100	100	100	60.7	1.363	1.363	100																		
6.21	-	2.35	56.3	0.761	1.97	0.807	0.705	0.979	1.275	0.986	49	48	59	40.4	49	48	59	40.4	0.986	0.986	52																		
6.21	-	2.58	71.0	0.998	2.60	1.046	0.975	1.407	1.525	1.302	68	69	69	52.3	68	69	69	52.3	1.302	1.302	69																		
6.21	-	2.91	75.4	1.202	3.17	1.205	1.245	1.695	1.810	1.583	86	82	82	60.3	86	82	82	60.3	1.583	1.583	83																		
6.21	-	2.94	89.5	1.374	3.61	1.390	1.403	1.871	2.150	1.808	96	91	97	69.5	96	91	97	69.5	1.808	1.808	95																		
6.21	-	2.71	88.3	1.377	3.62	1.222	1.400	2.024	2.030	1.818	95	98	92	61.1	95	98	92	61.1	1.818	1.818	95																		
6.21	-	2.93	8.6	1.404	3.68	1.344	1.390	1.961	2.165	1.118	96	76	98	67.2	96	76	98	67.2	1.118	1.118	97																		
6.21	-	2.99	83.3	1.449	3.78	1.393	1.440	2.044	2.185	1.890	100	100	100	69.7	100	100	100	69.7	1.890	1.890	100																		

備考 ※印刷しあるは2ヶ年平均とす

(3) 窒素質肥料肥効試験成績

I 収量指数一覧表 (3ヶ年平均)

本表は硫安區玄米重量(水稻)又は子實重量(稈麥、小麥)を100とした時、各區の玄米重、子實重量の割合を示したるものにして其の指數小なるものは當該肥料の肥効は硫安に比して劣り、大なるものは硫安に比し肥効優れるを示すものにして各地の氣候、土性に依りそれぞれ肥効に優劣あるを示すものなり。

Table with columns for crop type (rice/wheat), soil type, and fertilizer treatments. Rows list various experimental sites like 阿武郡 須佐町 and 都濃郡 大華村.

以上の結果から見るに、水稻の場合に在りては氣候の關係よりも寧ろ土壤の關係に依つて、施用肥料の效果に多少を生ずるものの如く、砂土に對しては大豆油粕又は鱈搾粕の効果が優り、砂壤土は硫安又は鶏糞の肥効多く壤土又は腐植壤土には鶏糞、大豆油粕或は配合肥料等が肥効大なる傾向を示し、麥の場合に沿海地の砂土を除き山間高冷地では硫安、石灰窒素、配合肥料等の無機質肥料の効果が顯著であり、暖地では有機質肥料の効果が顯著な傾向を示した。

但し之等の差異は僅少であり施肥法の如何に依りて或る程度變化せしめ得るものと考へられる、今各試験地の年次別成績を示すと次の通りである。

II 水稻作年次別成績

Detailed table showing rice yield results by year and fertilizer treatment for various sites. Columns include fertilizer type, yield index, and average yield.

Table showing wheat yield results by year and fertilizer treatment for various sites. Columns include fertilizer type, yield index, and average yield.

III 麥作年次別成績

Detailed table showing wheat yield results by year and fertilizer treatment for various sites. Columns include fertilizer type, yield index, and average yield.

試験地名擔當者 並供試品種	試験區別	3ヶ年平均		3ヶ年平均一區當			反當支麥收量				平均反當 秤重量	硫安區支麥重量ヲ100 トシタル各區比率			
		秤長	雁岐1尺 内穂數	子實 重量	子實 容積	秤重量	1年目	2年目	3年目	平均		1年目	2年目	3年目	平均
都濃郡 島田村 坂本 金槌 供試品種 伊賀筑後一號	硫安區	3.42	63.8	0.974	2.71	1,505	1,145	1,583	1,335	1,354	75.0	100	100	100	100
	石灰窒素主肥區	3.37	67.6	0.982	2.73	1,369	1,195	1,675	1,220	1,363	68.5	105	106	92	101
	鹽ノ粕區	3.43	61.7	0.965	2.68	1,414	1,025	1,611	1,390	1,342	70.7	90	102	104	99
	大豆粕主肥區	3.40	65.0	0.935	2.60	1,399	0,960	1,583	1,355	1,299	70.0	84	100	102	95
	鶏糞主肥區	3.38	67.3	0.948	2.63	1,478	1,200	1,638	1,111	1,316	73.9	105	104	83	97
踏角粉主肥區	3.02	55.0	0.754	2.93	0,998	0,770	1,283	1,090	1,048	51.2	68	81	82	77	
⑤配合肥料區	3.38	64.5	0.991	2.76	1,420	1,055	1,708	1,370	1,411	68.7	92	108	103	101	

(4) 應用栽培試験

I 收量指數一覽表 (3ヶ年平均)

試験區別 試験地	水							麥						
	在來區	査定甲五割減區	査定甲區	査定甲五割増區	査定乙區	査定丙區	⑤配合肥料區	在來區	査定甲五割減區	査定甲區	査定甲五割増區	査定乙區	査定丙區	⑤配合肥料區
大津郡 三隅村	100	99	102	102	102	98	100	100	89	111	124	120	109	113
〃 深川町	100	99	99	105	104	104	103	100	94	123	149	122	133	136
〃 日置村	100	99	96	100	98	96	99	100	95	118	150	135	116	121
阿武郡 佐々並村	100	92	98	100	97	97	100	100	75	86	103	89	85	89
〃 生雲村	100	91	101	110	96	106	104	100	78	98	107	94	94	95
〃 地福村	100	87	95	101	90	97	91	100	79	95	118	95	100	98
〃 紫福村	100	89	98	98	97	97	100	100	87	109	128	114	105	108
〃 大井村	100	86	95	103	94	96	99	100	77	98	109	100	95	98
平均	100	94	98	102	97	99	100	100	84	105	123	109	105	107

應用栽培試験の各試験地別成績は第4章に於て詳細記述することとし、本欄に於ては收量指數一覽表のみ掲載し他を省略せり。

第4章 調査成績の應用

1 標準施肥量

以上調査したる施肥慣行調査、原地調査、土壤分析調査、ポット並に原地三要素適量試験の成績に基き各地の標準施肥量を示せば次の如し、而して標準施肥量の最後の決定は豫め査定したる標準施肥設計に依り應用栽培試験を施行し之が適正を期すると共に經濟的關係をも考慮して決定さるべきものにして、幸ひ本期に於ては應用栽培試験も完了したるを以て之が成績を參酌して示せり。尙本成績は一町村を單位として示したるも一町村内に於ても、土性、地力等を異にするものあれば標準施肥量に多少の參酌を加ふべきは勿論なり。

(1) 標準施肥設計に當り準用したる數値次の如し

項目	成分名	窒素	磷酸	加里
玄米—石收穫するに伴ふ全收穫物中の成分量		貫 1,000	貫 0,270	貫 0,700
玄麥—石收穫するに伴ふ全收穫物中の成分量		0,900	0,300	0,600

項目	成分名其他	窒素					磷酸		加里	
		礦物質肥	動物質肥	植物質肥	堆肥	綠肥	有効磷酸	其他磷酸	水溶性加里	其他加里
肥料成分吸收率	水稻	45	60	55	25	45	20	10	40	20
	稈麥	50	40	40	20	—	20	10	50	30

上表は肥料を最も合理的に施用したる時準用すべきものにして氣候の寒暖、土性、施肥方法、施肥用量等に依り異なるべきは勿論なり。

成分算出に用ひたる 肥料成分表	肥料名	成分全量 (%)		
		窒素	磷酸	加里
	堆肥	0.5	0.2	0.6
	紫雲英(生)	0.4	0.1	0.3
	青刈大豆(生)	0.6	0.1	0.6
	撒大豆粕	7.0	1.5	2.0
	下肥	0.5	0.1	0.2
	鶏糞	3.0	3.5	2.0
	硫安アムモニア	20.0	—	—
	石灰窒素	20.0	—	—
	普通過磷酸	—	15.0	—
	強過磷酸	—	19.5	—
	硫酸加里	—	—	48.0
	鹽化加里	—	—	60.0
	木灰	—	2.0	5.0
	水稻用⑤配合肥料1號	8.0	5.0	3.0
	同 2號	8.0	5.0	3.0
	同 3號	8.0	5.0	6.0
	同 4號	8.0	5.0	6.0

成分名	成分全量 (%)			
	肥料名	窒素	磷酸	加里
同	5號	7.0	7.0	3.0
同	6號	7.0	7.0	3.0
同	7號	7.0	7.0	6.0
同	8號	7.0	7.0	6.0
同	9號	4.0	10.0	5.0
同	10號	4.0	5.0	10.0
同	11號	4.0	7.0	7.0
麥用	⑤配合肥料1號	8.5	8.0	2.0
同	2號	8.5	8.0	5.0
同	3號	7.0	10.0	2.0
同	4號	7.0	10.0	5.0

項目	水 稻			稈 麥		
	窒素 (%)			窒素 (%)		
	砂	土	壤	砂	土	壤
遲効性窒素	40	30	30	60	50	50
緩効性窒素	40	40	30	10	10	-
速効性窒素	20	30	40	30	40	50

土性對窒素の形態別施用割合の  
大要

備考 { 遲効性窒素とは堆肥、綠肥、柴草等の窒素を云ふ。  
緩効性窒素とは大豆粕、棉實粕、魚肥等の窒素を云ふ。  
速効性窒素とは硫酸、智利硝石、下肥等の窒素を云ふ。

追肥の時期は各地の事情に依り、一定し難きも凡そ水稻は二番除草の頃（7月中下旬頃）稈麥は第1回2月上中旬、第2回3月上、中旬を適當とす。

(2) 經濟關係調査

收穫代金より肥料代金を差引きたる殘額を以て比較す。

計算に用ひたる玄米、玄麥、肥料の年次別單價次の如し。

種類	年 次		
	昭和10年	昭和11年	昭和12年
玄米 (水稻) 1石當	圓 30.60	圓 29.15	圓 33.75
玄麥 (稈麥) 1石當	16.38	20.71	20.00
小麥 (子實) 1石當	21.85	27.11	26.20

肥料價格 (各10貫當)

肥料名	年 次					
	昭和10年		昭和11年		昭和12年	
	稻作期	麥作期	稻作期	麥作期	稻作期	麥作期
堆肥	圓 0.17	圓 0.14	圓 0.17	圓 0.14	圓 0.17	圓 0.14
下肥	-	0.09	-	0.09	-	0.09
生紫雲英	0.10	-	0.10	-	0.10	-

肥料名	昭和10年		昭和11年		昭和12年	
	稻作期	麥作期	稻作期	麥作期	稻作期	麥作期
乾紫雲英	圓 0.70	-	圓 0.70	-	圓 0.70	-
玉大豆粕	3.10	-	3.10	3.10	3.60	3.70
撒大豆粕	3.30	-	3.30	3.30	4.00	4.20
鱈粕	3.70	3.80	3.80	4.30	4.20	4.80
硫酸安	4.00	4.50	4.80	3.70	3.70	4.00
石灰窒素	3.16	3.20	3.50	3.50	3.25	3.50
普通過磷酸	1.30	1.45	1.50	1.45	1.60	2.20
強過磷酸	1.70	1.93	1.93	1.93	2.20	2.94
硫酸加里	5.20	5.30	5.70	5.60	6.00	6.30
鹽化加里	5.50	5.50	5.60	5.60	6.00	6.20
⑤水稻用配合1號	3.22	-	3.40	-	2.48	-
同 2號	2.91	-	3.15	-	2.95	-
同 3號	3.43	-	3.58	-	3.54	-
同 5號	3.17	-	3.25	-	3.18	-
同 6號	2.73	-	2.95	-	2.70	-
佐々並麥配合	-	3.50	-	2.41	-	3.08
⑤麥菜種用配合1號	-	2.81	-	2.41	-	3.08
同 2號	-	2.94	-	2.68	-	3.35
同 3號	-	2.74	-	2.31	-	2.97
同 4號	-	2.84	-	2.58	-	3.28
五號配合肥料	2.45	2.45	2.60	2.20	3.18	2.70
木灰	-	1.00	-	1.20	-	1.20
石灰	0.40	-	0.40	-	0.50	-

2 大津郡阿武郡裁市標準施肥量一覽表

水			稻			麥		
比	率	反當三要素施用 窒素 磷酸 加里	大津郡	阿武郡	阿武郡	大津郡	阿武郡	阿武郡
10	3	5	2.700	0.800	1.400	三隅	三見	三見
10	3	6	2.500	0.750	1.500	福川、福賀、大井	福川、福賀、大井	生雲
10	4	5	3.000	1.200	1.500	深川、菱海	奈古	宇多郷、奈古、田刀崎
10	4	6	2.500	1.000	1.300	通、仙崎、依山、宇津貫	嘉生、生雲	佐々並、福川
10	4	6	2.500	1.000	1.500	向津具	佐々並、明木、高俣、見馬	大井、小川
10	5	5	2.800	1.100	1.700	日置	萩、小川、田刀崎	三見
10	5	6	2.500	1.300	1.300	福賀、地福、六島	須佐	川上、明木、藤生、吉部、彌富、福賀、地福、嘉生
10	5	7	2.500	1.300	1.800		宇多郷	見馬、六島
10	5	7	2.500	1.300	1.800			須佐
10	5	7	2.500	1.300	1.850			德佐、高俣、紫福

備考

(1) 三要素の比率 前項迄に述べたる如く栽培試験其の他の調査の結果三要素施用割合を示したるものにして、各地共窒素の効果を比し

水稻に對し

10:3:5..... 磷酸、加里的効果的少き地方を示す。

10:3:6..... 磷酸の效果比較的少く加里的効果稍多き地方を示す。

10:4:5..... 磷酸の效果中庸加里の效果少き地方を示す。

10:4:6..... 磷酸の效果中庸加里の效果多き地方を示す。

10:5:5..... 磷酸、加里共に効果比較的少き地方を示す。

10:5:6..... 磷酸の效果比較的少く加里的効果多き地方を示す。

10:5:7..... 磷酸の效果比較的少く加里的効果特に多き地方を示す。

又麥作に對しても比率の大、小は稲作に對する場合と同様に考慮して差支なく茲に數字を省略すべし。

(2) 表示したる反當三要素施用量は調査したる一般農家の施肥慣行を基礎として當該地方の標準量を示したるものとす。

(3) 單位を町村に限定したるも實情は種々異なるを以て農家各自に於て土表三要素比率を準用し窒素の施用量を決定せば自ら磷酸、加里的施用量を算定し得べきを以て、適宜活用するを肝要とす。

3 應用栽培試験成績並に成績の應用

(1) 大津郡三隅村試験地

應用の範圍該當町村—水稻(三隅村、三見村)麥(三隅村、深川町、萩市)

1 試験地梗概

I 位置及び試験擔當者 大津郡三隅村 大竹正樂寺 農事組合 淳村士藏

II 三要素試験成績 大正12年より同14年に至る3ヶ年間施行したる原地三要素試験成績を指數にて示せば次の如し。

作物	區名	無肥料區	無窒素區	無磷酸區	無加里區	三要素區	備考
水稻	稻	77	79	99	95	100	本地方は窒素の效果多く磷酸、加里的效果は比較的少き傾向にありと雖も麥作に對しては加里的效果大なるを認む。
	麥	48	71	90	82	100	

(2) 應用栽培試験

I 耕種設計梗概

水稻 中生旭 1株4本 8寸正條植とす。

稈麥 御堀稈 縱雁岐2條 播巾8寸の廣播とす。

一區の面積 6坪(2.0×3.0) 2區制

II 肥料設計 反當施用量を示せば次の如し。

水稻

區名	肥料名	堆肥	藍ノ粕	撒大豆粕	硫安	石灰	過磷酸	乾雲	紫英	配合1號	同2號	石灰	三要素量		
													窒素	磷酸	加里
在來區		2.00	5.00	—	2.00	—	—	—	—	—	5.00	32.0	2.200	0.850	1.425
査定甲5割減區		1.00	—	3.90	1.65	—	0.90	—	—	—	—	30.0	1.100	0.440	0.678
査定甲區		2.00	—	7.70	3.30	—	1.90	—	—	—	—	30.0	2.200	0.895	1.354
査定甲5割増區		3.00	—	11.60	5.00	—	2.70	—	—	—	—	30.0	3.310	1.320	2.032
査定乙區		2.00	—	—	2.00	4.00	2.40	—	—	—	—	30.0	2.200	0.880	1.200
査定丙區		—	—	—	6.00	—	3.20	50.0	—	—	—	30.0	2.200	0.890	0.750
配合肥料區		2.00	—	—	2.50	—	—	—	5.00	5.00	30.0	2.200	0.850	1.600	

稈麥

區名	肥料名	堆肥	下肥	硫安	過磷酸	硫酸加里	配合1號	同2號	三要素量		
									窒素	磷酸	加里
在來區		2.00	1.00	—	—	—	—	6.0	2.100	0.890	1.700
査定甲5割減區		1.00	—	2.5	1.0	—	—	—	1.000	0.400	0.600
査定甲區		2.00	—	5.0	2.0	—	—	—	2.000	0.800	1.200
査定甲5割増區		2.00	—	7.5	3.0	—	—	—	3.000	1.200	1.800
査定乙區		2.00	—	5.0	6.0	—	—	—	2.000	1.600	1.200
査定丙區		2.00	—	5.0	2.0	2.0	—	—	2.000	0.800	2.160
配合肥料區		2.00	—	—	—	—	5.0	7.0	2.020	1.360	1.650

生育並に收量調査

水 稻

Table with 10 columns: 項目, 生育調査(3ヶ年平均), (収量調査) 反 當 玄 米 容 量, 昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平 均, 同 在 來 區 と の 差, 指數平均. Rows include 在來區, 查定甲50%減區, 查定甲區, 查定甲50%増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

稈 麥

Table with 10 columns: 項目, 生育調査(3ヶ年平均), (収量調査) 反 當 玄 麥 容 量, 昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平 均, 同 在 來 區 と の 差, 指數平均. Rows include 在來區, 查定甲50%減區, 查定甲區, 查定甲50%増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

備 考 反當玄米容量に於て在來區との差とは各區より在來區容量を差引きたる数とす。指數平均とは各年在來區玄米、玄麥容量を100とした時の指數を平均したるものとす。

■ 經濟關係調査

水 稻

Table with 13 columns: 項目, 玄 米 代 金, 肥 料 代 金, 差 引 代 金, 昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平 均. Rows include 在來區, 查定甲50%減區, 查定甲區, 查定甲50%増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

麥 稈

Table with 13 columns: 項目, 玄 麥 代 金, 肥 料 代 金, 差 引 代 金, 昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平 均. Rows include 在來區, 查定甲50%減區, 查定甲區, 查定甲50%増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

摘 要

本試験地に於ては水稻の場合は収量の絶対量は查定甲5割増區が最大なるも、其の差は查定甲區に比し僅少である、又在來區の収量も比較的多く、查定甲區との差異少く、3ヶ年平均収量に於て2%の差を示すのを見た、但し肥料の經濟關係より見る時には、施肥量の種類並に數量相違のため查定甲區最も多く、在來區に比し反當6圓98錢の増收となり、查定甲50%増區之れに次げり。

麥に在りては其の収量の絶対量は、查定甲50%増區最高を示し、在來區に比し3ヶ年平均に於て反當0.石208の増收を見、查定乙區、配合肥料區之に次ぎたるも、之を經濟關係より見る時には、查定甲區最も有利にして在來區に比し3ヶ年平均にて反當3圓80錢の利益となり、查定甲50%増區查定乙區之に次ぐのを見た。

以上の成績を考慮し、本試験地の如き耕地に對する施肥設計の標準を示すと次の通りである。

3 標準施肥設計例

水 稻 作

堆肥主體の施肥法

Table with 7 columns: 肥料名, 反當施用量, 施肥別(原肥, 追肥), 三要素量(反當貫)(窒素, 磷酸, 加里), 施肥上の注意. Rows include 堆肥, 石灰窒素, 硫安, 過磷酸, 石灰, 計.

綠肥主體の施肥法

Table with 7 columns: 肥料名, 反當施用量, 施肥別(原肥, 追肥), 三要素量(反當貫)(窒素, 磷酸, 加里), 施肥上の注意. Rows include 堆肥, 紫雲英, 硫安, 過磷酸, 石灰, 計.

配合肥料の施肥法

Table with 7 columns: 肥料名, 反當施用量, 施肥別(原肥, 追肥), 三要素量(反當貫)(窒素, 磷酸, 加里), 施肥上の注意. Rows include 堆肥, 石灰窒素, 配合1號, 石灰, 計.

裏 作 麥

1 例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	250.0	250.0	-	-	1,250	0,500	1,500	石灰窒素は原肥に施用す其の場合荒田に撒布拌込む又は飛行機、馬鉄にて碎土する際施用し土壌と良く混和すべし。 下肥は追肥として掛肥となす、木灰は12月下旬雁岐上に撒布施用すべし。
石灰窒素	4.0	4.0	-	-	0,800	-	-	
下肥	100.0	-	50.0	50.0	0,500	0,100	0,200	
過燐酸	4.0	2.0	2.0	-	-	0,640	-	
木灰	10.0	-	10.0	-	-	0,100	0,500	
計					2,550	1,340	2,200	

2 例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	-	-	1,000	0,400	1,200	下肥の代りに硫安を施用して差支なし、硫安の施用量は1.5貫乃至2.0貫とし水肥として掛肥すれば可なり。 木灰は12月下旬雁岐上に撒布施用す。
下肥	60.0	-	-	60.0	0,300	0,060	0,120	
配合6號	10.0	10.0	-	-	0,850	0,720	0,200	
同7號	5.0	-	5.0	-	0,425	0,350	0,200	
木灰	10.0	-	10.0	-	-	0,100	0,500	
計					2,575	1,630	2,200	

以上は米麥を通じ村内中庸以上の砂壤土、壤土の圃地に對する施肥設計例を示したるものにして、砂土若しくは粘質土にして地味瘠薄なる耕地にありては施肥量を2割内外減施する様勉むべきなり。

(2) 大津郡深川町試験地

應用の範圍該當町村 水稻(深川、菱海) 麥(深川、三隅、萩)

1 試験地梗概

I 位置及試験擔當者 大津郡深川町西深川 馬谷原彌吉

II 三要素試験成績 植木鉢を以て昭和7年より同9年に至る3ヶ年間施行したる平均成績を指數にて示せば次の如し。

作物名	區名	三要素						備考
		無窒素區	窒素0.5瓦區	無磷酸區	磷酸0.5瓦區	無加里區	加里0.5瓦區	
水稻		46	72	85	87	90	97	窒素最も缺乏し水稻に對しては磷酸麥に對しては加里の効果多き傾向を示す。
麥		41	62	90	90	84	101	

2 應用栽培試験

I 耕種設計梗概

水稻 山口神力 1株4本 8寸正條植とす。

麥 兵庫稜 縦雁岐2條 播巾8寸の廣播とす。

一區の面積6坪(2.0×3.0) 2區制

II 肥料設計 反當施用量を示せば次の如し。

水稻

肥料名	堆肥	籾粕	大豆粕	硫安	石灰	過燐酸	乾雲	紫雲英	配合6號	同2號	石灰	三要素量		
												窒素	磷酸	加里
在來區	150	15.0	-	2.5	-	-	-	-	-	-	30.0	2,600	0,900	0,975
査定甲5割減區	100	-	8.0	3.5	-	3.6	-	-	-	-	30.0	1,760	1,045	0,760
査定甲區	150	-	10.0	5.3	-	5.3	-	-	-	-	30.0	2,500	1,500	1,100
査定甲5割増區	200	-	13.6	6.5	-	6.8	-	-	-	-	30.0	3,255	1,953	1,472
査定乙區	150	-	-	2.8	6.0	6.0	-	-	-	-	30.0	2,510	1,500	0,900
査定丙區	-	-	-	6.5	-	6.0	60.0	-	-	-	30.0	2,500	1,500	0,900
配合肥料區	150	-	7.0	-	-	-	-	-	10.0	8.0	30.0	2,500	1,505	1,760

稈 麥

肥料名	堆肥	下肥	籾粕	硫安	過燐酸	硫酸加里	配合2號	同1號	三要素量		
									窒素	磷酸	加里
在來區	250.0	90	5.0	-	-	-	6.0	-	2,660	1,270	2,005
査定甲5割減區	175.0	-	-	4.4	1.8	-	-	-	1,755	0,710	1,050
査定甲區	250.0	-	-	6.3	2.5	-	-	-	2,510	1,000	1,500
査定甲5割増區	325.0	-	-	8.2	3.3	-	-	-	3,265	1,310	1,950
査定乙區	250.0	-	-	6.3	7.5	-	-	-	2,510	2,000	1,500
査定丙區	250.0	-	-	6.3	2.5	1.3	-	-	2,510	1,000	2,124
配合肥料區	250.0	-	-	-	-	-	10.0	5.0	2,525	1,700	2,100

生育並收量調査

水稻

項目	生育調査(3ヶ年平均)		(收量調査) 反當				玄米容量	
	稈長	一株穂數	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均	同在來區との差	指數平均
1. 在來區	尺 2.56	本 14.9	石 1,639	石 2,853	石 2,300	石 2,263	石 -	100
2. 査定甲50%減區	2.57	15.2	1,542	2,723	2,512	2,259	(-) 0.004	100
3. 査定甲區	2.76	15.5	1,542	2,609	2,573	2,241	(-) 0.022	99
4. 査定甲50%増區	2.80	17.6	1,487	3,259	2,512	2,319	(+) 0.056	103
5. 査定乙區	2.60	15.2	1,685	3,063	2,351	2,366	(+) 0.103	105
6. 査定丙區	2.78	16.8	1,465	3,287	2,463	2,438	(+) 0.175	108
7. 配合肥料區	2.79	16.0	1,533	2,969	2,527	2,343	(+) 0.080	104

稈 麥

項目	生育調査(3ヶ年平均)		(收量調査) 反當				玄麥容量	
	稈長	一尺穂數	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均	同在來區との差	指數平均
1. 在來區	尺 2.50	本 49.0	石 0,976	石 0,880	石 1,261	石 1,039	石 -	100
2. 査定甲50%減區	2.50	45.3	0,867	0,961	1,065	0,964	(-) 0.075	93
3. 査定甲區	2.63	55.2	1,156	1,272	1,347	1,258	(+) 0.219	121
4. 査定甲50%増區	2.69	61.9	1,477	1,392	1,634	1,501	(+) 0.462	144
5. 査定乙區	2.64	56.7	1,167	1,258	1,324	1,250	(+) 0.211	120
6. 査定丙區	2.72	58.4	1,396	1,282	1,488	1,389	(+) 0.350	134
7. 配合肥料區	2.71	66.3	1,378	1,352	1,423	1,384	(+) 0.345	133



■ 經濟關係調査

水 稻

項目	支 米 代 金				肥 料 代 金				差 引 代 金			
	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均
1. 在 來 區	50.15	83.16	77.63	70.31	10.38	10.65	11.28	10.77	39.77	72.51	66.35	59.54
2. 査定甲50%減區	47.19	79.38	84.78	70.45	7.56	7.86	8.28	7.90	39.63	71.52	76.50	62.55
3. 査定甲區	47.19	76.05	86.84	70.03	10.09	10.39	10.86	10.35	37.10	65.66	75.98	59.58
4. 査定甲50%増區	45.50	95.00	84.78	75.09	12.87	13.23	13.84	13.31	32.63	81.77	70.94	61.78
5. 査定乙區	51.56	89.29	79.35	73.40	7.81	8.09	8.00	7.97	43.75	88.40	71.35	65.43
6. 査定丙區	44.83	95.82	83.13	74.59	9.04	9.42	8.07	8.84	35.75	85.40	75.06	65.74
7. ㊦配合肥料區	46.91	86.25	85.29	72.82	11.12	115.3	11.91	11.52	35.75	74.72	73.38	61.30

裸 麥

項目	支 麥 代 金				肥 料 代 金				差 引 代 金			
	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均
1. 在 來 區	15.99	18.22	25.22	19.81	5.40	5.25	5.65	5.43	10.59	12.97	19.57	14.38
2. 査定甲50%減區	14.20	19.90	21.30	18.47	2.65	2.50	2.72	2.62	11.57	17.40	14.47	15.85
3. 査定甲區	18.94	26.34	26.94	24.07	5.30	5.00	5.45	5.25	13.64	21.34	21.49	18.82
4. 査定甲50%増區	24.19	28.83	32.68	28.57	6.90	7.50	8.17	7.54	15.23	21.33	24.51	20.36
5. 査定乙區	19.12	26.05	26.48	23.88	5.88	5.77	6.62	6.09	13.24	20.28	19.86	17.79
6. 査定丙區	22.87	26.55	29.76	26.39	6.30	6.12	6.71	6.40	16.51	20.43	23.05	20.00
7. ㊦配合肥料區	22.57	28.00	28.46	26.34	6.23	5.85	6.65	6.24	16.34	22.15	21.85	20.10

摘 要

以上の成績より見るに、水稻の場合に於ける収量の絶対量多きは3ヶ年平均数に於て査定丙區にして、在來區に比し3ヶ年平均にて反當0.175石の増収を示し、査定乙區、㊦配合肥料區之に次げり、又經濟關係に於ても紫雲英を用ひし査定丙區の収益最も多く、在來區に比し3ヶ年平均反當6圓20錢の差額を示し、石灰窒素を用ひし査定乙區之れに次ぐを見たり。

裏作麥に在りては反當収量の最も多きは査定甲5割増區にして、在來區に比し3ヶ年平均にて反當0石.462の増収を示し、加里を増施せる査定丙區、㊦配合區之れに次ぐを見たり。其の經濟關係に於ても査定甲5割増區最高の収益を示し、在來區に比し3ヶ年平均反當5圓98錢の増収を示し、㊦配合肥料區、査定丙區之に次ぐを見たり上記の成績より本試験地の如き耕地に對する施肥法の標準を示せば次の如し。

3 標準施肥設計例

水 稻 作

堆肥主體の施肥法

肥 料 名	反當施用量	施 肥 別			三 要 素 量			施 肥 上 の 注 意
		原 肥	追 肥	窒 素	磷 酸	加 里		
堆 肥	200.0	200.0	—	1,000	0,400	1,200	石灰窒素は荒田に耕込み土壌と良く混和すべし。	
石 灰 窒 素	5.0	5.0	—	1,000	—	—		
撒 大 豆 粕	8.0	8.0	—	0,560	0,125	0,160	撒大豆粕の代りに鱈粕を施用するも差支なし	
硫 安	2.5	1.5	1.0	0,500	—	—	追肥は二番除草前頃に施用し除草の際良く土と混合攪拌すべし。石灰は一番除草頃に施用す。	
過 磷 酸	4.0	2.0	2.0	—	0,640	—		
木 灰	10.0	10.0	—	—	0,100	0,500		
石 灰	20.0	—	20.0	—	—	—		
計				3,060	1,265	1,860		

綠肥主體の施肥法

肥 料 名	反當施用量	施 肥 別			三 要 素 量			施 肥 上 の 注 意
		原 肥	追 肥	窒 素	磷 酸	加 里		
堆 肥	150.0	150.0	—	0,750	0,300	0,900	青刈大豆は生草を耕込むことなく必ず生重の4分の1程度乾燥したるものを施用すべし、其他上表参照すべし。	
青 刈 大 豆	250.0	250.0	—	1,500	0,250	1,500		
硫 安	4.0	2.0	2.0	0,800	—	—		
過 磷 酸	5.0	3.0	2.0	—	0,800	—		
石 灰	20.0	—	20.0	—	—	—		
計				3,050	1,350	2,400		

㊦配合肥料の施肥法

肥 料 名	反當施用量	施 肥 別			三 要 素 量			施 肥 上 の 注 意
		原 肥	追 肥	窒 素	磷 酸	加 里		
堆 肥	200.0	200.0	—	1,000	0,400	1,200	石灰窒素の代りに硫安を施用して差支なし、硫安の場合は半量原肥半量追肥とすべし、半量追肥は㊦配合1號と混合の上増量して施用する方便なり。	
石 灰 窒 素	5.0	5.0	—	1,000	—	—		
㊦ 配 合 3 號	10.0	10.0	—	0,700	0,720	0,300		
同 1 號	5.0	—	5.0	0,400	0,260	0,150		
計				3,100	1,380	1,650		

裏 作 麥

1 例

肥 料 名	反當施用量	施 肥 別			三 要 素 量			施 肥 上 の 注 意
		原 肥	1回追肥	2回追肥	窒 素	磷 酸	加 里	
堆 肥	250.0	250.0	—	—	1,250	0,500	1,500	石灰窒素は荒田に撒布耕込むか又は飛行機馬鋤にて碎土する際施用し土壌と良く混和すべし。下肥は追肥に3倍量に稀釋して掛肥すべし。木灰は12月下旬雁岐上に撒布施用す。
石 灰 窒 素	4.0	4.0	—	—	0,800	—	—	
下 肥	100.0	—	50.0	50.0	0,500	0,100	0,200	
過 磷 酸	4.0	2.0	2.0	—	—	0,640	—	
木 灰	10.0	—	10.0	—	—	0,100	0,500	
計					2,550	1,340	2,200	

2 例

肥 料 名	反當施用量	施 肥 別			三 要 素 量			施 肥 上 の 注 意
		原 肥	1回追肥	2回追肥	窒 素	磷 酸	加 里	
堆 肥	200.0	200.0	—	—	1,000	0,400	1,200	下肥の代りに硫安を施用して差支なし、硫安の施用量は1.5貫乃至2.0貫とし水肥として掛肥すべし。木灰は12月下旬雁岐上に撒布施用す。
下 肥	60.0	—	—	60.0	0,300	0,060	0,120	
㊦ 配 合 6 號	10.0	10.0	—	—	0,850	0,720	0,200	
同 7 號	5.0	—	5.0	—	0,425	0,360	0,200	
木 灰	10.0	—	10.0	—	—	0,100	0,500	
計					2,575	1,640	2,220	

以上は米麥を通し、村内中庸以上の砂壤土、壤土の土性に對する施肥設計例を示したるものにして、砂土若しくは粘質土にして地味瘠薄なる耕地にありては施肥量を2乃至3割方減施するを可とす。

(3) 大津郡日置村試験地

應用の範圍 該當町村 水稻(日置、萩、小川、田万崎)

1 試験地梗概

麥(日置、明木、篠生、吉部、彌富、福賀、地福、嘉年、川上)

I 位置及試験擔當者 大津郡日置村 中野徳一

II 三要素試験成績 昭和7年より同9年に至る3ヶ年間施行したる原地三要素適量試験並に植木鉢三要素試験成績を指數を以て示せば次の如し。

原肥三要素適量試験成績指數

Table with columns: 作物, 區名, 無窒素區, 窒素1瓦區, 無磷酸區, 磷酸1瓦區, 無加里區, 加里1瓦區, 三要素區, 備考. Rows for 水稻 and 麥.

植木鉢三要素試験成績指數

Table with columns: 作物, 區名, 無窒素區, 窒素0.5瓦區, 無磷酸區, 磷酸0.5瓦區, 無加里區, 加里0.5瓦區, 三要素區, 備考. Rows for 水稻 and 麥.

2 應用栽培試験

試験擔當者 松尾竹次

I 耕種設計梗概

水稻 辨慶2號 1株4本 8寸正條植とす。

麥 小珍好4號 縱雁岐2條播 巾8寸の廣播とす。

一區の面積 6坪(2.0x3.0) 2區制

II 肥料設計 反當施用量を示せば次の如し。

水稻

Table with columns: 區名, 肥料名, 堆肥, 大豆, 硫安, 石灰, 灰素, 過磷酸, 硫酸, 乾里, 紫雲英, 配合7號, 同2號, 石灰, 三要素量(窒素, 磷酸, 加里). Rows for 在來區, 查定甲5割減區, 查定甲區, 查定甲5割増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

麥

Table with columns: 區名, 肥料名, 堆肥, 下肥, 鱈粕, 硫安, 過磷酸, 硫酸加里, 配合3號, 三要素量(窒素, 磷酸, 加里). Rows for 在來區, 查定甲5割減區, 查定甲區, 查定甲5割増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

生育並收量調査

水稻

Table with columns: 區名, 生育調査(3ヶ年平均) (稈長, 一株總數), (收量調査) 反當(昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均), 支米容量(同來區の差, 指數平均). Rows for 在來區, 查定甲50%減區, 查定甲區, 查定甲50%増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

麥

Table with columns: 區名, 生育調査(3ヶ年平均) (稈長, 一尺間總數), (收量調査) 反當(昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均), 支麥容量(同來區の差, 指數平均). Rows for 在來區, 查定甲50%減區, 查定甲區, 查定甲50%増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

經濟關係調査

水稻

Table with columns: 區名, 項目, 支米代金(昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均), 肥料代金(昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均), 差引代金(昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均). Rows for 在來區, 查定甲50%減區, 查定甲區, 查定甲50%増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

麥

Table with columns: 區名, 項目, 支麥代金(昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均), 肥料代金(昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均), 差引代金(昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均). Rows for 在來區, 查定甲50%減區, 查定甲區, 查定甲50%増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

摘要

上記の試験成績より見るに、本試験地の水稻に於ては試験成績甚だ不判明にして、査定甲區より施肥量を5割増施せる時も、5割減施せる時にも収量上の差異少く、且つ窒素量に可成りの増加あるも、各區共在來區に比し収量の劣るは、試験施行上遺憾の點ありしが、又は試験前の施肥の關係なるか不明なるが、經濟關係より見る時には、施肥量を5割減少せる場合が最も有利であり、次に石灰窒素を用ひし査定乙區又は紫雲英を用ひたる査定丙區が最も有利なるを示す。

裏作麥の場合には、反當収量は査定甲5割増區が最高を示し在來區に比較して3ヶ年平均反當0石.481の増收を示し、査定乙區、㊸配合區、査定甲區、査定丙區の順序で之に次ぎ何れも在來區に比して増收を示せり。尙經濟關係に在りては、査定乙區最も收益多く、査定甲區、同5割増區は在來區と大差なく、他は在來區よりも劣るのを見た。

上記試験成績を基礎とし、本試験地の如き耕地に對する標準施肥設計を例示すると次の通りである。

3 標準施肥設計例

水稻作  
堆肥主體の施肥法

Table with columns: 肥料名, 反當施用量, 施肥別 (原肥, 追肥), 三要素量 (窒素, 燐酸, 加里), 施肥上の注意. Includes rows for 堆肥, 大豆粕, 硫安, 過燐酸, 石灰, and a total row.

綠肥主體の施肥法

Table with columns: 肥料名, 反當施用量, 施肥別 (原肥, 追肥), 三要素量 (窒素, 燐酸, 加里), 施肥上の注意. Includes rows for 堆肥, 青刈大豆, 硫安, 過燐酸, 石灰, and a total row.

㊸配合肥料の施用法

Table with columns: 肥料名, 反當施用量, 施肥別 (原肥, 追肥), 三要素量 (窒素, 燐酸, 加里), 施肥上の注意. Includes rows for 堆肥, 石灰窒素, ㊸配合3號, ㊸配合2號, 石灰, and a total row.

裏作麥

1 例

Table with columns: 肥料名, 反當施用量, 施肥別 (原肥, 1回追肥, 2回追肥), 三要素量 (窒素, 燐酸, 加里), 施肥上の注意. Includes rows for 堆肥, 石灰窒素, 下肥, 過燐酸, 木灰, and a total row.

2 例

Table with columns: 肥料名, 反當施用量, 施肥別 (原肥, 1回追肥, 2回追肥), 三要素量 (窒素, 燐酸, 加里), 施肥上の注意. Includes rows for 堆肥, 下肥, ㊸配合8號, and a total row.

以上は米麥を通じ、村内農耕地の中庸以上の砂壤土、壤土の土性に對する設計例を示したるものにして、砂土、埴土又は山間部の生産力低き地方にありては右の施肥量を2割方減施するを安全とす。萩市及小川村、田万崎村の如き暖地にして地味肥沃なる地方は2割方増施して生産増加を期すべきなり。

(4) 阿武郡佐々並村試験地

應用の範圍 該當町村 水稻(佐々並、明木、高俣、紫福、見島、向津具)  
麥(佐々並、福川、通、仙崎)

1 試験地梗概

I 位置及試験擔當者 阿武郡佐々並村 山下喜一

II 三要素試験成績 昭和7年より同9年に至る3ヶ年間施行したる原地三要素適量試験並植木鉢三要素試験成績を指數を以て示せば次の如し。

現地三要素適量試験成績指數

Table with columns: 作物, 區名, 無窒素區, 窒素1貫區, 無燐酸區, 燐酸1貫區, 無加里區, 加里1貫區, 三要素區, 備考. Includes rows for 水稻 and 麥.

植木鉢三要素試験成績指數

Table with columns: 作物, 區名, 無窒素區, 窒素0.5瓦區, 無燐酸區, 燐酸0.5瓦區, 無加里區, 加里0.5瓦區, 三要素區, 備考. Includes rows for 水稻 and 麥.

2 應用栽培試験

I 耕種設計梗概

水稻 辨慶2號 1株4本 8寸正條植とす。  
 稈 麥 小珍好4號 縱雁岐2條 播巾8寸廣播とす。  
 一區面積 6坪 (2.0×3.0) 2區制

II 肥料設計 反當施用量を示せば次の如し。

水 稻

區 名	肥料名	堆肥	撒大豆	三要素量														
				硫安	石灰	過磷酸	硫酸	加里	乾雲	紫英	配合1號	配合7號	同2號	石灰	窒素	磷酸	加里	
在 來 區		200.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	30.0	1,700	0,800	1,600
查定甲5割減區		100.0	2.9	1.5	-	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0	1,000	0,604	0,658
查定甲區		200.0	5.7	3.0	-	3.5	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0	2,000	1,200	1,314
查定甲5割増區		300.0	8.6	4.5	-	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0	3,000	1,800	1,974
查定乙區		200.0	-	2.0	3.0	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0	2,000	1,200	1,200
查定丙區		-	-	5.0	-	4.7	0.9	50.0	-	-	-	-	-	-	30.0	2,000	1,200	1,200
◎配合肥料區		200.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	5.0	3.6	30.0	2,000	0,930	1,694		

稈 麥

區 名	肥料名	堆肥	下肥	三要素量												
				硫安	石灰	過磷酸	硫酸	加里	乾雲	紫英	配合1號	配合3號	同1號	石灰	窒素	磷酸
在 來 區		150.0	60.0	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	1,700	1,060	1,670
查定甲5割減區		100.0	-	2.5	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1,000	0,600	0,600
查定甲區		200.0	-	5.0	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2,000	1,200	1,200
查定甲5割増區		300.0	-	7.5	6.0	-	-	-	-	-	-	-	-	3,000	1,800	1,800
查定乙區		200.0	-	5.0	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2,000	2,000	1,200
查定丙區		200.0	-	5.0	4.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	2,000	1,200	2,160
◎配合肥料區		200.0	-	-	-	-	-	-	-	-	8.0	5.5	2,027	1,640	1,470	

III 生育並收量調査

水 稻

區 名	項目	生育調査(3ヶ年平均)		(收量調査) 反 當 玄 米 容 量					同 在 來 區 の 差	指數平均
		稈 長	一株穗數	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	石		
1. 在 來 區		尺	本	石	石	石	石	石	-	100
2. 查定甲50%減區		3.00	13.0	1,959	2,012	2,074	2,015	(-)	0.157	93
3. 查定甲區		3.15	14.2	1,985	2,276	2,132	2,164	(-)	0.008	99
4. 查定甲50%増區		3.26	14.6	2,005	2,365	2,187	2,186	(+)	0.014	101
5. 查定乙區		3.10	13.6	2,058	2,155	2,153	2,122	(-)	0.050	98
6. 查定丙區		3.20	14.6	1,976	2,232	2,098	2,035	(-)	0.137	94
7. ◎配合肥料區		3.15	13.5	2,039	2,293	2,192	2,175	(+)	0.003	100

稈 麥

區 名	項目	生育調査(3ヶ年平均)		(收量調査) 反 當 玄 米 容 量					同 在 來 區 の 差	指數平均
		稈 長	一株穗數	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	石		
1. 在 來 區		尺	本	石	石	石	石	石	-	100
2. 查定甲50%減區		3.61	76.8	1,126	1,911	1,136	1,391	(-)	0.519	73
3. 查定甲區		2.69	76.6	1,368	2,211	1,407	1,662	(-)	0.248	87
4. 查定甲50%増區		2.92	95.6	1,798	2,363	1,668	1,943	(+)	0.033	102
5. 查定乙區		2.83	94.6	1,527	2,266	1,368	1,723	(-)	0.187	91
6. 查定丙區		2.75	80.3	1,449	2,065	1,368	1,627	(-)	0.283	85
7. ◎配合肥料區		2.77	87.4	1,519	2,172	1,459	1,717	(-)	0.193	91

經濟關係調査

水 稻

區 名	項目	玄 米 代 金				肥 料 代 金				差 引 代 金			
		昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均
1. 在 來 區		圓 66.95	圓 63.52	圓 73.51	圓 67.99	圓 7.82	圓 8.00	圓 8.38	圓 8.07	圓 59.13	圓 55.52	圓 65.13	圓 59.93
2. 查定甲50%減區		59.75	58.65	70.98	63.19	4.77	4.85	5.30	4.97	55.18	53.80	65.68	58.22
3. 查定甲區		60.74	66.35	72.94	66.68	8.29	8.45	8.85	8.53	52.45	57.90	64.09	58.15
4. 查定甲50%増區		61.35	68.94	74.79	68.36	11.86	12.10	12.56	12.17	49.49	56.84	62.23	56.19
5. 查定乙區		62.97	62.82	73.64	66.48	7.04	6.13	7.26	6.81	55.93	56.69	66.38	59.67
6. 查定丙區		60.47	65.06	71.79	65.77	7.98	8.32	8.11	8.14	52.49	56.74	63.68	57.64
7. ◎配合肥料區		62.39	66.84	74.96	68.06	8.07	8.41	8.30	8.36	54.32	58.43	66.66	59.80

稈 麥

區 別	項目	玄 麥 代 金				肥 料 代 金				差 引 代 金			
		昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均
1. 在 來 區		圓 28.30	圓 48.71	圓 33.00	圓 36.67	圓 6.10	圓 5.01	圓 5.67	圓 5.59	圓 22.20	圓 43.70	圓 27.33	圓 31.08
2. 查定甲50%減區		18.44	39.58	27.72	28.58	2.80	2.70	3.01	2.84	15.64	36.88	19.71	20.48
3. 查定甲區		22.41	45.79	28.14	32.11	5.59	5.38	6.04	5.67	16.82	40.41	22.10	26.44
4. 查定甲50%増區		29.45	48.94	33.36	37.25	8.39	8.08	9.05	8.51	21.06	40.86	24.31	28.74
5. 查定乙區		25.01	46.93	27.36	33.10	6.17	5.15	7.21	6.18	18.84	41.78	20.15	26.92
6. 查定丙區		23.73	42.77	27.36	31.29	6.65	6.50	7.30	6.82	17.08	36.27	20.06	24.47
7. ◎配合肥料區		24.88	44.98	29.18	33.01	6.50	5.93	7.42	6.42	18.38	39.05	21.76	26.40

摘 要

以上の成績に依れば、本試験地は甚だ肥沃にして、水稻及び麥共に施肥量の増減に依りて其の收量上に著しき差異を示さず、従つて肥料を少量施用せる在來區が最も収益の多い事を示す、但し植木鉢試験の結果より見れば磷酸及び加里成分の肥効大なるを認めらるるに依り、斯る土壤に對する標準施肥設計は次の如くなすが可なりと考へらる。

3 標準施肥設計例

水 稻 作  
堆肥主體の施肥法

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里		
堆肥	300.0	300.0	-	1.500	0.600	1.800	堆肥の代りに紫雲英を施用するも差支なく此の場合は施用量を(生草)200貫乃至250貫程度とし乾草として施用すること肝要なり、石灰窒素の代りに硫安を施用するも良く此の場合4割位を追肥に2番除草前施用すべし。	
石灰窒素	5.0	5.0	-	1.000	-	-		
過磷酸	3.0	3.0	-	-	0.480	-		
石灰	25.0	-	25.0	-	-	-		
計				2.500	1.080	1.800		

㊦ 配合肥料の施肥法

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里		
堆肥	200.0	200.0	-	1.000	0.400	1.200	石灰窒素を4貫位に増施する場合は配合肥料3號を5貫に減施して可なり。	
石灰窒素	2.0	2.0	-	0.400	-	-		
㊦ 配合3號	10.0	10.0	-	0.700	0.720	0.300		
同 2號	5.0	-	5.0	0.400	0.260	0.300		
石灰	20.0	-	20.0	-	-	-		
計				2.500	1.380	1.800		

以上は米麥を通じ、村内農耕地の中層以上の砂壤土、壤土の土性に對する施肥設計例を示したるものにして、砂土及び山間部の粘質土にありては右施用量2割位減施するを安全とす。  
本村並に紫福村、高俣村地方は無機質金肥の施用量を増す時は收量増加の傾向を示すべきを以て施肥に當り大いに考慮すべきなり。

裏作麥  
1例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	-	-	1.000	0.400	1.200	堆肥完熟せるものを施用し石灰窒素は飛行機馬鍬にて碎土する際施用し土壤と良く混和す。 過磷酸の追肥は下肥中に加へ液肥として施用すべし。
石灰窒素	3.0	3.0	-	-	0.600	-	-	
下肥	80.0	-	40.0	40.0	0.400	0.080	0.160	
過磷酸	5.0	3.0	2.0	-	-	0.800	-	
計					2.000	1.280	1.360	

2例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	-	-	1.000	0.400	1.200	㊦配合肥料の代りに佐々並配合肥料の麥用を施用して差支なし。此の場合㊦配合の三要素配合率に注意を要す。
㊦ 配合8號	10.0	10.0	-	-	0.750	0.920	0.200	
同 6號	5.0	-	5.0	-	0.425	0.360	0.100	
計					2.175	1.680	1.500	

(5) 阿武郡生雲村試験地

應用の範圍 該當町村 水稻(生雲、嘉年、通、仙崎、依山、宇津賀) 麥(生雲)

1 試験地梗概

I 位置及試験擔當者 阿武郡生雲村 山村岩吉

II 三要素適量試験成績 昭和7年より同9年に至る3ヶ年間施行したる原地三要素適量試験成績を指數を以て示せば次の如し、而して第1年目麥作は裸麥かりしも第2年目より小麥に変更したる爲め2ヶ年の指數とす。

作物	區名	三要素量							備考
		無窒素區	窒素1貫區	無磷酸區	磷酸1貫區	無加里區	加里1貫區	三要素區	
水	稻	75	93	98	98	100	103	100	米麥共に窒素に缺乏し磷酸、加里豊富なるが如し。而して麥作に對する加里の効果は稍々多き傾向を示す。
小	麥	54	86	98	103	84	98	100	

2 應用栽培試験

I 耕種設計梗概

水稻 辨慶2號 1株4本 8寸正條植とす。

小麥 伊賀筑後1號 縱雁岐2條 播巾8寸の廣播とす。

一區面積 6坪(2.0×3.0) 2區制

II 肥料設計 反當施用量を示せば次の如し。

水稻

區名	肥料名	堆肥	撒大豆粕	硫安	石灰	過磷酸	乾雲	紫雲英	5號配合	㊦配合5號	同2號	石灰	三要素量		
													窒素	磷酸	加里
在來區		250.0	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	68.0	1.750	1.600	1.500
査定甲5割減區		100.0	2.9	1.5	-	1.8	-	-	-	-	-	30.0	1.000	4.604	0.658
査定甲區		200.0	5.7	3.0	-	3.6	-	-	-	-	-	30.0	2.000	1.206	1.314
査定甲5割増區		300.0	8.6	4.5	-	5.3	-	-	-	-	-	30.0	3.000	1.789	1.972
査定乙區		200.0	-	2.0	3.0	4.0	-	-	-	-	-	30.0	2.000	1.200	1.200
査定丙區		-	-	5.0	-	4.7	50.0	-	-	-	-	30.0	2.000	1.190	0.750
㊦ 配合肥料區		200.0	-	2.0	-	-	-	-	-	5.0	3.6	30.0	2.000	0.930	1.544

裸麥

區名	肥料名	堆肥	下肥	硫安	過磷酸	硫酸加里	㊦配合2號	同1號	三要素量		
									窒素	磷酸	加里
在來區		250.0	40.0	-	-	-	10.0	-	2.300	1.340	2.080
査定甲5割減區		100.0	-	2.5	1.0	-	-	-	1.000	0.400	0.600
査定甲區		200.0	-	5.0	2.0	-	-	-	2.000	0.800	1.200
査定甲5割増區		300.0	-	7.5	3.0	-	-	-	3.000	1.200	1.800
査定乙區		200.0	-	5.0	6.0	-	-	-	2.000	1.600	1.200
査定丙區		200.0	-	5.0	2.0	2.0	-	-	2.000	0.800	2.160
㊦ 配合肥料區		200.0	-	-	-	-	7.0	5.0	2.020	1.360	1.650

III 生育並收量調査

水稻

項目	生育調査(3ヶ年平均)		(収量調査) 反 當 玄 米 容 量					同 在 來 區 差	指 數 平 均
	稈 長	一 株 穂 數	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均			
1. 在 來 區	尺 3.00	本 12.5	石 2.135	石 2.329	石 2.446	石 2.303	石 -	100	
2. 査 定 甲 50% 減 區	2.83	11.6	1.935	2.133	2.199	2.056 (-)	0.247	89	
3. 査 定 甲 區	3.00	13.2	2.041	2.482	2.528	2.350 (+)	0.047	102	
4. 査 定 甲 50% 増 區	3.10	14.2	2.111	2.758	2.755	2.541 (+)	0.238	110	
5. 査 定 乙 區	2.91	12.9	2.058	2.254	2.357	2.222 (-)	0.081	96	
6. 査 定 丙 區	3.08	13.8	2.065	2.741	2.556	2.421 (+)	0.118	105	
7. ㊦ 配 合 肥 料 區	3.08	12.7	2.089	2.525	2.568	2.394 (+)	0.091	104	

小 麥

項目	生育調査(3ヶ年平均)		(収量調査) 反 當 玄 麥 容 量					同 在 來 區 差	指 數 平 均
	稈 長	一 尺 間 穂 數	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均			
1. 在 來 區	尺 2.57	本 87.9	石 1.695	石 1.972	石 1.203	石 1.622	石 -	100	
2. 査 定 甲 50% 減 區	2.42	75.0	1.289	1.547	0.933	1.256 (-)	0.366	78	
3. 査 定 甲 區	2.58	83.7	1.750	1.961	1.086	1.600 (-)	0.021	99	
4. 査 定 甲 50% 増 區	2.66	96.1	1.944	2.094	1.208	1.749 (+)	0.127	108	
5. 査 定 乙 區	2.56	86.4	1.588	1.892	1.106	1.529 (-)	0.093	94	
6. 査 定 丙 區	2.54	87.9	1.713	1.875	1.047	1.545 (-)	0.077	96	
7. ㊦ 配 合 肥 料 區	2.51	83.7	1.680	1.897	1.081	1.553 (-)	0.069	96	

■ 經濟關係調査

水 稻

項目	玄 米 代 金				肥 料 代 金				差 引 代 金			
	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均
1. 在 來 區	圓 65.33	圓 67.89	圓 83.53	圓 72.25	圓 10.14	圓 10.22	圓 10.83	圓 10.40	圓 55.19	圓 57.67	圓 72.70	圓 61.55
2. 査 定 甲 50% 減 區	59.21	62.18	75.20	65.53	4.77	4.85	5.21	4.94	54.44	57.33	69.99	60.59
3. 査 定 甲 區	62.45	72.35	86.30	73.70	8.30	8.46	8.89	8.54	54.15	63.89	77.43	65.16
4. 査 定 甲 50% 増 區	64.60	80.40	93.96	79.65	11.86	12.10	12.56	12.17	52.74	63.30	81.40	67.48
5. 査 定 乙 區	62.97	65.70	80.53	69.73	7.04	7.21	7.26	7.17	55.93	58.49	73.27	62.56
6. 査 定 丙 區	63.19	79.70	87.25	76.78	7.51	7.81	7.60	7.64	55.68	72.09	79.65	69.14
7. ㊦ 配 合 肥 料 區	63.72	73.60	87.65	75.06	8.04	8.32	8.29	8.22	55.88	65.28	79.36	66.84

小 麥

項目	玄 麥 代 金				肥 料 代 金				差 引 代 金			
	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均
1. 在 來 區	圓 36.95	圓 53.46	圓 31.52	圓 40.64	圓 6.74	圓 6.48	圓 7.84	圓 7.02	圓 30.21	圓 46.98	圓 23.68	圓 33.62
2. 査 定 甲 50% 減 區	28.16	41.64	24.44	31.41	2.66	2.50	2.72	2.63	25.50	39.14	21.72	28.79
3. 査 定 甲 區	38.24	53.16	28.45	39.95	5.30	5.00	5.45	5.25	32.94	48.16	23.00	34.70
4. 査 定 甲 50% 増 區	42.48	56.77	31.65	43.63	7.96	7.50	8.18	7.88	34.52	49.27	23.48	35.76
5. 査 定 乙 區	34.70	51.29	28.98	38.32	5.88	5.77	6.60	6.08	28.82	45.52	22.38	32.24
6. 査 定 丙 區	37.43	50.83	27.43	38.56	6.36	6.12	6.71	6.40	31.07	44.71	20.72	32.17
7. ㊦ 配 合 肥 料 區	36.71	51.45	28.32	38.83	6.23	5.85	6.65	6.24	30.48	45.60	21.67	32.58

摘 要

以上の成績より見るに本試験地に於ては、水稻は窒素5割増區の収量最も多く、在來施肥區に比し3ヶ年平均にて反當 0.238 石の増収を示し、査定甲區に於ては 0.047 石の増収となり、施肥法の改善と共に在來法よりも施肥量を増加する事に依つて増収が期し得られる事を示す、且つ査定甲區よりも石灰窒素を主肥となせる査定乙區又は紫雲英を主肥とせる査定丙區の収量の多きを見る。但し經濟關係に於ては査定丙區最も有利にして、在來區に比し3ヶ年平均に於て反當 7圓59錢の収益多く、査定5割増區、㊦ 配合肥料區之に次ぐを見たり。

裏作小麦に在りても査定甲5割増區の収量最高を示し、他は在來區以下を示し、經濟關係に於ては査定甲5割増區最高にて、在來區に比し3ヶ年平均反當 2圓14錢の増加を見、査定甲區之に次げり、本試験地の如き耕地に對しては次の如き施肥法を行ふを適當と考へらる。

3 標準施肥設計例

水 稻 作

堆肥主體の施肥法

肥料名	反當施用量	施肥別		三要素量			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	貫 300.0	貫 300.0	貫 -	貫 1.500	貫 0.600	貫 1.800	石灰窒素は荒田に撒布鋤き込み土壤と良く混和し直ちに灌水すべし。 硫酸を代用したる場合は4割位を2番除草前追肥とすべし。
石灰窒素	5.0	5.0	-	1.000	-	-	
過磷酸	3.0	3.0	-	-	0.480	-	
石灰	25.0	-	25.0	-	-	-	
計				2.500	1.080	1.800	

綠肥主體の施肥法

肥料名	反當施用量	施肥別		三要素量			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	貫 200.0	貫 200.0	貫 -	貫 1.000	貫 0.400	貫 1.200	紫雲英は生草を施用せず必ず生重の4分の1程度乾燥して施用すべし。 追肥は2番除草前施用し土壤と良く攪拌混和し硫酸の流失を避くる様心掛くべし。
紫雲英	200.0	200.0	-	0.800	0.200	0.600	
硫酸	3.5	2.0	1.5	0.700	-	-	
過磷酸	3.0	1.5	1.5	-	0.480	-	
石灰	25.0	-	25.0	-	-	-	
計				2.500	1.080	1.800	

㊦ 配合肥料の施用法

肥料名	反當施用量	施肥別		三要素量			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	貫 200.0	貫 200.0	貫 -	貫 1.000	貫 0.400	貫 1.200	石灰窒素の代りに硫酸を用ひて差支なく又4貫位に増量したる場合は㊦ 配合肥料3號を半畝に減施して良し。
石灰窒素	2.0	2.0	-	0.400	-	-	
㊦ 配合 3號	10.0	10.0	-	0.700	0.720	0.300	
同 1號	5.0	-	5.0	0.400	0.260	0.150	
石灰	25.0	-	25.0	-	-	-	
計				2.500	1.380	1.650	

裏 作 麥

1 例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	-	-	1.000	4.400	1.200	堆肥は完熟のものを麥種子上に撒布する可なり、石灰窒素は飛行機馬鋸にて碎土の際施用し良く土壤と混和す。 木灰は12月下旬雁岐上に撒布施用すべし。
石灰窒素	4.0	4.0	-	-	0.800	-	-	
下肥	80.0	-	40.0	40.0	0.400	0.080	0.160	
過燐酸	4.0	2.0	2.0	-	-	0.640	-	
木灰	10.0	-	10.0	-	-	0.100	0.500	
計					2.200	1.200	1.860	

2 例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	-	-	1.000	0.400	1.200	単肥に石灰窒素又は硫酸を 2.0 貫乃至 3.0 貫内外施用したる時は⑤配合6號を半吠位に減施すべし。
⑤配合6號	10.0	10.0	-	-	0.850	0.720	0.200	
同7號	5.0	-	5.0	-	0.425	0.350	0.200	
計					2.275	1.470	1.600	

以上は米麥を通じ、村内農耕地の中庸以上の砂壤土、壤土に對する設計例を示したるものにして、中庸以下の生産力低き地方にありては2割方施肥量を減施するを可とす。

(6) 阿武郡地福村試験地

應用の範圍 該當町村 水稻(地福、篠生、彌富、六島)

麥(地福、川上、明木、篠生、吉部、彌富、福賀、嘉年)

1 試験地梗概

I 位置及試験擔當者 阿武郡地福村 津田梅三郎

II 三要素試験成績 昭和7年より同9年に至る3ヶ年間施行したる植木鉢三要素試験成績を指數を以て示せば次の如し。

作物名	區名	窒素		磷酸		加里		三要素區	備考
		無窒素區	0.5瓦區	無磷酸區	0.5瓦區	無加里區	0.5瓦區		
水	稻	47	71	76	93	96	101	100	窒素最も缺乏し磷酸之に次ぎ加里は比較的豊富なるが如し。 殊に麥作に對し磷酸の效果大なり。
稈	麥	41	59	41	96	96	91	100	

2 應用栽培試験

I 耕種設計梗概

水稻 早生旭 1株4本 8寸正條植とす。

小麥 山口神力 縦雁岐2條 播巾8寸廣播とす。

一區面積 6坪 (2.0×3.0) 2區制

II 肥料設計 反當施用量を示せば次の如し。

水 稻

區名	肥料名	堆肥	乾雲	紫英	撒大豆	硫安	石灰	過燐酸	⑤配合5號	同6號	石灰	三要素量		
												窒素	磷酸	加里
在來區		200.0		75.0							70.0	2.500	0.775	2.325
査定甲5割減區		100.0			3.9	1.65		3.1			30.0	1.100	0.880	0.678
査定甲區		200.0			7.7	3.3		6.2			30.0	2.200	1.760	1.354
査定甲5割増區		300.0			11.6	5.0		9.3			30.0	3.310	2.640	2.032
査定乙區		200.0				2.0	4.0	6.8			30.0	2.200	1.760	1.200
査定丙區			50.0			6.0		7.5			30.0	2.200	1.760	0.750
⑤配合肥料區		200.0				2.5			5.0	5.0	30.0	2.200	1.100	1.600

小 麥

區名	肥料名	堆肥	下肥	硫安	過燐酸	硫酸加里	⑤配合3號	三要素量		
								窒素	磷酸	加里
在來區		250.0	60.0				10.0	2.250	1.560	1.920
査定甲5割減區		100.0		2.5	3.0			1.000	0.800	0.600
査定甲區		200.0		5.0	6.0			2.000	1.600	1.200
査定甲5割増區		300.0		7.5	9.0			3.000	2.400	1.800
査定乙區		200.0		5.0	10.0			2.000	2.400	1.200
査定丙區		200.0		5.0	6.0	2.0		2.000	1.600	2.160
⑤配合肥料區		200.0					15.0	2.050	1.900	1.500

■ 生育並收量調査

水 稻

區名	項目	生育調査(3ヶ年平均)		(收量調査) 反當			平均	同在來區との差	指數平均
		稈長	一株穂數	昭和10年	昭和11年	昭和12年			
1. 在來區	尺	2.42	本 69.2	石 2,219	石 2,094	石 0,719	石 1,677	石 -	100
2. 査定甲50%減區	尺	2.29	54.8	1,616	1,611	0,628	1,285 (-)	0,392	77
3. 査定甲區	尺	2.44	67.3	1,874	2,025	0,758	1,552 (-)	0,125	92
4. 査定甲50%増區	尺	2.49	80.5	2,433	2,353	0,939	1,908 (+)	0,231	114
5. 査定乙區	尺	2.47	72.8	1,761	1,761	0,806	1,443 (-)	0,234	86
6. 査定丙區	尺	2.49	76.7	1,655	2,289	0,822	1,589 (-)	0,088	95
7. ⑤配合肥料區	尺	2.42	67.3	1,816	2,139	0,800	1,585 (-)	0,092	95

稈 麥

區名	項目	生育調査(3ヶ年平均)		(收量調査) 反當			平均	同在來區との差	指數平均
		稈長	一株穂數	昭和10年	昭和11年	昭和12年			
1. 在來區	尺	2.73	本 17.8	石 2,176	石 2,720	石 2,971	石 2,622	石 -	100
2. 査定甲50%減區	尺	2.56	14.6	2,171	2,277	2,362	2,270 (-)	0,352	86
3. 査定甲區	尺	2.65	16.7	2,224	2,606	2,630	2,487 (-)	0,135	95
4. 査定甲50%増區	尺	2.76	18.8	2,139	2,771	3,119	2,676 (+)	0,054	102
5. 査定乙區	尺	2.67	16.2	2,139	2,467	2,401	2,335 (-)	0,287	89
6. 査定丙區	尺	2.67	17.7	2,163	2,574	2,778	2,505 (-)	0,117	96
7. ⑤配合肥料區	尺	2.71	16.5	2,005	2,478	2,647	2,380 (-)	0,242	91

■ 經濟關係調査

水 稻

項目 區 名	玄 米 代 金				肥 料 代 金				差 引 代 金			
	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
1. 在 來 區	65.59	79.29	101.25	82.38	11.45	7.48	12.15	10.36	55.14	71.81	89.10	72.02
2. 査定甲50%減區	66.45	66.23	80.70	71.12	5.39	5.45	5.87	5.57	61.04	60.78	74.83	65.55
3. 査定甲區	68.05	75.96	89.74	77.93	9.53	9.65	10.19	9.76	58.52	66.31	79.55	68.13
4. 査定甲50%増區	65.45	80.77	106.25	84.16	13.7	13.93	14.58	14.08	51.71	66.84	91.67	70.07
5. 査定乙區	65.45	71.91	82.01	73.12	47.81	7.98	8.03	7.95	57.61	63.93	63.28	65.17
6. 査定丙區	66.19	75.03	94.74	78.64	8.40	8.71	8.42	8.51	57.79	66.32	86.32	70.14
7. ⑧配合肥料區	61.35	72.50	90.32	74.72	8.56	8.91	8.77	8.74	52.79	63.59	81.55	65.98

稈 麥

項目 區 名	玄 麥 代 金				肥 料 代 金				差 引 代 金			
	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平 均
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
1. 在 來 區	48.49	66.77	18.84	41.37	6.72	6.59	6.95	6.75	41.77	50.18	11.89	34.61
2. 査定甲50%減區	35.31	43.67	16.45	31.81	2.95	2.89	3.31	3.05	32.36	40.78	13.14	28.76
3. 査定甲區	40.95	54.90	19.86	38.57	5.88	5.77	6.62	6.09	35.07	49.13	13.24	32.48
4. 査定甲50%増區	53.16	63.79	24.60	47.18	8.83	8.66	9.94	9.14	44.33	55.13	14.66	38.04
5. 査定乙區	38.43	47.74	21.11	35.76	6.46	6.54	7.80	6.93	32.02	41.20	13.31	28.84
6. 査定丙區	36.16	78.32	21.54	45.34	6.94	6.16	7.88	6.99	29.22	72.16	13.66	38.15
7. ⑧配合肥料區	39.68	57.99	20.96	39.54	6.87	6.23	7.22	6.77	32.81	51.76	13.74	32.77

摘 要

以上の成績より見るに、本試験地は燐酸の効果顯著なる所なるが、堆肥、緑肥等を相当量補給せる時には、水稻及び麥類其他の肥料に依つて補給する必要少く、従つて水稻の場合に於ては査定甲5割増區のみ在來區よりも増收を示し、3ヶ年平均反當0.231石の増收を見たり。又紫雲英を施せる査定丙區は他の區に比して増收を示し、經濟關係に於ては在來區最も好く、査定丙區、査定5割増區之れに次ぐを見たり。

裏作麥に在りては査定甲5割増區は僅かに在來區に比して増收を示せるも他の區は何れも收量劣り、經濟關係に於ては査定丙區最高にして在來區よりも3ヶ年平均反當3圓74錢の増加を示し、査定甲5割増區は3圓43錢の増加を示せり。

上記の結果より本試験地の如き耕地に對する施肥標準例を示せば次の如し。

3 標準施肥設計例

水 稻 作

堆肥主體の施肥法

肥 料 名	反當施用量	施 肥 別			三 要 素 量			施 肥 上 の 注 意
		原 肥	追 肥	窒 素	燐 酸	加 里		
堆 肥	300.0	300.0	—	1.500	0.600	1.800	硫酸の代りに石灰窒素を施用して差支なし。 石灰窒素を用ふる場合は荒田に働き込み直ちに灌水するを可とす。	
硫 安	5.0	3.0	2.0	1.000	—	—		
過 燐 酸	5.0	3.0	2.0	—	0.800	—		
石 灰	20.0	—	20.0	—	—	—		
計				2.500	1.400	1.800		

綠肥主體の施肥法

肥 料 名	反當施用量	施 肥 別			三 要 素 量			施 肥 上 の 注 意
		原 肥	追 肥	窒 素	燐 酸	加 里		
堆 肥	200.0	200.0	—	1.000	0.400	1.200	紫雲英は生草を施用することなく必ず生重の4分の1程度に乾燥せしものを用ふべし。追肥の時期は挿秧期に依り異なるも2番除草前施用すべし。 石灰は1番除草の際施用す。	
紫 雲 英	200.0	200.0	—	0.800	0.200	0.600		
安	3.5	2.0	1.5	0.700	—	—		
過 燐 酸	4.0	2.0	2.0	—	0.640	—		
石 灰	25.0	—	25.0	—	—	—		
計				2.500	1.240	1.800		

⑧配合肥料の施肥法

肥 料 名	反當施用量	施 肥 別			三 要 素 量 (反當費)			施 肥 上 の 注 意
		原 肥	追 肥	窒 素	燐 酸	加 里		
堆 肥	200.0	200.0	—	1.000	0.400	1.200	石灰窒素を4貫位に増施したる時は⑧産配合肥料3を原肥に半分に減施してよし。	
石 灰 窒 素	2.0	2.0	—	0.400	—	—		
⑧ 配 合 3 號	10.0	5.0	5.0	1.050	1.080	0.450		
石 灰	20.0	—	20.0	—	—	—		
計				2.450	1.480	1.650		

裏 作 麥

1 例

肥 料 名	反當施用量	施 肥 別			三 要 素 量			施 肥 上 の 注 意
		原 肥	1回追肥	2回追肥	窒 素	燐 酸	加 里	
堆 肥	200.0	200.0	—	—	1.000	0.400	1.200	堆肥は完熟のものを麥種子上に施用するを可とす。 石灰窒素は飛行機馬鋤にて碎土の際施用し良く土壌と混和する様勉むべし。下肥なき時は硫酸2.5貫を過燐酸と共に液肥として掛肥すべし。
石 灰 窒 素	4.0	4.0	—	—	0.800	—	—	
下 肥	100.0	—	50.0	50.0	0.500	0.100	0.200	
過 燐 酸	7.0	4.0	3.0	—	—	1.120	—	
木 灰	5.0	—	5.0	—	—	0.050	0.250	
計					2.300	1.670	1.650	

2 例

肥 料 名	反當施用量	施 肥 別			三 要 素 量			施 肥 上 の 注 意
		原 肥	1回追肥	2回追肥	窒 素	燐 酸	加 里	
堆 肥	200.0	200.0	—	—	1.000	0.400	1.200	單肥に石灰窒素又は硫酸を施用せんとせば4貫位に止め⑧配合8號肥料の施用量を10貫に減施してよし。
下 肥	40.0	—	—	40.0	0.200	0.040	0.080	
⑧ 配 合 8 號	15.0	10.0	5.0	—	1.125	1.380	0.300	
計					2.325	1.820	1.580	

以上は米麥を通し、村内農耕地の中庸以上の砂壤土、壤土の土性に對する設計例を示したるものにして砂土、及び山間部の粘質土壌の如き生産力弱き地方にあつては右施肥量を2割乃至3割位減施するを可とす。



(7) 阿武郡紫福村試験地

應用の範圍 該當町村 水稻(紫福、佐々並、明木、高俣、見島、向津具) 麥(紫福、徳佐、高俣)

1 試験地梗概

I 位置及試験擔當者 阿武郡紫福村 金子俊介

II 三要素試験成績 昭和7年より同9年に至る3ヶ年間施行したる植木鉢三要素試験成績を指數を以て示せば次の如し。

Table with columns: 作物, 區名, 無窒素區, 窒素0.5瓦區, 無燐酸區, 燐酸0.5瓦區, 無加里區, 加里0.5瓦區, 三要素區, 備考. Rows for 水稻 and 麥.

2 應用栽培試験

I 耕種設計梗概

水稻 辨慶2號 1株4本 8寸正條植とす。

麥 長崎稈 縱雁岐2條 播巾8寸廣播とす。

一區面積 6坪(20×3.0) 2區制

II 肥料設計 反當施用量を示せば次の如し。

Table with columns: 肥料名, 堆肥, 大豆, 硫安, 石灰, 過燐酸, 硫酸加里, 乾雲里, 紫英, 配合7號, 同1號, 石灰, 三要素量 (窒素, 燐酸, 加里). Rows for 在來區, 查定甲5割減區, 查定甲區, 查定甲5割増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

麥

Table with columns: 肥料名, 堆肥, 下肥, 硫安, 過燐酸, 硫酸加里, 配合4號, 同3號, 三要素量 (窒素, 燐酸, 加里). Rows for 在來區, 查定甲5割減區, 查定甲區, 查定甲5割増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

生育並收量調査

水稻

Table with columns: 項目, 生育調査(3ヶ年平均) (稈長, 一株穂數), (收量調査) 反當玄米容積 (昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均), 同在來區の差, 指數平均. Rows for 在來區, 查定甲50%減區, 查定甲區, 查定甲50%増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

麥

Table with columns: 項目, 生育調査(3ヶ年平均) (稈長, 一尺間穂數), (收量調査) 反當玄麥容量 (昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均), 同在來區の差, 指數平均. Rows for 在來區, 查定甲50%減區, 查定甲區, 查定甲50%増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

經濟關係調査

水稻

Table with columns: 項目, 玄米代金 (昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均), 肥料代金 (昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均), 差引代金 (昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均). Rows for 在來區, 查定甲50%減區, 查定甲區, 查定甲50%増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

麥

Table with columns: 項目, 玄麥代金 (昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均), 肥料代金 (昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均), 差引代金 (昭和10年, 昭和11年, 昭和12年, 平均). Rows for 在來區, 查定甲50%減區, 查定甲區, 查定甲50%増區, 查定乙區, 查定丙區, 配合肥料區.

摘要

以上の試験成績より見るに、本試験地の在來法の施肥量相當多量にして之れを他の試験區と比較するに、水稻の場合には㊟配合肥料區のみが在來區と收量稍同様に於て、他の區は何れも收量少く、又各區間の差異も僅少なるを見た、尙經濟關係に於ても在來區最も有利で他の區間の比較では査定乙區及び㊟配合肥料區が有利なのを見た。

裏作麥に於ては收量は査定甲5割減區を除き、何れも在來區よりも増收を示し、3ヶ年平均反當査定甲5割増區は0.375、査定乙區は0.214、査定甲區は0.127、多く、㊟配合肥料區及び査定丙區之に次ぎ、經濟關係は査定甲5割増區最も有利にして在來區に比し3ヶ年平均反當5割増25錢の差異あり、査定乙區、査定甲區、㊟配合肥料區査定丙區之れに次ぎ、査定甲5割減區に於ても在來區に比し收益の多いのを見た。即ち本試験地の裏作麥の場合には窒素の影響よりも、磷酸及び加里の影響が顯著に表はれるのを知つた。

以上の結果から本試験地の如き耕地に對する施肥標準例を示すと次の通りである。

3 標準施肥設計例

水稻作

堆肥主體の施肥法

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量(反當貫)			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里		
堆肥	300.0	300.0	—	1,500	0.600	1,800	石灰窒素の代りに硫安を施用して差支なし。此の場合は過磷酸と配合の上6割原肥、4割を追肥とすべし。石灰は原肥とするも可なり。追肥の場合は1番除草頃に施用すべし。	
石灰窒素	5.0	5.0	—	1,000	—	—		
過磷酸	3.0	3.0	—	—	0.480	—		
石灰	25.0	—	25.0	—	—	—		
計				2,500	1.080	1,800		

綠肥主體の施肥法

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量(反當貫)			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里		
堆肥	200.0	200.0	—	1,000	0.400	1,200	紫雲英の代りに青刈大豆にても良く何れも生草を用ふることなく生重の4分の1程度に乾燥したるものを施用すべし。	
紫雲英	200.0	200.0	—	0,800	0.200	0,600		
硫安	3.5	2.0	1.5	0,700	—	—		
過磷酸	3.0	1.5	1.5	—	0,480	—		
石灰	25.0	—	25.0	—	—	—		
計				2,500	1.08	1,800		

㊟配合肥料の施肥法

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里		
堆肥	200.0	200.0	—	1,000	0.400	1,200	石灰窒素の代りに硫安にても良く又4貫位に増施したる時は配合肥料3號を5貫減施して可なり。	
石灰窒素	2.0	2.0	—	0,400	—	—		
㊟配合3號	10.0	10.0	—	0,700	0,720	0,300		
同2號	5.0	—	5.0	0,400	0,260	0,300		
石灰	20.0	—	20.0	—	—	—		
計				2,500	1,380	1,800		

裏作麥

1 例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	—	—	1,000	0.400	1,200	堆肥は完熟せるものを麥種子上に撒布施用する可なり。石灰窒素は飛行機馬鍬にて碎土する際施用し土壌と良く混和す。下肥の代りに硫安2.5貫乃至3.0貫位を用ひて差支なく此の場合は過磷酸と共に液肥として掛肥すべし。
石灰窒素	4.0	4.0	—	—	0,800	—	—	
過磷酸	8.0	4.0	2.0	2.0	—	1,280	—	
石灰	10.0	—	10.0	—	—	0,100	0,500	
計					2,300	1,880	1,900	

2 例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	—	—	1,000	0.400	1,200	下肥の代りに硫安4貫乃至5貫位増施したる場合は8號肥料5.0貫に減施して可なり。
下肥	40.0	—	—	40.0	0,200	0,040	0,080	
㊟配合8號	10.0	10.0	—	—	0,750	0,920	2,200	
同9號	5.0	—	—	—	0,375	0,460	0,200	
計					2,325	1,820	1,680	

以上は米麥を通じ、村内中庸以上の砂壤土、壤土の土性に對する施肥設計例を示したるものにして、砂土若くは粘質にして地味瘠薄なる耕地にありては右の施肥量を2割方減施するを安全とす、殊に見島村、向津具村の如き埴壤土多き地方の水稻作に對しては尙更なり。

(8) 阿武郡大井村試験地

應用の範圍 該當町村 水稻(大井、福川、福賀裸) 麥(大井、小川、菱海)

1 試験地梗概

I 位置及試験擔當者 阿武郡大井村 吉屋房次郎

II 三要素試験成績 大正9年より同11年に至る3ヶ年間施行したる原地三要素試験成績を指數を以て示せば次の如し。

作物	區名	無肥料區	無窒素區	無磷酸區	無加里區	三要素區	備考
水稻	稻	92	95	97	94	100	水稻に對する磷酸、加里の效果は極めて妙きも麥作に對する磷酸の效果は大にして加里も亦比較的大なる傾向を示す。
	麥	68	77	78	84	100	

2 應用栽培試験

I 耕種設計梗概

水稻 山口武作 1株4本 8寸正條植とす。

裸麥 小珍好4號 縱雁岐2條 播巾8寸廣播とす。

一區面積 6坪(2.0×3.0) 2區制

II 肥料設計 反當施用量を示せば次の如し。

水 稻

肥料名	堆肥	大豆	紫雲英	硫安	石灰	灰素	過磷酸	硫酸加里	配合③	同2號	三要素量			
											窒素	磷酸	加里	
在來區	100.0	15.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	40.0	1,950	0,425	0,900
查定甲5割減區	50.0	4.1	-	2.3	-	1.2	0.45	-	-	-	30.0	1,000	0,400	0,600
查定甲區	100.0	8.2	-	4.6	-	2.4	0.9	-	-	-	30.0	2,000	0,800	1,200
查定甲5割増區	150.0	12.3	-	6.9	-	3.6	1.3	-	-	-	30.0	3,000	1,200	1,800
查定乙區	100.0	-	-	2.5	5.0	3.0	51.2	-	-	-	30.0	2,000	0,800	1,224
查定丙區	-	-	50.0	5.0	-	2.8	1.0	-	-	-	30.0	2,000	0,810	1,230
⑤配合肥料區	100.0	7.0	-	-	-	-	-	7.0	7.5	30.0	2,005	0,960	1,530	

稈 麥

肥料名	堆肥	硫安	過磷酸	硫酸加里	配合③	同2號	三要素量		
							窒素	磷酸	加里
在來區	300.0	-	-	-	13.0	-	2,410	1,900	2,190
查定甲5割減區	100.0	2.5	2.0	-	-	-	1,000	0,600	0,600
查定甲區	200.0	5.0	4.0	-	-	-	2,000	1,200	1,200
查定甲5割増區	300.0	7.5	6.0	-	-	-	3,000	1,800	1,800
查定乙區	200.0	5.0	8.0	-	-	-	2,000	2,000	1,200
查定丙區	200.0	5.0	4.0	2.0	-	-	2,000	1,200	2,160
⑤配合肥料區	200.0	-	-	-	8.0	5.5	2,027	1,640	1,635

生育並收量調査

水 稻

項目	生育調査(3ヶ年平均)		(收量調査) 反當				玄米容 量	同 在來區 の 差	指數平均
	稈長	一株穂數	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均			
1. 在來區	3.15	15.4	2,621	2,871	2,876	2,789	石 -	100	
2. 查定甲5割減區	2.93	12.1	2,316	2,501	2,415	2,411	(-) 0.378	87	
3. 查定甲區	3.21	14.1	2,456	2,697	2,789	2,647	(-) 0.142	95	
4. 查定甲5割増區	3.28	15.8	2,635	3,029	2,947	2,870	(+) 0.081	103	
5. 查定乙區	3.15	15.6	2,456	2,709	2,757	2,641	(-) 0.148	95	
6. 查定丙區	3.08	14.6	2,340	2,845	2,876	2,687	(-) 0.102	97	
7. ⑤配合肥料區	3.14	14.7	2,592	2,876	2,830	2,763	(-) 0.026	99	

稈 麥

項目	生育調査(3ヶ年平均)		(收量調査) 反當				玄麥容 量	同 在來區 の 差	指數平均
	稈長	一尺間穂數	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均			
1. 在來區	2.89	72.3	1,929	1,911	1,726	1,855	石 -	100	
2. 查定甲5割減區	2.54	63.9	1,553	1,407	1,332	1,431	(-) 0.424	77	
3. 查定甲區	2.88	80.2	1,830	1,862	1,749	1,814	(-) 0.041	98	
4. 查定甲5割増區	3.03	94.3	2,101	2,162	2,005	2,059	(+) 0.234	113	
5. 查定乙區	2.89	84.3	1,879	1,837	1,869	1,661	(+) 0.006	100	
6. 查定丙區	2.83	85.8	1,869	1,789	1,661	1,772	(-) 0.083	95	
7. ⑤配合肥料區	2.90	76.3	1,929	1,885	1,661	1,824	(-) 0.031	98	

經濟關係調査

水 稻

項目	玄米代金				肥料代金				差引代金			
	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均
1. 在來區	80.20	81.69	98.05	87.31	9.05	4.76	10.44	8.08	71.15	78.98	87.61	79.25
2. 查定甲5割減區	70.87	72.90	82.49	75.42	4.76	6.56	5.29	5.54	66.11	66.34	77.20	69.88
3. 查定甲區	75.15	78.62	95.11	82.96	8.34	8.69	9.07	8.70	66.81	69.93	86.04	74.26
4. 查定甲5割増區	80.63	88.30	100.44	89.79	11.89	12.42	12.87	12.39	68.74	75.88	87.57	77.40
5. 查定乙區	75.15	78.97	94.03	82.72	6.68	7.04	6.98	6.90	68.47	71.93	87.05	75.82
6. 查定丙區	71.60	82.93	98.05	84.19	7.70	8.09	7.87	7.89	63.90	74.84	90.18	76.31
7. ⑤配合肥料區	79.32	83.84	96.16	86.44	9.79	10.03	10.63	10.18	59.53	73.76	85.48	76.26

稈 麥

項目	玄麥代金				肥料代金				差引代金			
	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均	昭和10年	昭和11年	昭和12年	平均
1. 在來區	31.60	39.58	34.52	35.23	7.70	8.63	8.00	8.11	23.90	30.95	26.52	27.12
2. 查定甲5割減區	25.44	29.14	26.64	27.07	2.80	2.89	3.02	2.90	22.64	26.25	23.62	24.17
3. 查定甲區	29.98	38.56	39.98	36.18	5.59	5.77	6.04	5.80	24.39	32.79	28.94	28.71
4. 查定甲5割増區	34.41	44.78	40.10	37.76	8.39	8.66	9.05	8.70	26.02	36.12	31.05	31.06
5. 查定乙區	30.78	30.02	37.38	32.73	6.17	6.54	7.21	6.64	24.61	31.48	30.17	28.75
6. 查定丙區	30.61	36.99	33.22	33.61	6.65	6.17	7.30	6.71	23.96	30.82	25.92	26.90
7. ⑤配合肥料區	31.60	39.04	33.22	34.62	6.17	6.50	6.98	6.55	25.43	32.54	26.24	28.07

摘要

本試験地に在りては、在來施肥法が既に稍合理的施肥法を行へるに依り、他の區との收量上の差異少く、水稻の場合には查定甲5割増區が、在來區に比し3ヶ年平均反當0.081の増加を示し他は何れも在來區以下の收量を示せり、而して此の場合の經濟關係も在來區最も有利にして、查定甲5割増區、查定丙區、⑤配合肥料區、查定乙區、查定甲區之れに次ぐを見たり。

裏作稈麥の收量は查定甲5割増區及び查定乙區は在來區に比し增收を示せるが、他は何れも收量少く、經濟關係に於ても查定甲5割増區は在來區に比し3ヶ年平均反當3圓94錢の収益の増加を見、查定乙區、查定甲區、⑤配合肥料區、之れに次ぎ、何れも在來區よりも有利なる事を示せり。

以上の結果より本試験地の如き耕地に對しては次の如き施肥標準を行ふを適當と認む。

3 標準施肥設計例

水 稻 作

堆肥主體の施肥法

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里		
堆肥	250.0	250.0	-	1,250	0.50	1,500	大豆粕8.0貫の代りに鹽メ粕6.0貫にても良し 硫安、過磷酸は配合の上施用する方便なり。 石灰は1番除草の際施用するか都合に依れば 荒田に耕き込み原肥に施用するも可なり。	
撒大豆	8.0	8.0	-	0.560	0.125	0.160		
硫安	3.5	2.0	1.5	0.700	-	-		
過磷酸	1.0	1.0	-	-	0.160	-		
石灰	20.0	-	20.0	-	-	-		
計				2,510	0.785	1,660		

緑肥主體の施肥法

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里		
堆肥	200.0	200.0	-	1,000	0.400	1,200	青刈大豆の代りに紫雲英を施用して差支なし	
青刈大豆	200.0	200.0	-	1,200	0.200	1,200	凡て緑肥類は生草を施用せず必ず生重の4分の1程度乾燥して施用する方安全なり。	
硫酸	1.5	1.5	-	0.300	-	-		
過磷酸	1.0	1.0	-	-	0.160	-		
石灰	25.0	-	25.0	-	-	-		
計				2,500	0.760	2,400		

⑤ 配合肥料の施肥法

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里		
堆肥	200.0	200.0	-	1,000	0.400	1,200	石灰窒素の代りに硫酸を施用して差支なし。	
石灰窒素	4.0	4.0	-	0.800	-	-	配合肥料1號を原肥に1噸施用せんとせば石灰窒素又は硫酸は2.0貫位減施すべし。	
⑤ 配合1號	5.0	5.0	-	0.400	0.260	0.150		
同2號	5.0	-	5.0	0.400	0.260	0.300		
石灰	20.0	-	20.0	-	-	-		
計				2,600	0.920	1,650		

裏作麥  
1例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	-	-	1,000	0.400	1,200	堆肥は完熟せるものを麥種子上に撒布施用するを可とす。下肥なき時は硫酸2.5貫を用ひ過磷酸と配合の上追肥は液肥として掛肥すべし。木灰は12月下旬雁岐上に撒布施用す。
石灰窒素	5.0	5.0	-	-	1,000	-	-	
下肥	100.0	-	50.0	50.0	0.500	0.100	0.300	
過磷酸	6.0	4.0	2.0	-	-	0.960	-	
木灰	10.0	-	10.0	-	-	0.100	0.500	
計					2,500	1,560	1,900	

2例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	-	-	1,000	0.400	1,200	単肥として硫酸、石灰窒素を4貫位施用する時は⑤配合8號10貫を5貫に減施すべし。
下肥	60.0	-	30.0	30.0	0.300	0.060	0.120	
⑤ 配合8號	10.0	10.0	-	-	0.700	0.920	0.200	
同7號	5.0	-	5.0	-	0.425	0.350	0.200	木灰は12月下旬雁岐上に撒布施用す。
石灰	5.0	-	5.0	-	-	0.150	0.250	
計					2,475	1,870	1,970	

以上は米麥を通じ、村内中庸以上の砂壤土、壤土の土性に對する設計例を示したるものにして、砂土又は山間

部粘質地等地方に於ては右施肥量の2割乃至3割位減施するを可とす。又大井村の如き暖地に於て中庸以上の豊耕地に對しては2割方増施して收量の増加を期すべきものとす。

(9) 其他應用栽培試験を施行せざる町村にして、前記實施せる應用栽培試験の應用の範圍外にある町村に對する標準施肥設計例を漸定的に示せば次の如し。

1 水稻標準施肥量並に設計概要

須佐、宇多郷村地方に於ける標準施肥例を示せば次の如し。

1例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里		
堆肥	200.0	200.0	-	1,000	0.400	1,200	青刈大豆の代りに紫雲英を施用して良く緑肥	
青刈大豆	200.0	200.0	-	1,200	0.200	1,200	は凡て生草を用ふることなく必ず生重の4分の1程度乾燥して施用するを安全とす、硫酸	
硫酸	3.0	2.0	1.0	0.600	-	-	過磷酸は配合の上施用する方便なり。	
過磷酸	4.0	2.0	2.0	-	0.640	-		
石灰	20.0	-	20.0	-	-	-		
計				2,800	1,240	2,400		

2例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里		
堆肥	200.0	200.0	-	1,000	0.400	1,200	須佐町に適應する⑤配合施肥例を示したるものとす。	
石灰窒素	4.0	4.0	-	0.800	-	-		
⑤ 配合3號	15.0	10.0	5.0	1,005	1,080	0.450		
石灰	20.0	-	20.0	-	-	-		
計				2,850	1,490	1,650		

3例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里		
堆肥	200.0	200.0	-	1,000	0.400	1,200	宇田郷村に適應する⑤配合施肥例を示したるものなりとす。	
石灰窒素	4.0	4.0	-	0.800	-	-		
⑤ 配合4號	10.0	5.0	5.0	0.700	0.720	0.600		
石灰	20.0	-	20.0	-	-	-		
計				2,500	1,100	1,800		

川上、吉部村地方に於ける標準施肥例を示せば次の如し。

1例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	追肥	窒素	磷酸	加里		
堆肥	200.0	200.0	-	1,000	0.400	1,200	紫雲英の代りに青刈大豆にても良く凡て緑肥	
紫雲英	150.0	150.0	-	0.600	0.150	0.450	類は乾燥して施用すべし硫酸の代りに石灰	

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
硫酸	4.5	2.5	2.0	0.900	-	-	窒素を使用するも差支なし、此の場合荒田に鋤き込み土壌と混和し直ちに灌水する方可なり。	
過燐	5.0	3.0	2.0	-	0.800	-		
石灰	20.0	-	20.0	-	-	-		
計				2.500	1.350	1.650		

2 例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	-	1.000	0.400	1.200	石灰窒素の代りに硫酸を施用して差支なく此の場合は④配合と混合の上施用するを便とす石灰は1番除草の時施用す。	
石灰窒素	4.0	4.0	-	0.800	-	-		
④配合3號	5.0	5.0	-	0.350	0.360	0.150		
同4號	5.0	-	5.0	0.350	0.360	0.300		
石灰	20.0	-	20.0	-	-	-		
計				2.500	1.100	1.650		

以上は各地の水稻作に對し、村内中庸以上の砂壤土、壤土の土性に適する様設計例を示したるものなるを以て砂土、又は山間部に於ける粘質土壌の如く地方低き地方にありては右の施用量を2割乃至3割方減施するを安全とす。又海岸部暖地にありては稍増施して收量増加を期すべし。

2 麥作標準施肥量並に設計概要

宇多郷、田万崎、奈古村地方に於ける標準施肥例示せば次の如し。

1 例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	-	-	1.000	0.400	1.200	堆肥は完熟のものを用ひ麥種子上に撒布施用するを可とす。石灰窒素は飛行機馬鋤にて碎土する時施用し土壌と良く混和すべし、下肥の代りに硫酸を用ひる場合は2.5貫位として液肥とすべし木灰は12月下旬施用す。
石灰窒素	4.0	4.0	-	-	0.800	-	-	
下肥	100.0	-	50.0	50.0	0.500	0.100	0.200	
過燐	5.0	3.0	2.0	-	-	0.800	-	
木灰	5.0	-	5.0	-	-	0.050	0.250	
計					2.300	1.350	1.650	

2 例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	-	-	1.000	0.400	1.200	單肥として硫酸、石灰窒素を施用せんとせば4.0貫内外に止め配合肥料8號を半分に減施して良し。
下肥	4.0	-	-	40.0	0.200	0.044	0.080	
④配合8號	100.0	10.0	-	-	0.750	0.920	0.200	
同6號	5.0	-	5.0	-	0.425	0.360	0.100	
計					2.375	1.720	1.580	

宇津賀、三見、見島、六島地方に於ける標準施肥例を示せば次の如し。

1 例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	-	-	1.000	0.400	1.200	下肥なき時は硫酸5.0貫とし過燐酸と配合の上増量して施用するを便とす、追肥は液肥として掛肥すべし。
硫酸	3.0	2.0	1.0	-	0.600	-	-	
下肥	80.0	-	40.0	40.0	0.400	0.080	0.160	
過燐	5.0	3.0	2.0	-	-	0.800	-	
計					2.000	1.280	1.360	

2 例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	-	-	1.000	0.400	1.200	單肥として硫酸石灰窒素を用ふる場合は2.0貫内外として配合肥料10貫に減量して差支なし。
④配合8號	15.0	10.0	5.0	-	1.125	1.380	0.300	
計					2.125	1.780	1.500	

須佐町地方に於ける標準施肥例を示せば次の如し。

1 例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	250.0	250.0	-	-	1.250	0.500	1.500	石灰窒素は荒田に撒布鋤き込むか又は飛行機馬鋤にて碎土する時施用し土壌と良く混和すべし。下肥の代りに硫酸2.5貫を用ひて良く過燐酸と配合の上施し追肥は液肥として掛肥すべし木灰は12月下旬雁岐上に撒布施用す。
石灰窒素	4.0	4.0	-	-	0.800	-	-	
下肥	100.0	-	50.0	50.0	0.500	0.100	0.200	
過燐	7.5	4.0	3.0	-	-	1.200	-	
木灰	6.0	-	6.0	-	-	0.060	0.300	
計					2.550	1.860	2.000	

2 例

肥料名	反當施用量	施肥別			三要素量			施肥上の注意
		原肥	1回追肥	2回追肥	窒素	磷酸	加里	
堆肥	200.0	200.0	-	-	1.000	0.400	1.200	下肥は3倍量位に稀釋して施用す。木灰は12月下旬雁岐上に撒布施用すべし。
下肥	60.0	-	-	60.0	0.300	0.060	0.120	
④配合8號	10.0	10.0	-	-	0.750	0.920	0.200	
同9號	5.0	-	5.0	-	0.375	0.460	0.200	
木灰	6.0	-	6.0	-	-	0.060	0.300	
計					2.475	1.900	2.020	

以上は各地の麥作に對し、村内農耕地の中庸以上の砂壤土、壤土の土性に適する施肥例を示したるものにして砂土、粘重土、山間部等にありては右の施用量の2割乃至3割減施するを可とす。

昭和十四年十一月十日印刷

昭和十四年十一月二十日發行

山口縣農事試驗場

山口市新橋十番地

印刷者 品川幸一

同 所

印刷所 大内印刷所

14. 21-970



1200501164151

21

70

終